第二項　工作
製作技術ノ巧拙等ヲ審査ス

第三項　適用
意匠、價格、用途等ノ適否ヲ審査ス

第二　調査

本業ノ狀態幷ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

審査ニ關係シタル職員ハ審査官六名審査員四十一名及助手一名ナリトス而シテ審査ノ便宜上此九類ノ出品物ヲ更ニ之レヲ十六ニ區分シ各之ヲ分掌シテ審査ニ從事シ岡本審査官ハ全部ニ亘リテ關係スルコトヽセリ其分掌ノ概要左ノ如シ

第十三類ノ內絹白物類

審査官　十時元

第十三類ノ內絹白物類以外ノ絹織物一切

審査官　伊達道太郎

第十四類ノ內絹絣類

審査官　十時元

第十四類ノ內綿フランネル類

審査官　伊達道太郎

第十四類ノ內綿縮類

審査官　十時元

第十四類ノ內白綿布及タオル類

審査官　伊達道太郎

第十四類ノ內綿絣綿フランネル綿縮白綿布及タオル類以外ノ綿織物一切（但蚊帳地ヲ除ク）

審査官　大山清一郎

第十五類麻織物及第十四類ノ內綿蚊帳地

審査官　伊達道太郎

第十六類　毛織物

審査官　荒井谷吉

第十七類　雜織物

審査官　伊達道太郎
荒井谷吉

第十八類　刺繡

審査官　伊達道太郎
荒井谷吉

第十九類　緞通

審査官　本間寅之助
荒井谷吉

第二十類　絲組物、編物

審査官　伊達道太郎

第二十一類ノ内形付染類

審査官　十時元

第二十一類ノ内纐纈類

審査官　本間寅之助
荒井谷吉

第二十二類ノ内形付、纐纈以外ノ染物一切

審査官　本間寅之助
荒井谷吉

絹綿交織物ノ如キモノニアリテハ若シ其織物絹織維ヨリ主成セリト認メタルモノハ第十三類中ニ包含セシメ綿織維ヨリ主成セリト認メタルモノハ第十四類中ニ包含セシメテ審査セリ其他ノ交織物ニ於テモ亦主トシテ此例ニ依レリ

今回ノ出品ハ其點數及人員ノ上ヨリ打算スルトキハ素ヨリ少ナキニ非スト雖モ現ニ開催中ノ東京勸業博覽會ト其時季略ホ相同シク爲メニ幾多ノ影響ヲ蒙リシモノカ將タ他ニ原因ノ存スルモノアリテカ有力ナル當業者ノ出品比較的少ナク從テ精良品ノ出陳多カラサルヲ感シタリ

之ニ反シ從來幼稚ナリシ地方ノ出品意外ニ多ク概シテ進歩ノ形跡ヲ示シ中ニハ大ニ見ルベキモノアルニ至リシハ以テ斯業ニ於ケル發展ノ一般ヲ推知シ得ベシト信ス其稍詳密ナル批評ハ之ヲ後章ニ讓リ左ニ各類出品點數出品人員幷ニ擬賞統計表ヲ掲ク

品類	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	二等	三等	褒狀	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
第十三類 絹織物及其交織物	二、二一八	一、〇九二	一八	三六	五〇	一八六	二八〇	〇・二六

| | | |

滋賀縣ノ本縣ノ濱縮緬ハ前回ニ比シ著シキ進歩ノ點ヲ認メズ是レ其織物ノ性質上重目ノモノニシテ其原料モ亦殆ンド一定セルガ故ナラン濱縮緬ノ特色トハ言ヘ經緯ハ釣合上經ノ量過少ニ陷ルノ嫌ナキニアラザルガ玆ニ特記スベキハ模範工場出品ノ紋縮緬ハ製織未ダ完カラスシテ紋足長キヲ失スルノ嫌アレドモ尚攻ムトシテ怠ラズンバ濱縮緬ノ發展ハ或ハ此種ノモノニ在ラン歟

岐阜縣ノ本縣ノ出品ハ岐阜市鏡島村地方ニ産スル縮緬及川島中屋諸村ニ産スル紋羽二重、晝絹等ニシテ之ヲ前回ニ比スレバ進歩ノ續著シク縮緬ノ如キハ往々玉絲製ニシテ本製ニ髣髴シ而カモ價格ノ廉ナルアリ紋羽二重ハ愛知縣産ニ比スレバ輕目物ニ於テ成功セルガ如ク晝絹亦京都産ニ劣ラザルモノア

要スルニ本縣ノ絹織物ハ其特色紋物ニ在ルヲ以テ意匠ノ巧新ナルベキハ甚ダ必要ニシテ撚絲ノ研究亦忽カセニス可カラズ紋羽二重ノ輕目ニ於ケルガ如キハ頗ル時宜ニ適セルモノアリト雖モ動モスレバ粗製ノ範圍ニ陷ラザルコトヲ要ス

福井縣ノ本縣出品ハ羽二重ニシテ奉書紬モ亦之ニ伴ベリ抑モ羽二重業ハ國家ノ經濟上ニ多大ノ關係ヲ有スルモノニシテ而シテ本縣ハ實ニ斯業ノ牛耳ヲ取レルモノナリ然レドモ動モスレバ現時新進地ノ爲メニ後ニ瞠若タラザルヲ得サルノ憂ナシトセズ宜シク機械的應用ノ一進路ヲ劃シ糊料及精練ニ意ヲ注キ以テ永ク先進地タルノ名譽ヲ失墜セサランコトヲ希望シテ止マズ

奉書紬ハ別ニ批評スルノ必要ヲ認メズ

石川縣ノ本縣ノ出品ハ羽二重、大聖寺絹及ビ小松ノ練織物等ニシテ羽二重ハ近時長足ノ進歩ヲナシ殊ニ製練ニ於テ大ニ見ルベキモノアリ宜シク粗製ヲ戒メ機械力ノ應用ニ意ヲ注クベシ縅及平絹ハ概シテ舊態ヲ脫セズ

富山縣ノ本縣ノ出品ハ羽二重及絹「モスリン」ニシテ羽二重ハ前二縣ノ出品ニ於テ述ベシ所ニ同ジ縅物模範工場出品ノ絹「モスリン」ハ製作巧妙大ニ賞スルニ足ル抑モ絹「モスリン」ハ西洋各國ニ需用多ク其製織困難ナルモノナルニ能ク千辛萬苦ヲ經テ今回ノ如キ出品ヲ見ルニ到シハ國家ノ爲メ慶スベキナリ尙一層ノ奮勵ヲ希望シテ止マズ

以上諸府縣ノ外靜岡、鳥取、島根、廣島、德島、香川、愛媛、高知等ノ各縣ヨリ羽二重又ハ海絹等ノ出陳アリ孰レモ多少ノ等差ヲ認メタリ宜シク先進地ニ範ヲ取テ販賣ニ就テハ特ニ其方法ヲ究メ以テ他日ノ大成ヲ期ネベキナリ

左ニ羽二重及縮緬ノ輸出表ヲ掲ゲ以テ參考ニ資ス

羽二重及縮緬輸出統計表

年次	羽二重		縮緬	
	數量	價格	數量	價格
明治二十五年	二四〇、二〇〇反	四、〇三〇、四七五圓	六八五、一九反	七四、五〇九圓

明治三十年	六四二、八〇一	九、五三〇、六七六	一、〇〇五	一一、六〇八
明治三十五年	平綾 一、七五六、三二〇斤 九八、八二九	二三、四六二、六六五 一、二二二、七四三	二、四七七	四一、一六一
明治三十七年	平綾 二、四二五、一四七 二七四、三二四	三四、二〇〇、一八四 三、三四五、九一六	一五、九五五	三一六、二〇〇
明治三十八年	平綾 一、八七三、一七五 一六五、七九五	二六、〇三七、九五四 二、〇二〇、〇二六	一八、四七一	三三七、六七四
明治三十九年	平綾 二、〇四四、〇二七 一五五、七二五	三〇、六九八、三二二 二、〇七〇、二〇三	一七、八四七	三五一、六五九

絹柄物　本類中ノ主ナルモノハ京都府ノ着尺地、帶地等ナリ先ヅ京都府ヨリシテ順次他ノ府縣ノ出品ヲ論評セン

京都府　本府出品ノ帶地ヲ概觀スルニ意匠ノ研究ニ就テハ廣ク材料ヲ内外國ノ圖按ニ採リ之ヲ折衷取捨シテ奇拔ナルモノヲ撰ミ「バンサンジュー」「ベルドール」等ノ應用ヨリシテ四窠若シクハ二窠ノ如キ大柄模樣ヲモ能ク精細緻密ニ現ハシ組織ニ就テハ變リ綾ヲ應用シ若クハ地緯ニ壁絲ヲ應用シタル等ノモノアリ又配色トシテハ種々ノ色絲及金銀絲等ヲ適宜ニ配合調和シテ或ハ燦爛或ハ幽邃以テ能ク時好ノ投合ヲ誤ラサルモノ比較的ニ多キハ西陣ノ西陣タル所以ニシテ今回ノ出品ニ於テモ慥カニ進歩ノ績ヲ見ルヲ得ヘキナリ

惟フニ西陣織物ノ生命ハ意匠及配色ニアリ機業家ノ此點ニ就テ苦心慘憺タル所以ノモノ實ニ偶然ニアラサルナク若シ夫レ更ニ之ヲ系統的ニ將タ學理的ニ研究スルノ道ヲ講スルニ至テハ勞少クシテ功ヲ收ムルコト多キニ至ラン是レ特ニ西陣ノ機業家ニ向テ吾人ノ希望スル處ナリ又染色ノ如キ往々堅牢ナラサルモノアリ帶地ノ價格ニ對シ染賃ノ些ノ高低ハ九牛ノ一毛タルニ過キス之カ改善亦甚タ必要ナリト信ス

御召類ニ於テモ往々染色ノ不良ナルモノアリ縐縮ノ佳ナラサルアリ是亦注意ヲ要ス

大阪府　本府ノ出品ハ御召、女帶地等ニシテ優品ニ乏シカラス其注意事項ハ京都府ノ下ニ述ヘシ所ト同シ

愛知縣　本縣ヨリ出品セル帶地、御召等ハ前項京都ノ條下ニ記セルト同シ又博多帶地ハ筑前風ヲ模セルモ原料ノ撰擇其當ヲ得サルモノアリ宜シク之ヲ選ミ尚ホ新意匠ノ研究必要ナリト信ス

絹綿交織物ハ著シキ進歩ヲ見ス宜シク柞蠶絲ノ應用ヲ愼重ニシテ意匠及染色ニ注意スベシ

滋賀縣　本縣ヨリ出品セル天鵞絨ハ近時長足ノ進歩ヲナシ綿天鵞絨ニ於テハ將ニ西陣ヲ凌駕セントスルノ勢アリ其出品ヲ見ルニ製織上「パイル」ノ風ハ佳ナレトモ意匠及配色ノ當ヲ得サルモノアルヲ以テ此等ノ點ニ注意セバ益發達スルヲ得ンカ

石川縣　本縣ノ出品ハ緘練ニシテ進歩ノ績少シ宜シク柄合ヲ嶄新ニシ且新組織ノ應用ニ於テ發展ノ途ヲ講スベシ

其他諸縣ノ絹織物ニ就テハ別ニ批評ヲ施サス

抑當聯合府縣内ニ産スル絹柄物ハ内地用ノモノ多ク其輸出用ニ供セラルヽハ主トシテ縮子及手巾等ニ止マレリ將來輸出物ニ就テハ更ニ一層ノ研究ヲ要ス尚清國ニ於テ用途ノ廣キ縮子ノ一種ナル「タンタンピース」ノ如キハ近時粗製ニ流ルヽノ傾キアリト聞ク果シテ然リトセバ實ニ寒心ニ堪ヘス敢テ當業者ノ猛省ヲ望ム

左ニ本類ノ出品並擬賞統計表ヲ掲ク

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級				計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
			一等	二等	三等	褒狀		
京都	七四四	三五三名	三	一三	六二	一〇九	一〇九	〇・三一
大阪	五五	一一	二	二	一	三	八	〇・一三
兵庫	三五	九						〇・一一
奈良								
愛知	一九七	八四		二	六	一四	二二	〇・二六
岡靜	一九	一〇			一	三	四	〇・四〇
滋賀	一一三	五六				一二	一六	〇・二九
岐阜	二五七	一六五			六	二九	三八	〇・二三
福井	二二〇	二二〇			四	一七	二四	〇・一五
石川	一六八	一六八				一五	二二	〇・二九
富山	七二	三二						
鳥取	二	二						
島根	三六	三四						
岡山								
廣島	四〇	一九						
山口	一〇	三						
和歌山								
德島	二二	一二						
香川	三	一						
愛媛	五	四						
高知	三二	一〇						
三重	八九	四八						
計	二、一二八	一、〇九二	八	一八	五〇	一八六	二八〇	〇・二六

第十四類　綿織物及其交織物

本類ハ吾人日常ノ必需品ニシテ多大ノ産額ト廣濶ナル産地ヲ有スル綿織物及其交織物ヲ包含スルカ故ニ出品點數一萬九百八十六、人員三千九百四十六ニ達シ其多數ナルコト各類出品中米ニ亞キテ第二位ヲ占メ全出品點數ノ八分ノ一ヲ有シ工産品ノ四分ノ一ヲ占タリ而シテ府縣ニ就テハ廣島ノ千七百三十

二點ヲ最多トシ德島ノ九百九十二點奈良愛知靜岡ノ七百餘點ヲ以テ京都府ノ三十點ニ至ルマデ各府縣共多少ノ出品ヲ見サルナキノ盛況ヲ極メ其品種ヲ出品點數ノ順序ニ列記スレバ着尺縞（兎斯雙子、筋絲入縞ヲ含ム）絣木綿、白木綿、綿縮、綿ネル、無地木綿ヲ主トスルモノトシ小倉帶地、同洋服地、輸出向綿布（被面及無地木綿）等モ亦少數ノ出品アリ本類全部ヲ通觀スレバ前回ニ比シ長足ノ進歩ヲナシ殆ト其面目ヲ改メタリ特ニ品質ノ均整染色ノ優良トナレル點ニ就テ顯著ナル發達ヲ認ム概シテ今回ノ出品ハ兎斯織、幷ニ雙子織ノ如キ纖細ナル原料絲ヲ使用セル織物著シク增加シ一般ニ產額幷ニ生產區域ヲ擴張セリ是レ近時科學ノ進歩ニ伴ヒ機械應用ノ術益々改進シテ力織機ノ使用トナリ化學ノ發達應用ハ善良ナル染料ノ發明ヲ來タシ延テ染色術ヲ完全ノ域ニ進メ社會ノ進運ハ一般處世ノ程度ヲ高上ニシ加フルニ紡績術ノ進歩ハ細絲ノ製產ヲ增シ其品質ヲ著シク良好ナラシメタルニ起因セズンバアラス然レトモ一面ニ於テ其缺點ヲ指摘スルトキハ少數府縣ノ出品ヲ除クノ外ハ意匠柄合等陳腐ニ屬セルモノ多ク原料ノ使用亦其當ヲ得サルモノアリ或ハ價格ノ低廉ヲ欲シテ實用品タルノ資性ヲ失ヘルモノアリ或ハ高尙ニ走リテ綿織ノ特長ヲ缺ケルモノアリ又一地方ノ需用ニノミ寄賴シテ其技術ノ發達ヲ度外視シ製品見ルニ耐エサルモノアリ殊ニ整理法ノ應用極メテ淺ク製品ノ趣味ヲ助長セシムルノ工程ヲ施セシモノ甚タ少ナキノミナラズ副業的機業家ノ集合ヨリ成ル地方ノ製品ニアリテハ丈幅不整商標裝飾體裁區々ニシテ商品或ハ地方ノ產物トシテノ品性ヲ缺ケルモノ多キ等擧ケ來レバ其缺點少ナカラズ之ヲ要スルニ機業家トシテ當然ナスヘキ改良發達ノ途ハ今回ノ出品ニ就テハ未タ充分ナル發輝ヲ認ムルニ至ラズ即チ機織仕上及準備ノ諸工程ニ對スル勞力ノ節制技術ノ攻究等前途多事ナリ宜シク一方技術ニ關スル諸機關トノ連絡ヲ密ニシ學術ト實地トノ調和ヲ討究シ他方面ニ於テ組合組織ノ活用ヲナシ協同經營ノ實ヲ擧ケ機械應用ノ範圍ヲ擴メ內地ノ需用ノミニ安ンセズ近クハ淸韓地方ヨリ遠クハ歐洲諸國ニ到ルマデ販路ヲ增進セシムル等永遠ノ策ヲ劃スベキナリ

此種ニ屬スル織物ヲ便宜上綿フランネル、白綿布、タオル、絣木綿及綿織雜類ノ五種ニ分チ左ニ各品種ニ就テ順次批評セントス

綿「フランネル」本品ヲ出陳セル主ナル府縣ハ和歌山ヲ第一トシ愛媛德島之ニ亞キ其他ハ出品數甚タ尠ナクシテ全ク出品ヲ缺クルハ岐阜、石川、富山、鳥取、廣島、山口、高知、三重ノ八縣ナリトス京都府ハ撚「ネル」ノ本場ニシテ其出品少ナク之ト深キ關係ヲ有スル滋賀縣ノ出品亦極メテ尠キハ甚タ遺憾トスル所ナリ今主ナル府縣ニ就キ細評ヲ下スベシ

和歌山縣　本縣ノ綿「フランネル」ハ近時長足ノ進歩ヲナセリ殊ニ兩三年來捺染物ノ需要大ニ增加セシヲ以テ其方面ノ發達著大ナリ然ルニ之ヲ今回ノ出品ニ觀ルニ捺染物ノ多クタルハ遺憾ノ點尠カラス一般ニ製品ノ上ヨリ觀察スルニ原絲ノ撰擇起毛ノ整齊意匠ノ斬新等往々本「ネル」ニ見紛フベキモノヲ最トス然レトモ中ニハ意匠ノ陳腐ナル起毛及染色ノアリテ第一綿ネル會社和歌山織布會社等ノモノヲ最トス然レトモ中ニハ意匠ノ陳腐ナル起毛及染色ノ

不完全ナル殊ニ漂白ノ不充分ニシテ「クロール」臭氣ヲ殘スガ如キ保存上ヨリモ非難スベキモノアリ要スルニ玉石相混シ精粗相雜リテ製品ノ不統一ナル誹ハ得テ免ルベカラス是レ其産額ノ尨大ニシテ統一ニ困難ヲ感スルニ依ルナルヘシ聞ク紀州綿「ネル」組合ハ昨年來銳意製品ノ統一ヲ劃スルアリ又縣廳ニ於テモ巡回敎師ヲ置キ之カ指導ニ務ムル所アリト當業者益奮勵シテ製品ノ粗濫ヲ戒メ最モ缺點トスル染色ノ方面ニ於テ染料ノ撰擇及其應用ヲ研究シ以テ夙ニ綿ネル界ノ牛耳タル地位ヲ失ハサルニ注意スルノ必要アリ

愛媛縣 本縣ノ綿「フランネル」ハ白「ネル」ヲ以テ該業界ニ雄飛シ其漂白ノ如キ他ノ得テ模スル能ハサル所ナリト稱ス白ニ次キテ色無地藍棒等モ亦製品ノ整齊ト堅牢ナルトニヨリ顧客ノ信用ヲ得ツヽアリ

今其出品ニ就キ之ヲ觀ルニ組織ノ堅牢ナル漂白ノ鮮明ナル他ニ卓出セシモノアリ然レトモ往々起毛ノ毛足長キニ過クルアリ縞物ノ配色當ヲ得サルアリテ一般綿「ネル」界ニ見ル所ノ染料撰擇ノ缺點モ亦往往免カレサルモノアリ

要スルニ本縣製品ノ能ク統一ヲ保テルハ機業家ノ數甚タ少クシテ其規模比較的大ニ各工場ハ各地ニ出張所ヲ設ケ脈絡相通シ互應スルカ爲メニシテ其組織タル家內工業ヨリ工場工業ニ轉移スル過渡ノ時代ニ際シ最モ當ヲ得タルモノナリトス然レトモ其弊トシテハ相互ノ競爭少ナキガ爲メ研究ノ念ニ乏シキ

愛ナキ能ハス當業者現在ノ狀態ニ滿足セス在來ノ規模ヲ改善シテ深ク粗製ヲ戒メ尙他種ノ物品ヲ製産シテ發展ヲ試ムルノ策ナカルベカラズ

德島縣 本縣ノ綿「ネル」ハ由來品質確實ナルヲ以テ名アリ特ニ立縞ハ市場ニ於テ名聲ヲ博シタリシモ漸次粗製ニ流ルヽモノアルガ如シ之ヲ今回ノ出品ニ徵スルニ間々賞揚スベキモノアリト雖モ概シテ起毛漂白ノ不完全ナルヲ見ル聞ク阿波染織同業組合ハ鋭意染色ノ改良ニ熱中セリト當業者能ク其節度ニ從ヒ製品ノ質實ヲ旨トシ配色縞柄ノ益々巧ミナルヲ得バ長ニ該業界ノ一雄鎭タルヲ失ハザルベシ

以上三縣ノ出品以外ニ於テ兵庫縣高井利一郎ノ製品及大阪府ノ西尾高崎吉川等ノ出品ハ賞揚スルノ價値アレドモ其他ハ評スルニ足ラズ

要スルニ綿「フランネル」ハ之ヲ數年前ニ比スレバ確ニ一步ヲ進メタリト雖モ尙一般ヨリ之ヲ見ルニ原料製織起毛染色意匠等ニ改善ヲ要スベキ點多々アリ當業者能ク此等ノ諸點ヲ改良シ進ンデハ諸種ノ工程ニ機械ヲ應用シテ一層完全ナルモノヲ製出スルニ勉メサルベカラズ

抑モ綿「フランネル」ハ內地ノ需用多キノミナラズ淸韓方面ノ需用モ亦將來益々多望ナリ試ミニ本邦ノ輸出額及輸入額ヲ揭グレバ左ノ如シ

綿「フランネル」輸出額表

年度	小幅（幅二九吋ヲ超エサルモノ）		大幅（幅二九吋ヲ超エタルモノ）	
	數量	價格	數量	價格
明治廿五年	二六五反	七六〇		
明治二十五年	七三、八七一	一〇六、一〇〇		
明治三十年	一六六、四二二	二三一、七四九		
明治三十五年	四、五一二、一四三	三八二、九三三	一、一八三、二二三	一六五、八五三、二三〇
明治三十八年	六、一〇三、五一二	五八九、一四二	一、五五一、九一二	二八四、五四七、〇〇〇
明治三十九年	七、五五九、三七四	七八一、二三五	二、四八四、三四六	四二一、六五六、〇〇〇

（備考）明治三十年以前ノ分ニハ小幅物ト大幅物トノ區別ナシ依テ便宜上小幅物ノ欄ニ全碼數及其價格ヲ記入シタルナリ

綿「フランネル」輸入額表

年度	數量	價格
明治三十年	一、一八九、〇一四	二五二、五二九
明治三十五年	三、二九四、一九六	七〇四、八一二
明治三十八年	二、一五四、三六八	四八一、五三三
明治三十九年	一、五一五、一六〇	三五四、二三二

如上ノ表ニ見ルガ如ク本邦ヨリノ輸出額ハ益々增加セリト雖モ其輸入額モ亦侮ルベカラザルナリ身ヲ綿「ネル」界ニ委スルモノ勇進飛躍ヲ試ムルハ此機ヲ措テ何ノ時ヲ期セン乎

白綿布類　本類ハ普通白木綿以外ニ天竺、雲斉、帆布等ヲ含有シ其産出ハ全府縣ニ洽ク皆多少ノ出品アラザルナシ就中愛知、大阪、奈良ヲ最多トシ兵庫、岡山、愛媛、富山、岐阜之ニ次ギ其他ノ府縣ハ概ネ出品尠ナシトス今左ニ各品種ニ分チテ之ヲ評スベシ

一、白木綿　本種中ニハ內地ニ於テ專ラ需用セラルヽ、並幅白木綿及朝鮮輸出ノ重目物並ニ滿洲地方ニ販路ヲ有スル尺一尺三幅等ノモノヲ含ムヿヲ主ナル府縣ニ分テバ左ノ如シ

大阪府　本府下ノ白木綿ノ本場ニシテ泉州ヲ曰ク泉州曰ク河內是ナリ泉州物ハ一般ニ薄地ニシテ手拭晒用ニ供シ泉南泉北ノ二郡ニ產ス又河內木綿ハ厚地ニシテ其三五、四〇ト稱スルモノハ間々泉州ト用途ヲ用フスルモ主トシテ暖簾、布團、帶心、法被等ニ用ユルモノ多ク南河內郡ヲ主產地トシ中河內北河內ノ二郡ハ產出比較的少ナシ朝鮮輸出ノモノハモ亦此地方ヨリ之ヲ出ス是等兩地ノ木綿ハ農家ノ副業トシテ製スルニ過ギズ從テ製品ノ不統一ナルモノ多キヲ認ム

奈良縣　大和木綿ハ南北葛城郡及磯城郡ヨリ產スルモノトス之ヲ南場物ト稱シ少シク重目ニシテ三十八度（度トハ經絲十六筋ヲ一度トス云フ）以上ノモノナリ又生駒郡々山町附近ヨリ產出スルモノハ三十七度以下ノ輕目物ニシテ之ヲ北場物ト稱ス兩者共紅絣金色ノ染下ニ供シ糊付ノ多キヲ特長トス

愛媛縣ハ伊豫木綿ハ今治町ヲ中心トシテ産スル輕目物ニシテ主トシテ晒用ニ供シ又往々手拭ニ用ユル
コトアリ本縣ノ工業組織ハ綿「ネル」ノ條下ニ述ベシト同ジク分工場ヲ各地ニ置キ整經ハ一手ニ之ヲ
行フヲ以テ他地方ニ比シ稍製品ノ一定ナルヲ得ベシ
愛知縣　本縣ノ白木綿ハ岡木綿知多木綿三河木綿ノ三者トス岡木綿ハ中島丹羽葉栗郡ヲ中心トシ東京
中形ノ生地ハ此地ヨリ供給スルモノ多シ知多木綿ハ知多郡ニ產スル薄地物ニシテ手拭地及晒木綿用ト
ス又三河木綿ハ大阪ノ河內木綿ト品質及其用途相肖タリ只彼ノ需用地ハ大阪ニシテ此レハ東京ナルノ
差異アルノミ
富山縣　本縣ノ新川木綿ハ魚津町ヲ中心トシテ產ス
三重縣　本縣ノ岡木綿ハ力織機ヲ用ヒタルモノアリテ大ニ改良ノ步ヲ進メタリ
以上各府縣ノ白木綿ハ略々同一ノ狀態ニアルヲ以テ玆ニ一括シテ批評ヲ試ムベシ抑モ本品ノ大部分ハ
手織機製ナルヲ以テ品位ノ等シキモノニアリテハ經絲ノ本數ハ略相若ケリト雖モ緯絲ノ打込不同ニシ
テ製品ノ不同ヲ生ジ職工ノ手ニヨリテ支配サルヽノ有樣アリ隨テ其每反ノ重量相同シカラズ之ヲ問屋
ニ集メテ重量ノ略同一ナルモノヲ類別シテ梱ヲ造リ以テ品質ノ整齊ト價格ノ衡平ヲ維持スト雖モ素ト
是レ大體ノ類別ニ過キスシテ到底同一ノ重量一定ノ品質ハ得テ望ムベカラズ本邦ニ於ケル今日ノ用途
ノ狀況ヨリ視ルトキハ此事ヲ左マデ必要ノ條件ニアラサル如キモ社會ノ進步ト共ニ組織ノ整齊ナルヲ
望ムハ人情ニシテ且漸次工賃ノ高マルニ從ヒ價格モ亦自ラ騰貴スルヲ以テ適當ナル機械ノ應用ハ寔ニ
今日ノ急務タラズンバアラズ況ンヤ輸出木綿ノ益々盛ナルニ連レ力織機ノ應用益急ヲ告クルニ於テオ
ヤ幸ニシテ近來力織機ヲ用ユルモノ漸次各縣ニ輩出シ製品稍々一定セルモノアルニ至リシハ實ニ喜ブ
ベシ然レドモ是レ亦糊付ノ方法未タ精シカラズ機械ノ智識未タ洽カラサルアリ近時少ナクトモ輸出向
綿布ニ就テハ機械力ヲ用キサルベカラザルノ志望當業者間ニ普ネキノ際益々其必要ヲ感セスンバアラ
ザルカリ
三重天竺金巾類　天竺金巾類ハ概ネ大規模ノ工場ニ於テ製作モラレ內地需用ヨリハ寧ロ輸出ヲ主トセ
リ又手織機ヲ用キテ織リタルモノハ代用木綿、天竺又ハ金巾代用ノ名ノ下ニ製スルモ極メテ少數ノ產
出アルノミ本會ニ出陳セル主ナルモノハ三重及岡山兩紡績會社ニシテ其製品ヲ比較スレバ左ノ如シ

製造所名	品名	幅	長重量	價格
三重紡績	三幅金巾牡丹印	四四吋 ○○	四五匁 一一匁 ○○	六〇〇
	天竺牡丹印	三一 ○○	二四 六二五	九〇〇
	天竺鷲鳥印	三一 ○○	二四 五○○	一九〇〇
	粗布飛龍印C	三六 ○○	四〇 一三二五	四六〇〇
	綾金巾飛龍印	二九五 ○	四〇 一四二五	五〇〇〇
岡山紡績	天竺蝶々	三一 ○○	二四 五二 ○	二 〇〇〇

粗布A印	三六〇〇	四〇	一五〇〇	五二〇〇

以上兩會社ノ外兵庫縣高井利一郎ノ天竺及愛知縣ヨリ代用木綿數種ノ出品アリタリ

兩會社ノ製品ハ組織糊付等巧ナルヲ見ルモ之ヲ舶來品ニ比スレバ一籌ヲ輸スルヲ免カレサルモノアリ宜シク糊料ノ撰擇ト其用法トヲ研究シ更ニ原料ヲ撰ミテ組織ノ整一ヲ圖リ進ンデハ近來盛ニ輸入スル晒金巾類ト相對シテ晒白整理ノ方法ヲ究メンコトヲ望ム

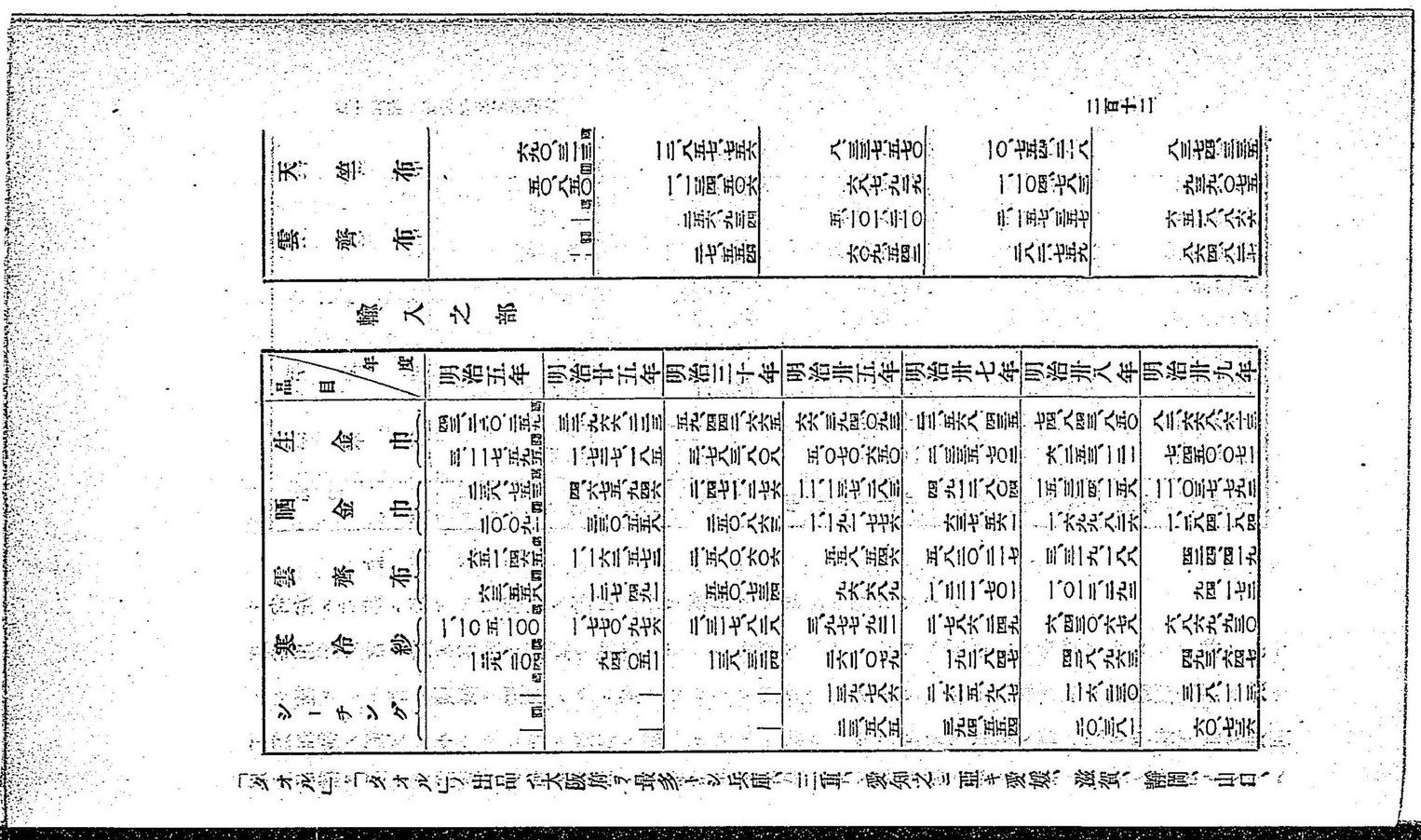
三、綿帆布　本品ヲ出陳セルハ滋賀、兵庫、廣島、山口及大阪ノ五府縣ナリ之ヲ分チテ「メリケン」及松右衞門ノ二種トス近來「メリケン」ノ需用多キニ從ヒ其製織ニ力織機ヲ使用スルコト漸次增加シ就中滋賀縣ノ近江帆布會社、兵庫縣ノ日本帆布會社等ノ製品ハ進歩ノ績著シト雖モ一般ニ之ヲ云ヘバ原絲宜シカラサルアリ撚合ノ不同ナルアリ組織ノ緊密ナラザルアリ特ニ手織「メリケン」ニ於テ缺點多キヲ見ル凡ソ是等ノ諸點ハ帆布地ニ於テ必要ノ事項ナレバ當業者決シテ輕々ニ看過セザランコトヲ希望シテ止マズ

四、雲齊　本種（內地用品）ノ重ナル出品ハ大阪岡山ノ一府一縣ニシテ他ニ德島縣ヨリ少許ノ出品アリシノミ大阪ハ太物、岡山ハ細物ヲ以テシ近來別ニ進歩ノ點ヲ見出スニ苦ムト雖モ其缺點ヲ擧クレバ糊ノ用量多キニ過クルアリ甚シキハ多量ノ粘土ヲ混シ爲メニ本品ノ品位ヲ落セルハ大ニ注意スベシ又撚絲製織ノ點ニ於テモ注意ヲ望ム

以上品種ヲ分チテ記述セシ如ク本邦ノ白綿布類ノ出品ハ洽ク各府縣ニ渉ルト雖モ一般ノ缺點トシテハ工業組織ノ極メテ小ナルカ爲メ製品ノ統一セザルニ歸スルナリ宜シク事情ノ許ス限リ準備工程ヲ共同ニシ施ヒテハ普ク機械ヲ應用スルニ到ランコトヲ期セサルベカラス殊ニ白綿布類ハ亞細亞大陸ニ於テ其需用多ク常ニ英米各國ト輸贏ヲ此地ニ爭フノ必要アルモノナレバ當業者ノ留意ヲ望ムコト特ニ切ナリ尙左ニ本邦ニ於ケル白綿布ノ輸出入表ヲ添付シテ參考ニ資セントス

輸出之部

品目 ＼ 年度	明治三十年	明治三十五年	明治三十七年	明治三十八年	明治三十九年
白木綿	九三四、〇九二反	一、八六〇、九七五	一、五八三、〇九六	三、〇六六、八七四	一、九〇六、二〇九
	七八二、六九八圓	一、〇七九、九〇八	九九三、三七八	二、二〇三、九九〇	一、四三八、六九二
手拭地	六七、三三一反	二二八、五九二	三九七、二四七	二六三、五七四	六二九、九三五
	一六、二九〇圓	六八、〇一九	一二〇、五九一	八二、五九二	二二二、三二四
シーチング		三、九五一、〇九〇	一、七二二、二〇一	四、三五八、六二〇	一三、〇九〇、六五〇
	圓	四八九、九七九	二〇〇、九七三	六四四、九四〇	一、七二八、〇九七
生金巾	三、四四二、九〇九圓	一四、五二二、三五一	二〇、五六六、八四二	二八、五九一、五八九	三八、〇〇〇、九四〇
	三四六、〇三六圓	一、五二三、〇六〇	二、五五八、八九八	四、〇一〇、六八一	五、二七六、四七一
綾金巾		二〇〇、〇〇〇	一、一四四、二九二	二、一六五、五一四	一、四四八、八二〇
	圓	二〇、八五〇	一三〇、七九三	二八〇、八三九	一九〇、四八九



品目＼年度	明治五年	明治十五年	明治二十年	明治廿五年	明治廿七年	明治廿八年	明治廿九年
シーチング 寒冷紗	四三〇三五	三六九六三三	五九四四三六五	六六三九四五三	三五六四四三五	七四八四三六〇	八三六六六三五
雲斎布	一一〇一	三六九六三三	三五六〇〇三	五〇六五〇一一	一一三六八四三	一三一三〇	一四四〇五
晒金巾	三六七五四四	四六五四四	三五〇九一	三六九一一	四九三八四	五三三四八	四四一九
生金巾	三〇〇二	三四〇九一	三三九〇三	三六九一一	五六一三八	一六八六六	一三六四
綾	一四一	一四一	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿毛布	六六四一	六六四一	六六四一	六六四一	六六四一	六六四一	六六四一
綿天鵞絨	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿繻子	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿羅紗	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ビロード	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ベルベット	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ラシャ	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ネル	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿モスリン	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ジン	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ブロード	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ドンス	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ベンガラ	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ビロード	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ベルベット	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ラシャ	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ネル	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿モスリン	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ジン	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ブロード	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ドンス	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿ベンガラ	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八

輸入之部

品目＼年度	明治五年	明治十五年	明治二十年	明治廿五年	明治廿七年	明治廿八年	明治廿九年
綿斎布	一四一	一四一	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八
綿天竺布	一四一	一四一	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八	一三六八

三百十二

「タオル」ヲ出品セル府縣ハ大阪府ヲ最多トシ兵庫、三重、愛知之ニ亞キ愛媛、滋賀、靜岡、山口、和歌山、福井、島根、京都、德島ノ諸府縣モ亦少數ノ出品ヲナセリ「タオル」ハ廣ク內外ニ使用セラルヽモノニシテ內地向ハ一尺一寸幅ノモノ多ク一般ニ毛立ノ短キヲ貴ヒ輸出向ニ於テハ幅十五吋長三十吋ノモノ多ク毛長キヲ賞シ各特長アリ就レモ白地ノ兩面「パイル」ヲ主トシ片面又ハ絞「タオル」ハ前者ニ比シ其需用尠シト云フ

今主ナル府縣ニ就キ品評ヲ試ミン

大阪府　本府ノ「タオル」ハ泉南郡佐野町ヲ主產地トシ北河內郡及大阪市內ニモ亦多少ノ產出アリ其出品ヲ見ルニ三ノ出品ハ組織晒白當ヲ得テ舶來品ニ比肩スルニ足ルモノアリ前回以來一進步ヲ認メ得ルト雖モ一般ニ「パイル」ノ不整兩端筋絲ノ染色晒白ノ方法等ニ不完全ナルモノ多キハ遺憾ナリ

兵庫縣　本縣ハ大阪ニ亞ク主產地ニシテ稻岡工場出品ノ如キ組織及染色ノ色彩トモ完キニ近ク賞揚スルニ足ルモノアレトモ一層原料ノ撰擇ト製織ノ方法ニ注意スヘシ

其他三重縣ノ三重浴巾商會愛知縣ノ三河浴巾會社及靜岡縣ノ望月爲吉等ノ製品ハ見ルニ足ルモノアレトモ其他ノ諸縣ハ概ネ幼稚ノ域ヲ脫セス

「タオル」ニ向テ一般ノ注意トシテハ原料ノ撰擇當ヲ得サルガ爲メ浴巾トシテノ價值ヲ減スルコト多ク製織染經ノ方法不整ナルガ爲メ「パイル」ノ不均一甚タシキアリ晒白ノ當ヲ得ルヲ爲メ光澤ニ乏シク絲質ヲ脆カラシムルノ憂アリ此等ノ諸點ニ就テハ最モ注意ヲ要スベキナリ

抑「タオル」ハ外國ニ於ケル需用極メテ廣ク殊ニ亞細亞大陸ニ於ケル諸外國ノ競走激甚ヲ加フルノ秋ニ當リ當業者ハ能ク輸出入及需用地ノ狀況ヲ明ニシ製作及販賣ノ方法ヲ攻究シ以テ販路ノ擴張ヲ圖リ對外貿易ノ振作ニ務メサルベカラス

「タオル」輸出額表

年度	數量	價格
明治三十年	二六二、一九二斤	二八〇圓
明治三十五年	一、〇二四、六九六	九五三、三六二
明治三十八年	一、七二四、九八八	一、六〇八、〇八七
明治三十九年	二、一四九、三九八	二、一七四、九六二

支那ニ於ケル輸入浴巾五年間對照表

年度	輸入總額	內譯		割合
千九百〇年	六三六、六七八	日本品	二一四、〇八八斤	〇・三四
		外國品	四二二、五九〇	〇・六六
千九百一年	六七一、八二六	日本品	二五一、〇八六	〇・三七
		外國品	四三〇、七三〇	〇・六三
千九百二年	九四〇、五八九	日本品	三〇四、七五二	〇・三三
		外國品	六二五、八二七	〇・六八
千九百三年	一〇九〇、二二九	日本品	四九八、二四五	〇・四六
		外國品	五九一、九八四	〇・五四
千九百四年	一一五三、〇〇四	日本品	七〇三、一五九	〇・六一
		外國品	四四九、八四五	〇・三九

右ノ表ヲ見ルニ僅ニ五ケ年間清國ニ輸入スル日本對外國品ノ割合正反對ヲ呈シ日本品ハ破竹ノ勢ヲ以テ增進シツヽアリ抑モ本邦「タオル」需用ノ多々益々增加スル所ノ清國ニアリテ如上ノ現象ヲ呈スルハ國家ノ爲メニ慶スヘキコトニシテ當業者奮勵ノ結果ニ外ナラサルベシト雖モ深ク粗製ヲ愼ミ善良ナルモノヲ供給シ外國品ト鹿ヲ清國市場ニ追ヒ進ンテハ其羽翼ヲ南滇ニ伸スヘク「タオル」界ノ前途洋々焉タリト謂フベシ

綿絣類　絣ノ出品ハ總計二千三百六十九點ニシテ廣島、愛媛、奈良三縣最モ多ク愛知、德島、鳥取、島根、岐阜、靜岡ノ諸縣之ニ亞キ一ノ出品ヲ見サリシハ石川高知ノ二縣アルノミ其種類ハ紺絣殆ント全部ヲ占メ他ハ奈良縣ノ白絣愛知岐阜縣ノ大島絣ニ過キス絣類ハ本邦人ノ嗜好ニ適シ古來ヨリ甚タシキ變遷ナク其生產ヲ繼續シ來リ現時ニ於テハ漸次其額ヲ增シ汎ク各地ヨリ產出スルニ至レリ元來絣ハ正藍染ヲ基本トセルガ故ニ洗濯及日光ニ對シ甚タ堅牢ナルニ加ヘテ製織亦手技ニ賴ル處多ク其柄ニ趣

アルガ故ニ殊ニ中流以下ノ愛用ヲ受クルニ至リシナリ故ニ絣類ハ堅牢ヲ第一ノ要素トシ其柄合ハ可成手數ト工費トヲ要スヘキ精細巧緻ナルヲ避ケ意匠ノ簡雅ナルモノヲ撰ヒ絣絲ノ染色ニ就テハ織抜ハ板締、機械絞等ノ術ヲ利用シ以テ工費ノ低減ヲ計リ中流以下ノ實用品タル主旨ニ副ハンコトヲ要ス是レ實ニ斯業ニ從フモノハ常ニ服膺スベキコトヽ信ス況ンヤ近來捺染術ノ發達駸々乎トシテ絣ノ販路ヲモ蠶食セントスルノ氣運ニ遭遇シツヽアルニ於テオヤ益々絣ノ特色ヲ發揮スルト同時ニ價格ノ低廉ヲ企圖スルハ現下ノ急務ナリ然ルニ之ヲ今回ノ出品ニ見ルニ工風ニ耽リ考案ニ凝リ甚タシキハ其技ヲ密ニシテ外觀ノ美ヲ害シ又ルモノサヘナリ斯ノ如キハ徒ニ價格ヲ騰貴セシムルノミナラス往々徒勞ニ屬シ所謂共進會的特製品タルノ誹謗ヲ招クノ止ムヲ得サルモノアリ當業者此點ニ就テ將來ノ注意ヲ要スルハ勿論宜シク協同一致シ意匠考案ノ機關ヲ設ケテ之カ改良ヲ謀リ組織ノ牢實ト染色ノ堅牢ニ注意ヲ怠ラス以テ廣ク需要ニ應シ益々前途ノ發展ヲナスヘキナリ

左ニ絣主産ノ諸縣ニ就キ概評スヘシ

奈良縣　水縣ノ紺絣ハ小中柄ヲ以テ其特色トシ糊張ノ整理法ヲ行フヲ以テ一種ノ趣味ヲ有シ價格亦比較的低廉ナリ先年一タヒ粗製ノ弊ヲ釀シ染色ノ不完全不堅牢トナリ一時聲價ヲ墜シ殆ント救フヘカラサルニ至リシモ近時率先硫化染料ノ應用ヲ攻究シ進ンテ之ヲ使用スルニ至リ一方組合組織ノ完成ヲ告ケ製品檢査ヲ勵行シテ昔日ノ弊風ヲ拭掃シ世人ノ信用ヲ恢復シ其嗜好ニ投シ今ヤ年ヲ逐フテ其產額ヲ增加シ製品ノ實行極メテ佳良ニシテ些ノ停滯ヲ見ルコトテキニ至レリ然レトモ其缺點ヲ指摘スレハ色味ノ徃々佳ナラサルモノアリ是レ正藍量ノ過少ナルニ起因スルヘク又經緯ノ細太一般ニ調和ヲ失セル嫌アリ是レ素ヨリ特色ト稱スル地風ヲ與フルニ緊要ナルヘキモ之ヲ甚シクスルトキニハ遂ニ耐久力ニ影響スルナキヲ保セス又徃々糊張ニ使用スル糊料ノ粗惡ナルト使用法宜シカラサルノ結果布面ヲ汚スモノアルヲ認メタリ當業者此等ノ諸點ニ一層ノ考慮ヲ加ヘ其順境ニアルノ時ニ當テ宜シク諸缺點ヲ除去シ益々組合檢查ヲ嚴正ニシ意匠幷ニ技術ノ改善ヲ謀リ再ヒ前年ノ轍ヲ踏襲スルコトナキヲ期スヘキナリ

本縣ノ白絣ハ其技術全ク優秀ナリト稱スル能ハスト雖モ地風ノ粗鬆ナルハ反テ快凉ヲ覺エシメ夏期ノ着料ニ適シ價格低廉染色堅牢ナルヲ以テ能ク世人ノ嗜好ニ投合シ每年九十萬反ヲ產スルト云フ又以テ全國無比ト稱スルヲ得ヘシ然レトモ其意匠ニ至リテハ前年ノモノニ比シ少シモ改新セルノ跡ヲ呈セス今ヤ白地ノ捺染絣ハ急速ナル歩調ヲ以テ巧ニ奇拔ナル柄合ヲ標榜シツヽアリ是レ實ニ本縣白絣ニ對スル強敵ト云フヘキナリ當業者危機ヲ目前ニ控ヘ豈ニ安閑タルヲ得ンヤ今ニ於テ奮勵一番舊套ヲ脫シ鋭意知縣、絣ノ主產地ニアラサルガ故ニ其出品僅少ナリ然レトモ本縣ハ關西機業精粹ノ地ナルヲ以テ原料ノ使用意匠ノ撰擇概シテ佳良殊ニ佐々絣ハ紺地白地兩者トモ技術老練ニシテ巧妙ナリ尙全般ノ絣ニ

就テ評スレハ絣ハ出來上リ普通ニシテ柄合佳ナリト雖モ價格比較的低廉ナラス地質多少粗鬆ニ過グルノ傾アリ色合ニ於テモ非難スヘキモノ少カラス是等ハ二段ノ攻究ヲ要スヘシ

靜岡縣　絣小中柄ヲ主トシ品質柄合共ニ不可ナク價格亦至當ナリ本縣ハ東方ニ好顧客ヲ有スルカ故ニ益々奬勵シテ以テ準備工程幷ニ染色ノ改良發達ヲ計リ品質ノ整一ト價格ノ低減トヲ期スヘシ然ルトキハ逐年其産額ヲ增進シ販路ノ閉塞ニ究スルカ如キコトナキヤ必セリ

岐阜縣　主トシテ大島絣瓦斯銘仙絣等ヲ出品セリ地色ト絣ノ配合宜シキヲ得柄ノ結構輕妙ニシテ地風ニ二種ノ趣アリ價格割合ニ低廉ニ中流人士ノ歡迎スル所タルヲ疑ハス唯恐ル經ノ密度粗ニシテ織込亦不充分布地軟弱ニ過キテ耐久力ニ乏シク且ツ染色ノ堅牢度モ亦不充分ナルヘキヲ若シ夫レ是等ノ點ニ充分ノ改良ヲナシ得タランニハ前途益々有望ニシテ隆盛ノ域ニ進マンコト疑ナカルヘシ絣絣ニ就テモ亦大ナル缺點ヲ見ス今後益々機械力應用ノ途ヲ講シ準備工程ノ工費ヲ節約センコト切ニ希望シテ止マス

鳥取縣　本縣ノ絣物ハ殆ント倉吉町ノ出品ニ係リ技術精巧ナリト稱スルヲ得サレトモ柄合ハ先進地方ノモノニ酷似シ色合又可ナリ末タ老練ノ域ニ達セサルカ故ニ工費ニ失フ所多ク從テ價格廉ナラス廣キ需用ニ應スルコト頗フル難事ナリトス今後ハ宜シク先進地方ノ視察ヲ怠ラス長短相補ヒ學理ノ應用ヲ務メ工程ノ簡約ヲ謀リ技術ノ練磨ヲナシ以テ先進地方ニ比肩センコトヲ期スヘシ

島根縣　大柄物ハ意匠精細技術巧緻ニシテ廣濶絣ノ特色トシテ眞ニ敬慕ニ値スヘシ然レトモ其價格高貴ニ失シ蒲團地或ハ小兒ノ着料トシテ實用ニ適シ難ク主トシテ其技ノ賞讃ヲ博スルニ止マリ賣品トシテノ價値ハ比較的乏シカルヘシ小中柄物亦技術可ナレトモ手工ニ待ツコト多キヲ以テ起原ノ遠キニ比シ進歩著シカラス價格亦不廉ナリ爲メニ業況甚タ振ハサルハ惜ミテモ尚餘リアリ本縣ノ如ク既ニ第一段ノ技術ヲ了得セシ地方ニアリテハ他地方ニ鑑ミ需用ノ狀況ヲ察シ須ラク經濟的方面ノ攻究ヲナシ以テ終局ノ美ヲ遂クルヲ要ス

德島縣　全部紺絣ニシテ範ヲ久留米絣ニ採リ特産タル阿波藍ヲ以テ之カ染色ヲナシ刻苦精勵着實ニ生産ニ從事セシ結果現時ニ至ルマテ久留米絣代用トシテ本場藍ノ名聲ト共ニ信用ヲ博シ販路ヲ維持スルヲ得タリ今回ノ出品ニ徵スルモ品質優良染色確實ナルハ聯合府縣内ノ久留米絣ト稱スルヲ得ンカ唯其價格本場久留米産ニ比スルモ尚且廉ナラサルト柄合ニ苦心ノ形跡ヲ止メサルヲ遺憾ナリトス然レトモ近時着々器械締等ヲ應用シ且ツ意匠ノ革新ニ歩ヲ進メツヽアリト聞ク斯業ノ爲メ慶賀ニ耐ヘス宜シク現時ノ方針ヲ確守シ正藍使用ヲ楯トシテ猛進セハ益々其聲譽ヲ高メ第二ノ久留米絣トシテ英名ヲ長ヘニ維持シ販路ヲ發展スルコト敢テ難事ニアラサルヘシ

廣島縣　出品點數六百七十三ニシテ各府縣中絣トシテハ本縣ノ出品ヲ最多トス之ヲ前回ノ出品ニ比スルニ技術ノ進歩顯著ナル點ニ於テモ亦先ツ指ヲ本縣ニ屈セサルヲ得ス品質概シテ優等技術亦精巧ヲ極

メ柄合特ニ嶄新賞スルニ足ル然レトモ價格高價ニ失シ加フルニ其産額ハ出品點數ノ多キト品質ノ優良ナルニ比シテ甚タ少ナシ是ニ依テ之ヲ觀ルニ出品ノ大部ハ特製品ニシテ其數多カリシハ當局者勸誘ノ然ラシメタルニ非ラサルナキカ然レトモ斯ノ如キ製品ヲ産スル當業者ノ技倆ニ至テハ決シテ輕々視スヘキニアラス若シ夫レ備後絣ノ製造者ニシテ其有スル所ノ技能ニヨリ一層實用的ノモノヲ製シ價格ノ低廉ト販路ノ擴張トニ留意スルアラハ他日ノ大成期シテ待ツヘキナリ

愛媛縣　伊豫絣ハ聯合府縣内ニ於ケル絣業ノ先進者ニシテ産額亦首位ヲ占ム然レトモ從來副業的小機業家ノ集合ナリシヲ以テ品質ノ整一ヲ缺キ成績亦昂ラサリシガ近年專門機業家ノ輩出ヲ見ルニ至リ面目ヲ改メツヽアリ而シテ製品ハ專ラ實用ヲ旨トシ準備工程等ニハ總テ嶄新ナル方法ヲ採用シ大柄ヲ特色トス染色トシテハ天然及人造ノ藍ヲ混用シ其外觀ハ優美ナラサルモ價格低廉ニシテ衣服及蒲團地トシテ確實ナル販路ヲ有セリ唯恐ル價格ノ低廉ヲ競フノ結果人造藍ノ使用量多キニ失シ往々洗濯摩擦等ニ堅牢ナラサルヲ又絣ノ白部汚染セルモノ小中柄ニ於テ少ナカラス現時後進地方ノ技術眞ニ侮リ難キモノアルニ際シ本縣ノ當業者大ニ警醒スル所ナカル可カラス望ムラクハ染色改良ノ實ヲ擧ケ益々諸工程ノ革新ヲ期シ柄合ノ精撰改善ニ務メ以テ先進地タルノ聲名ヲ永遠ニ保持センコトヲ

綿織雜類　本類ニハ第十四類中前記綿「フランネル」白綿布「タオル」及綿絣ヲ除キタル總テノ綿織物ヲ網羅セシメタルモノニシテ本類ニ屬スヘキ出品トシテハ瓦斯縞木綿縞及絲入木綿縞等其大部ヲ占メ紺、納戸、萠黄其他ノ無地色木綿及ヒ綿縮之ニ次キ小倉洋服地小倉帶地輸出向綿布等ハ其點數多カラス本類ハ其需用ノ廣大ナルモノナルヲ以テ生産區域甚タ廣ク各府縣共多小ノ出品ヲ見サルハナシ而シテ之ヲ府縣ノ上ヨリ見レバ綿縮トシテハ山口ノ岩國縮、滋賀縣ノ高島縮、德島縣ノ阿波縅、島根縣ノ八雲縮其主ナルモノニシテ其他ノモノニアリテハ廣島縣ノ福山縞神邊縞山口縣ノ柳井縞、兵庫縣ノ播州木綿、愛知、岐阜、靜岡諸縣ノ瓦斯縞絹綿交織木綿縞岡山縣ノ小倉帶地、木綿縞、德島縣ノ紺縞、三重縣ノ伊勢縞、松坂木綿、織色木綿等其出品最モ多シ京都、滋賀、鳥取、島根ノ諸府縣ハ其出品甚タ少カリシ他ハ皆相當ノ出品ヲナセリ左ニ逐次之カ批評ヲ試ミン

京都府　瓦斯雙子、木綿縞、厚司織、風通女帶地、綿縮等雜多ニシテ特産トシテ見ルヘキモノナキモ意匠ト整理トノ二點ニ至リテハ京都府ノ名ニ恥チザルモノアリ然レトモ本府ハ綿絲ニ對スル一般ノ技術未タ發達ノ域ニ達セサルモノヽ如シ

大阪府　本府ノ出品ニハ縞木綿コール天厚司織紺木綿被面小倉帶地綿織等アリ稍ヤ見ルニ足ルヘキモノナキニ非サレトモ多クハ取扱商人ノ出品ニ係リ其産地ヲ明ニセス製品亦區々ニシテ總括シテ評スルヲ得ス宜シク他府縣ニ於ケル長短兩所ヲ斟酌シ其改良ニ資センコトヲ要ス

兵庫縣　中大柄木綿縞及蒲團縞ノ出品多ク概シテ蒲團縞ヲ除クノ外ハ柄合陳腐ニシテ地質粗雜丈幅一定セス商標亦區々ニシテ名稱ハ人毎ニ其選ヲ異ニスル等全ク地方ノ物産トシテ整備スル所ナシ斯クノ

如キハ廣ク販路ヲ求ムルニ容易ナラス單ニ一地方ノ需用ヲ充タスニ止マルベシ尚一段ノ奮勵ヲ要ス

奈良縣　本縣ノ出品ハ縞木綿綿黄八丈無地木綿其主ナルモノニシテ地質粗鬆染色堅牢ナラサリシモノアリ柄合亦陳腐ニ屬セリ綿黄八丈ハ特ニ地方ニ産スル木葉ヲ以テ染色スルモノニシテ比較的堅牢ニ價格亦廉ナリ然レトモ生葉ヲ使用スルモノナレハ期節ニヨリテ生産ヲ中止スルノ止ムヲ得サルモノアリ今回此種ノ出品モ亦期節ノ關係上數點ニ過キサリシヲ以テ金般ヲ窺フニ足ラス無地木綿中ニハ紺木綿崩黄木綿アレトモ染色不完全ニシテ容易ニ脫色スルモノアリ大ニ改善ノ必要ヲ認ム尚永通布ト稱スル輸出中幅納戸色木綿モ染色體裁幷ニ整理ノ上ニ於テ非難ノ點多シ製造上大ニ改良スル所ナクンハ或ハ販路ヲ失フニ至ラン宜シク需要地ノ人情風俗ヨリ其他萬般ノ狀況ヲ精探シ有望ナル清國市場ニ於テ信用ヲ失墜セサランコトヲ期スベシ

又本縣ヨリ綿蚊帳地ノ出品少數ヲ見タリ其織成染色共ニ適スト雖モ蚊帳ノ仕立方粗雜ナルハ價格低廉ナルニ起因スヘシトハ云ヘ注意ヲ要ス

愛知縣　絹綿交織瓦斯縞ノ出品多シ而シテ地色ノ撰擇縞柄ノ組成配色ノ調和等ニ至テハ他府縣ニ比シ一頭地ヲ拔キタリト云フヘク本邦綿業界ノ中樞ト稱スルニ足ル然レトモ技術ノ發達ト熟練トハ時ニ或ハ奇利ヲ博セシトスルニ汲々トシテ遂ニハ品位ノ下降ヲモ顧ミサルノ傾向ヲ生スルモノニシテ本縣今回ノ出品ニ於テモ多少此形跡ヲ示セルモノアリ是レ先進地方ニ起ルヘキ通弊ナリトハ云ヘ大ニ戒ムル所ナカルヘカラス要ハ組合檢査ノ法ヲ嚴正ニシテ其勵行ヲ務ムルニアリ

出品中愛知物產組ノ製織ニ係ル朝日織ハ絹綿交織縞ニシテ其地風ハ全ク絹毛交織ノ如ク反テ綿絲ノ混在ヲ疑ハシム是レ原料及糊料ノ使用巧妙ニシテ整理ノ方法良好ナルノ然ラシムル所實ニ斯業ノ泰斗トシテ後進者ノ敬慕ヲ受クルニ値スベシ尚中京縮及金城明石縮ト稱スル縮類及ヒ紋織座蒲團地亦品質優秀趣味高雅ニシテ賞揚スルニ足ル唯價格ノ不廉ナルヲ憾トスルノミ

中島郡一ノ宮附近ノ出品ニハ御召ノ觸感ヲ帶ハシメタル瓦斯縞及絹綿交織縞多ク柄合ハ他地方ノモノニ比シ嶄新ニシテ地色ト筋絲トノ配合ニハ苦心ノ跡顯著ナルモノアリ又整理ニ斜柳條ノ細線ヲ附シ一層御召ノ趣味ヲ助長セシメタルモノ整理糊ノ使用ト相俟テ佳良ナリ唯地色ニ種々ナル配合色ヲ應用セシカ爲メニ常軌ヲ脫シ不堅牢ナルモノアリ聞ク同地織物組合ニ於テハ檢査ノ勵行染色ノ指導等ニヨリ之カ改良ノ策ヲ講シツヽアルモ未タ全ク清掃スルニ至ラスト當業者宜シク公德ヲ重ンシテ私利ニ走ラス織込ト染色ノ完全ニ意ヲ注キ以テ益々地方產業ノ改良發達ヲ期センコト切望ノ至リニ堪ヘサルナリ

丹羽、葉栗郡地方ノ出品ハ重ニ縞木綿瓦斯縞絲入雙子織等ニシテ他地方ノ出品ニ比シ縞柄普通ニ製品概シテ無難ナリ尚膠布或ハ寧波布ト稱スル廣幅輸出縞木綿ハ地合組織良好ナリ宜シク需用地ノ狀況ヲ探究シテ後來ノ發展ニ資スベシ紺木綿ハ其出來色合地質共缺點ヲ見スト雖モ價格安廉ナラス一般ノ需

用ニ應スルコト蓋シ困難ナラン

靜岡縣　瓦斯縞絲入縞木綿縞ヲ主トシ少數ノ帶地ヲ見ル縞柄ハ紺縞白筋ノモノ多ク蒲團縞ニハ黄色及茶色等ヲ配合セルモノアリ概シテ普通ト稱スルノ外ナク染色ハ正藍ヲ基礎トセルガ故ニ比較的堅牢ニシテ價格亦不廉ナラス是ヲ以テ其需用漸次增加シ年々ノ產額多少增進シツヽアルハ喜フベシ然レトモ筬算粗ニシテ且ツ織込ノ不充分ナルアリ或ハ原料絲ト筬美トノ調和ヲ缺キ從テ地質粗惡ヲ來セシモノ少ナカラス綿布ヲ主產トセル地方ノ製品トシテハ遜色ナキ能ハス當業者一層ノ奮勵ヲ以テ柄合地質ノ改善ニ力ヲ注ク時ハ販路ノ發展ヲナスコト蓋シ難事ニアラサルヘシ

本縣出品ノ紺木綿ハ其染色ニ主トシテ割立藍ヲ用ヒ多少ノ紅柄ヲ使用シ色合濃厚ニシテ多少脫色ノ患アリシモ甚タシキニ至ラサルハ佳ナリ「コール」天ノ出品數點ヲ見シモ精巧ノ域ニ達セス殊ニ白地ノモノヽ如キ概シテ茶褐色ヲ帶ヒ所々雲紋ヲ顯出セリ

滋賀縣　本縣出品ノ綿織物中主トシテ其他ハ風呂敷地外數點ニ過キス木綿縮ハ緯絲ノ打込大ニ異ナル所アリ概シテ品質ノ一定ヲ缺キ山口縣ノ同品ニ比シ一步ヲ讓ラサルヲ得ス將來撚絲及製織等ニ於テ今一層ノ注意ヲ要ス同縣小谷製織所ノ絽縮紋絽縮ハ原料ニ細キ瓦斯絲ヲ使用セシガ上ニ撚絲織方整理等ノ諸點ニ注意セルノ跡歷然トシテ見ルヲ得ヘシ同所出品ノ凉織ト記セル綿絽ト兩ツナガラ賞讃スルノ價值アリ

岐阜縣　美濃縞及竹ケ鼻兩織物組合ノ出品ヲ主トナルモノトシ其種類ハ絹綿交織大部ヲ占メ柞蠶絲紡績絹絲等ノ混用巧ニシテ價格概シテ低廉中流社會ノ嗜好ニ適シ將來益々需用ノ途ヲ擴張シ得ヘシト信ス本縣ハ界ヲ愛知縣ニ接シ有力ナル商人ト元機屋多キカ故ニ生產上殆ント障壁ヲ設ケス製品モ亦殆ント一致セリ出品中ニモ亦全然愛知縣ノ產品ヲ見受ケタリ竹ケ鼻地區內ノ製品ハ美濃縞組合地區內ノ製品ト大差ナキモ概シテ大柄疋物ヲ生產スルヲ特徵トス要スルニ本縣ノ製品ハ大體愛知縣一ノ宮地方ノモノニ比シテ原料ノ使用染色及其他ノ技術ニ於テ敢テ一步ヲ讓ラスト雖モ整理ノ點ニ於テハ未タ及ハサル所アルカ如シ而シテ美濃縞竹ケ鼻兩組合ハ其地區相接シテ存在シ互ニ競フテ製產ノ改善發達ヲ計リツヽアルハ慶スヘキ現象ナルモ進ンテ惰弊ヲ去リ合同組合ヲ組織シ相援テ斯業ノ發展ニ資センニハ外ニ對スルノ勢力ヲ增シ永遠ノ利ヲ收ムル上ニ於テ功果蓋シ少ナカラサルヲ信ス

本縣ハ重キヲ綿布ノ輸出ニ置キ指導奬勵其宜キヲ得今ヤ年額七十萬反ヲ輸出スルニ至リシハ當ニ本縣ノ幸福ノミニアラサルナリ輸出綿布中ノ重ナル者ヲ被面（清國向蒲團地）トス被面ニ二種アリ綾及紋トス共ニ黄線青赤黑等ノ大格子縞ニシテ染色ハ縣令ニヨリ堅牢度ノ標準制限ヲ設定シ違反ノ制裁ヲナシ一方指導匡正ニ怠リナカリシカ故ニ甚タシキ缺點ヲ認メサルモ紋樣組織及意匠ハ價格制限ノ然ラシムル所ナリトハ云ヘ未タ改良ノ餘地多シ加之整理ニヨリテ品位ヲ高ムルノ方策ヲ採用スルハ現下ノ急務ニ屬シ單ニ一時ノ賣行ニ安心スルコトナク又狠リニ價格ノ低下ニノミ傾クヘカラス間ク地方商人ノ

需用地ニ店舗ヲ有スル者少ナカラスト雖シ又ニ氣脈ヲ通シ需用ノ狀況ヲ察シ永續ノ貿易ヲ營ミ以テ
當局者奬勵ノ意ニ副ハンコトヲ務ムヘキナリ
福井縣　出品ノ石田縞ハ主トシテ製産地方ノ需用ニ供スル・モノニシテ地質ノ堅牢ヲ主眼トシ皮テ重地
粗硬ナルヲ賞スルカ故ニ技術幼稚柄合陳腐且ツ製品區々ニシテ單ニ地方消費ノ地織物トシテ見ルヘキ
ノミ
石川縣　今井地方ノ出品多ク概シテ技術ノ程度等福井縣產ノモノト大差ナク大柄縞ヲ主トセリ
富山縣　福野町戸出町地方ノ出品ヲ主トシ富山市其他ノ地方ヨリモ多少ノ出品アリ柄合ニ就テハ北陸
地方トシテ比較的進歩ノ狀ヲ認ム其販路ハ近縣ニ止マラス漸次北海道方面ニ及ホセリト云フ染色ノ方
法ハ未タ幼稚ナルヲ免カレス且製品ノ整理ニ缺クル所アリ丈幅體裁區々ニ分レ組合組織ノ存在ヲ疑ハ
サルヲ得ス將來一層ノ攻究研磨ヲ要ス尚紺木綿小倉洋服地ノ出品アリシモ其成績縞木綿ト大同小異ナ
リ
島根縣　本縣出品中綿縮ハ其點數僅ニ二十點內外ニシテ概シテ地質粗ナリ此他ノ出品ニ至リテハ殆ン
ト皆實業補習學校ノ製作ニ係リ其品種ハ勿論一定セス
岡山縣　本縣ハ古來小倉帶地ヲ以テ名アリ其出品又甚タ多キヲ見タリ然レトモ特ニ賞揚スヘキ程ノモ
ノヲ認メス小倉袴地ニハ織込佳良且ツ商品トシテノ體裁ヲ完備シ見ルヘキモノアリ洋服地小倉

織中ニハ織方染色等ニ於テ二三ノ賞スヘキモノアリ之ヲ除クトキハ概シテ織斑アリ染色亦完全ナラサ
ルモノ多キヲ見タリ尚一層ノ奮勵ヲ要ス洋服地及袴地ノ如キハ將來益々其需用ヲ增加スヘキヲ以テ本
縣ノ綿織業者トシテ力ヲ此種類ニ注クハ策ノ得タルモノトナランカ
廣島縣　福山縞神邊縞ヲ始メトシ出品點數甚タ多シ其品種ハ木綿縞瓦斯縞絲入瓦斯縞等其重ナルモノ
ニシテ多數ノ出品ナルニモ拘ハラス概シテ品質一定ニシテ甚タシキ粗品ヲ見ス之ヲ前回ニ比スレハ長
足ノ發達ヲナセリト稱スヘシ是レ組合組織ノ活動及當局ノ指導其當ヲ得タルト當業者進取ノ氣慨旺盛
ナルノ然ラシムル所ニシテ染色ノ技術殊ニ一層ノ光彩ヲ發揚セリ然レトモ未タ筅ノ撰擇ニ留意セスシ
テ縞筋ノ均等ヲ缺クモノアリ或ハ柄合ト縞色ノ調和宜シキヲ得サルモノアリ或ハ瓦斯絲ノ使用ニ熟セ
サルモノアリ殊ニ瓦斯混用縞ニ於テ地絲ト筋絲（瓦斯四ツ入筋ノモノニ多シ）トノ緊縮ニ調和ヲ失シ
布面ニ皺襞ヲ生シ甚タシク外觀ヲ損セシモノアリ進テ是等ノ缺點ニ改良ヲ圖ルハ勿論意匠糊料機械力
ノ應用等ニモ研鑽攻究ヲ遂ケ以テ永遠ノ發展ヲナスヘシ
山口縣　本縣出品ノ綿縮ハ從來其有名ナリシニモ似ス其品質不揃ニシテ撚絲組織整理等ノ諸點ニ於テ
非難多カリシガ今回ノ出品ヲ見ルニ大幅物ニ在リテハ原料撚方組織等齊一ニシテ出品者十數名ナルニ
拘ハラス殆ント同一人ノ製品ヲ見ルカ如キ觀アリ斯クノ如クニシテ始メテ地方物產タルニ恥チス將來
尚一層ノ奮勵ヲ要ス聞ク所ニヨレハ同地ノ小幅物モ近來滿韓地方ニ輸出スルモノ多シト是亦大幅物ト

同シク原絲ハ勿論緯絲ノ撚方組織ノ密度整理ノ方法等ヲ一定ニシ益販路ノ擴張ヲ圖ラン事ヲ希望ス

尙本縣ノ縞木綿ハ殆ンド全部普通ノ木綿縞ノミニシテ比較的良好ナリ現時他地方ニ於テ瓦斯絲等ノ細絲ヲ使用スル事漸ク盛ナラントスル時ニ際シ本縣ノ木綿縞ハ然ラスシテ製品ハ雜駁ニ流レス軟弱ニ傾カス一種ノ趣味ヲ有シ染色亦佳良ニシテ商標體裁總テ同一歩調ニ出テ商品トシテ井然タル事眞ニ喜フヘキモノアリ唯柄合ノ稍陳腐ナルヲ免レサリシハ遺憾ナリ是レ需用地タル九州地方習俗ノ然ラシムル所ナリト雖モ今一層ノ工風ヲ凝ラシ以テ益々販路ノ增進ヲ計ルヘキナリ尙絹絲入瓦斯縞等ニアリテハ未タ其技熟セス絹絲ノ使用量ニ比シ品位高マラサルモノアリ宜シク卑キヲ修メテ高ニ就クノ階段ヲ踏ミ急ニ高尙ナル織物ノ生産ニ移ラントスルヲ戒メ益々木綿縞ノ研究ニ盡スヘシ

德島縣　本縣産ノ繊織ハ緯絲ノ强撚ニヨラス組織ノ關係ヨリシテ仕上ノ後縮綯ヲ織物ノ面ニ顯ハセルモノニシテ同地ニ於ケル有名ノ物産ナリ瓦斯絲ヲ原料トシタル上等品中ニハ組織緊密ニシテ品位卑シカラス夏時ノ着料ニ好適ノモノアレトモ普通品ニ於テハ何トナク趣味ノ乏シキヲ覺ユルモノアリ又中ニハ數回洗濯ノ後其綯縮ノ消去スルコトナキヤヲ疑フモノアリ要スルニ此織物ハ技術上格段ナル進歩ノ跡ヲ認メス

本縣産ノ縞木綿類ハ阿波藍ノ本場トシテ紺縞ノ生産ニ名アリシニ一時人造色素ノ濫用トナリ粗製ニ陷リシモ組合ハ熟心之カ改善ニ盡シ一面嚴正ナル組合檢査ヲ勵行シ遂ニ全然硫化染料ヲ以テ代用スルニ至リ其技大ニ上達シ前日ノ弊風ヲ匡正シ得タリ而シテ其柄合ハ多ク夏季用ニ適スル紺地白縞ノモノニシテ珍奇ナルモノヲ見受ケス一般ニ瓦斯絲ヲ使用セルモノ多キカ故ニ價格從テ高價ナルヲ覺ユ尙出品中糊張整理ニ依リテ地風ヲ麻織ノ如クナラシメタルモノアリ夏季用トシテ世ノ賞贊ヲ博スルニ足ルヘシ又紺小倉紺木綿亦本縣ノ出品トシテ色味地合共ニ甚シキ缺點ヲ見ス今後益々奮勵シ其缺點ヲ除キ殊ニ染色ニ關シテハ組合ノ制裁ヲ嚴ニシ且硫化色素ヲ應用スルモノニアリテハ原料ヲ脆弱ナラシムル該染料ノ缺點ヲ未然ニ防キ曾テ得タル信任ヲ再ヒ毀損スルガ如キコトアルベカラス

香川縣　古來本縣ノ物産タリシ保多織ハ今ヤ大ニ衰退ノ狀態ニアルモノヽ如ク出品極メテ寥々タリ而シテ其染色ノ如キモ屢洗濯ヲ施スヘキ夏季用織物トシテハ不堅牢ナルノ嫌アリ柄合亦舊套ヲ脫セス更ニ應用ノ途ヲ講シ根本的改良ヲナスニアラズンバ昔日ノ名聲ヲ維持シ難カルヘシ仲多度郡三豐郡ノ縞木綿紺木綿ハ技術無難ナレトモ縞物ニアリテハ柄合宜ジカラス織幅不揃ニシテ九寸ニ充タサルモノサヘアリ殊ニ糊ノ使用法宜シキヲ得ス地質往々柔軟ニ過クルモノアリ紺木綿ハ色合赤味ニ過キ織斑甚タシク一般ニ織込不充分ナリ

愛媛縣　本縣ノ縞木綿及紺木綿ハ同地方ニ於テ重要視セラレサルノ故カ特ニ批評スヘキ程ノ出品ヲ見サリキ

高知縣　縞及無地木綿ノ出品アリシモ二ニヲ除キテハ一般ニ技術ノ低度卑ク品質ノ整一ヲ缺キ殊ニ縞

木綿中兎斯絲四ツ入ノ縞筋ヲ有スルモノヽ如キハ地絲ト節絲トノ伸張ノ加減ヲ異ニシ布面ニ縮縐ヲ生セルヲ見タリ

三重縣　伊勢松阪兩組合ノ出品其重ナルモノニシテ伊勢組合ノ崩黄木綿ハ色合織込甚タ良好ナレトモ裏地用トシテ其染色摩擦ノ耐抗力ニ乏シキノ感アリ縞木綿ハ品質概シテ良好ニ體裁整一ナリ唯柄合殆ント紺縞ノミニシテ同一轍ニ出テ崭新ナルモノナカリキ松阪組合出品ノ中柄兎斯縞ニハ稍見ルヘキモノアリ納戸木綿ハ製織佳ナレトモ外觀ノ宜シカラザルモノアリ紺木綿ハ正藍染ニ係リ紅柄其他ノ添加劑甚タ多カラサルヲ以テ色合淡ナルノ嫌アレトモ比較的良好ナリ之ヲ要スルニ兩組合ノ出品概シテ均等ニシテ多少進歩セルノ狀ヲ呈セリト雖モ古來本縣産ノ綿布ハ伊勢縞或ハ松阪木綿ト稱シ著名ノ物産ルニ拘ラス其進歩ノ極メテ遲々タルヲ感シタリ

今左ニ本縣ノ出品並擬賞統計ヲ掲ク

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	一等二等	二等	二等衰狀	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
京都	三〇點	二〇名	一	一			一	〇・〇五
大阪	三三八	二三四		六	一		七	〇・三〇
兵庫	六一一	一六九		一	二		三	〇・一七
奈良	七七三	二四四		四	八	六	一八	〇・七三

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	一等二等	二等	二等衰狀	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
愛知	七一六	四二六	二	八	一二	八〇	一〇二	〇・二四
靜岡	七一八	一九九	一	四	七	四二	五三	〇・二七
滋賀	一二八	四二	一	一	三	七	一二	〇・二九
岐阜	四五八	一五二	一	六	七	二九	四一	〇・二七
福井	二五九	一〇一			一	一九	二〇	〇・二〇
石川	四三	一九				三	三	〇・一六
富山	三七八	一〇二				一	一	〇・一〇
鳥取	二〇八	四九			一	八	九	〇・一八
島根	二一三	七四			二	一四	一六	〇・二三
岡山	五五二	一八四			四	二六	三〇	〇・二三
廣島	一、七三一	七八六		一	一一	一〇四	一二一	〇・一三
山口	四二八	二二五			六	三八	四四	〇・一一
和歌山	五一四	一四一			一	七	八	〇・一一
德島	九九二	二二〇			四	一九	二三	〇・二二
香川	一〇四	六七			四	四〇	四四	〇・二四
愛媛	九一〇	三〇八			四	一六	二〇	〇・二二
高知	二一〇	八二			三	一二	一五	〇・一六
三重	六四五	二〇二	一	一	八	四七	五九	〇・二九
計	一〇、九八六	三、九四六	一四	三〇	六〇	一〇三	一九三	〇・二二

第十五類　麻織物及其交織物

麻織物ノ出品點數ハ千七十七點ニシテ人員三百五十五名ナリ其重ナル出品ハ着尺地及蚊帳地ニシテ就中滋賀縣ノ出品全數ノ大半ヲ占メ石川、奈良、福井、富山、大阪、廣島、山口等ノ諸府縣ノ出品之ニ亞ケリ左ニ重ナル府縣ノ出品ニ付キ概評ヲ下サン

滋賀縣　本縣出品ノ麻織物ノ中着尺地ハ紺地及花色地ノ絣物多數ヲ占メ白地絣之ニ次キ縞物、座蒲團地生平及晒布等多少出品セリ就中白地絣ハ比較的柄合佳良ニシテ染色ニ於テモ佳良ナル樅櫨色茶色等ヲ顯ハシタルモノアリ幾分カ進歩ノ跡ヲ認メタリ晒布ハ漂白其宜キヲ得タルモノ多シ又麻布ノ原料トシテ多ク機械紡績ノ麻絲ヲ使用セルガ爲メ絲質均整ニシテ製品一定シ價格低廉ナリ手紡ノ原料ヲ用ヒシモノヨリハ毛羽立易ク肌觸ニ於テモ異ナル所アリテ麻布ノ眞價ヲ幾分毀損セルヤニ認メラルヽハ止ムヲ得サルコトハ云ヘ是等ハ適當ナル仕上劑ノ應用其他種々ノ點ニ就テ工風ヲ凝セハ大ニ改善シ得ヘシ要スルニ他ニ率先シテ機械紡績絲ヲ使用シツヽアルハ嘉スヘキ所ナリ然レトモ此種麻織物ハ大體ニ於テ進歩ノ甚タ遲々タルヲ感シツヽアリ本縣ハ又蚊帳地ノ主産地ニシテ其價格比較的低廉ニ販路益擴張シツヽアリ近年ノ創製ニ係ル縫目ナシ蚊帳ノ如キハ一種ノ工風ヲ凝ラシタルモノナリ

石川縣　本縣出品ノ能登縮布ハ絣及縞相半シ其地色ハ多ク花色若クハ紺色ニシテ生布及晒布モ亦少數ノ出品アリ概シテ品質ハ惡シカラサルモ別ニ改良ノ認ムヘキヲク殆ント舊態ヲ維持スルニ止マレルハ遺憾ナリ又白麻布中ニハ往々晒白ノ不完全ナルモノアルヲ見タリ

奈良縣　奈良晒布ハ古來著名ノ特産タルニ恥チス原料及織方共ニ佳良ナルモノアリ殊ニ其漂白ノ純潔ナル點ハ賞揚スル價値アリ縞麻布ノ如キハ概シテ舊態ヲ脫セス價格モ亦不廉ナルヲ免レス販路擴張ノ如キハ蓋シ困難ナラン片麻布ハ經ニ綿絲ヲ用ヒ緯ニ麻紡績絲ヲ使用シタルモノニシテ價格低廉却テ販路擴張ノ望ミアラン蚊帳地トシテハ兩麻、片麻、兩綿等ノ各種ノ出品アレトモ當地方ノ特産物ト云フヘキハ綿蚊帳地ナリ此種ノ批評ハ綿織物ノ條下ニ讓ル其他ハ特ニ批評スヘキモノヲ認メス

福井縣　本縣出品ノ蚊帳地及蚊帳ハ組織整然トシテ越前蚊帳ノ名ニ恥チス然レトモ別段進歩ノ績ナシ

蚊帳地ヲ除キテハ脚袢地、蕊地等ノ出品ニ過キス

廣島縣　蚊帳ハ製織仕立方及裝飾等稍進歩ノ認ムヘキモノアリト雖モ概シテ地質少シク厚キニ失スルヤノ感アリ蚊帳ハ夏期ニ使用スルモノナルカ故ニ實用上損傷シ易カラサル限リハ可成輕快ナランコトヲ望ム

山口縣　本縣ノ蚊帳ハ地質及其仕立方概シテ上等ニシテ缺點少ナク上流社會ノ需用ニ適ス然レトモ價格高貴ナルヲ以テ販路狹クシテ産額ノ增大ヲ期スルコト難シ今一段下級品ヲ製作スル方益シ有利ナラン

其他ノ府縣ヨリ出品シタル麻織物ニ就テハ別ニ批評セス

本類出品並擬賞統計表ハ左ノ如シ

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	二等	三等	褒狀	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
京都	一一點	六名						
大阪	二五	五						
兵庫								
奈良	一四六	四三		二	三	一	六	○・一七
愛知	九	八						○・二〇
靜岡								
滋賀	五四八	一六四		四	七	二六	三七	○・二三
岐阜	九	五						○・〇〇
福井	七九	三二						
石川	一七二	六二		一	一	六	七	○・二二
富山	三二	一二				一〇	一二	○・一九
鳥取								○・一五
島根								
岡山								
廣島	一六	六						
山口	一五	四						
和歌山	五	二						○・〇〇
德島								
香川	二	一						○・〇〇
愛媛								
高知	八	五						○・二〇
三重	七七	三五五		七	一六	五四	七七	○・二二
計	一〇七七							

第十六類　毛織物及其交織物

本類ニ屬スル出品點數ハ僅カニ六十三、其人員二十名ニ過キス抑我國ニ於テハ洋服、二重合羽、吾妻コート等ニ羅紗「セルヂ」類、和服「セルヂ」「モスリン」及袴地類襯衣ニ「フランネル」類其他毛布、肩掛等毛織物ヲ使用スルコト年ヲ逐フテ增加シ將來頗フル有望ナルモノナルニ本類ノ此ノ如キ僅少ノ出品ニ過キサルハ頗ル遺憾トスル處ナリ殊ニ二三會社ノ出品ヲ除キテハ優良ナルモノナク概シテ製造不完全ニシテ特ニ整理ニ就テ缺點アルモノ少ナカラス試ニ外國貿易年表ニヨリ明治二十二年以降毛織物ノ輸入狀況ヲ調査スルトキハ驚クベキ增加ヲ呈シツヽアルヲ知ルベシ即チ左表ノ如シ

毛織物輸入表

年度	價格
明治二十二年	五、四五五、二三三
同二十七年	六、二六九、四〇二
同三十二年	九、〇七二、四二二
同三十七年	六、四四三、六五一
同三十八年	二一、七三四、四五五
同三十九年	二一、一〇二、三七〇

右ニ依テ之ヲ見レハ去ル明治三十七年度ニ於テハ六百有餘萬圓ニ過キサリシモノ三十八年度及三十九年度ニ於テハ急劇ノ增加ヲナシ毎年二千百餘萬圓ヲ輸入スルニ至レリ毛織物業ノ將來有望ニシテ輕々ニ看過スヘカラサルノ狀態ニアルコト明ナリ當業者鋭意熱心本業ノ發達進歩ヲ講センコトヲ切望ノ至リニ堪ヘス今左ニ各府縣ノ主要ナル出品ニ就キ聊カ批評ヲ試ントス、

大阪府　本府出品ノ主ナルモノハ日本フランネル會社ノ「フランネル」ナリトス當社ハ本邦ニ於ケル唯一ノ「フランネル」製造會社ニシテ技術ノ熟練巧妙ナルハ製品ノ上ニ顯ハレ輸入品ニ比シテ殆ント遜色ヲ認メス然レトモ輸入品ニ劣ラサル製品ハ高價ニ失シ價格高カラサルモノハ品質粗惡ノ嫌アリ今尚ホ舶來品ニ一歩ヲ讓ルノ止ムヲ得サルモノアルハ遺憾ニ堪ヘサルナリ其原因種々アルヘシト雖モ

スル所技術上未タ外國製品ニ及ハサルノ結果ニ外ナラサルヘシ將來一層ノ奮勵ヲ要ス尚今回ノ出品中「モスリン」ヲ見サリシハ遺憾ニ堪ヘス

兵庫縣　本縣ノ出品トシテハ日本毛織株式會社ノ製品アルノミ同社ハ明治三十二年ノ創立ニシテ工場ノ設備關西ニ於ケル第一流ノ毛織會社ナリ今回ノ出品中茶褐絨ノ如キハ頗ル佳良ニシテ軍服用トシテ其當ヲ得タルモノト云フヘク原料ノ撰擇、染色ノ方法、製織ノ熟練相待チテ宜キヲ得タリ整理モ亦比較的卓越セリト雖モ此點ニ於テハ今尚非難スヘキモノアリ尚一層ノ研究ヲ要ス

愛知縣　本縣出品ノ「セルヂ」中ニハ染色及ヒ地風等大ニ見ルヘキモノアリシモ整理ニ就テハ遺憾ナカラ未タ充分ナラサルモノアリシヲ認メタリ

京都府　出品ノ「セルヂ」ハ愛知縣產ノモノニ比スレハ概シテ劣レリ、原料ノ撰擇及整理ニ就テ更ニ注意ノ必要ヲ認メタリ

三重縣　本縣ニ於テ毛織物ノ產出アルハ喜フヘシ出品物ハ「セルヂ」及綿毛交織物等ニシテ一顧ノ價値アリ然レトモ愛知縣ノ「セルヂ」ニ比照スレハ遠ク及ハサルモノアリ

其他ノ府縣ノ出品ニ就テハ茲ニ之ガ批評ヲ略ス

本類ノ出品並擬賞統計ハ左ノ如シ

府縣名	出品點數	出品人員	賞級	狀態
德島	二	一	二等	計
和歌山	三	一	二等	計
廣島	一五	五	二等	計
岡山	一九	五	二等	計
島根	四	一	二等	計
鳥取	二	一	二等	計
山口	三	一	二等	計
福岡	一	一	二等	計
佐賀	一	一	二等	計
長崎	一	一	二等	計
熊本	一	一	二等	計
大分	一	一	二等	計
宮崎	一	一	二等	計
鹿兒島	一	一	二等	計
沖繩	一	一	二等	計
北海道	一	一	二等	計
青森	一	一	二等	計
岩手	一	一	二等	計
宮城	一	一	二等	計
秋田	一	一	二等	計
山形	一	一	二等	計
福島	一	一	二等	計
茨城	一	一	二等	計
栃木	一	一	二等	計
群馬	一	一	二等	計
埼玉	一	一	二等	計
千葉	一	一	二等	計
東京	一	一	二等	計
神奈川	一	一	二等	計
新潟	一	一	二等	計
富山	一	一	二等	計
石川	一	一	二等	計
福井	一	一	二等	計
岐阜	一	一	二等	計
靜岡	一	一	二等	計
愛知	一	一	二等	計
三重	一	一	二等	計
滋賀	一	一	二等	計
京都	一	一	二等	計
大阪	一	一	二等	計
兵庫	一	一	二等	計
奈良	一	一	二等	計
和歌山	一	一	二等	計
鳥取	一	一	二等	計
島根	一	一	二等	計
岡山	一	一	二等	計
廣島	一	一	二等	計
山口	一	一	二等	計
德島	一	一	二等	計
香川	一	一	二等	計
愛媛	一	一	二等	計
高知	一

外國ニ於ケル本品ノ用途ハ天井張、壁張等ニシテ其外國見ハ略葛布ニ類似シ價格廉ニシテ一種ノ趣味アリ其捺染シタルモノニ於テハ圖案宜シキヲ得ス捺染ノ技術モ拙劣ニシテ單ニ摺込法ヲ施シタルニ止マルカ故ニ往々他ノ部分ヲ汚染スルノ憂アリ是等ハ將來改善ヲ要スヘキモノト認メタリ三重縣ノ出品物中ニ檜織ト稱スルモノアリ經緯共經木ヲ用ヒテ製シタルモノニシテ是亦海外ニ多少ノ需用アリ壁及天井張用ノ外夏帽子等ニ使用セラルト云フ該品ハ光澤ヲ有シ本類中ノ織物トシテハ比較的外見美ニシテ組織堅牢ナリ然レトモ日光作用ニヨリ褐色ニ變シ易キヲ缺點トス

紙布　此物ハ特種ノ趣味ヲ有シ堅固ノ織物ナルヲ以テ本邦ニ於テ久シキ以前ヨリ多少ノ製造ヲ見ルト雖モ偶々好事者流ノ愛翫物タルニ過キス殊ニ其價格比較的貴キガ如シ

尙他ニ太布及綟子等ノ出品アリシト雖モ其點數寡少ニシテ特ニ批評スヘキモノヲ認メス要スルニ雜織物中經木織及葛布ハ比較的有望ノモノニシテ其他ニ格段ノ注意ヲ拂フニ足ルモノナシ

本類出品並擬賞統計ヲ左ニ掲ク

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	二等	三等	褒狀	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
京都	二八點	八名	—	—	—	—	—	〇・〇〇
大阪	一二	四	—	—	—	—	—	〇・〇〇
兵庫	一二三	二五	—	—	—	—	—	〇・〇〇
奈良	—	—	—	—	—	—	—	—
愛知	七七	二二	—	—	—	二	二	〇・〇九
靜岡	一〇	五	—	—	一	一	二	〇・四〇
滋賀	—	—	—	—	—	—	—	—
岐阜	—	—	—	—	—	—	—	—
福井	—	—	—	—	—	—	—	—
石川	—	—	—	—	—	—	—	—
富山	七五	一五	—	—	—	一	一	〇・〇七
鳥取	一〇	八	—	—	—	一	一	〇・一三
島根	—	—	—	—	—	—	—	—
岡山	一	一	—	—	—	—	—	〇・〇〇
廣島	—	—	—	—	—	—	—	—
山口	九	七	—	—	—	—	—	〇・〇〇
和歌山	二一	七	—	—	—	—	—	〇・〇〇
德島	二	二	—	—	—	—	—	〇・〇〇
香川	—	—	—	—	—	—	—	—
愛媛	—	—	—	—	—	—	—	—
高知	—	—	—	—	—	—	—	—
三重	一四	四	—	—	—	二	二	〇・五〇

第十八類　刺繍

繡物ノ出品ハ其點數二百三十二、人員九十八名ニシテ二府十二縣ニ亘レリ之ヲ前回ニ比スルニ點數ニ於テハ多少減シタルモ人員ニ於テハ却テ增加スルヲ見ル刺繡ヲ應用シタル出品ニ種々アリ屏風、扁額、衣服地、半襟、帛紗、手巾、皿敷、團扇、卓被等是ナリ就中手巾ノ出品多數ヲ占メ半襟及團扇等ハ僅少ナリ今左ニ重ナル府縣ノ出品ニ就キテ逐次之ヲ批評セン

京都府　本府ノ出品中重ナルモノハ屏風、扁額、半襟等ナリ飯田新七出品ノ屏風神苑ノ圖ノ如キハ氣韻高雅配色穩當ニシテ運針ノ妙技、比較的少數ノ色絲ヲ以テ物象ノ實景ヲ緻密ニ現ハセルカ如キ大ニ賞揚スヘキモノアリ西村總左衞門出品ノ扁額瀑布ノ圖ハ寫眞圖ヲ基礎トシタルモノヽ如ク是又飯田ノ出品ト駢馳スルモノニシテ其巧緻大ニ賞スヘシ田中利七出品ノ扁額ハ圖案簡潔配色繡技宜シキヲ得タリ元來京都ハ刺繡業ノ中心ニシテ其技術大ニ他地方ニ擢ツル所アリ將來圖案、配色、繡技等ニ於テ尚一層ノ研究ヲ凝ラシ益々本邦ニ於ケル刺繡ノ妙技ヲ海外ニ發揮センコトヲ希望シテ止マサルナリ尚本府出品ノ半襟地刺繡中模様斬新ニシテ配色宜シキヲ得極メテ高尚優美ナルモノアルヲ見タリ

大阪府　本府ノ出品ニハ衣服地、半襟地、帛紗、卓被等アリ圖案、配色等ニ於テ多少見ルベキモノアリト雖モ概シテ賞揚スルニ足ルモノナキハ遺憾ナリ

兵庫縣　出品ノ刺繡物ハ屏風扁額手巾類ニシテ孰レモ輸出向ヲ主トセルモノナリ屏風扁額等多クハ其價低廉ナリト雖モ繡技極メテ粗雜ニシテ單ニ外觀ノ美ヲ裝フニ過サルモノ多シ當業者今ニシテ注意スル所ナクンバ將來大ニ其名聲ヲ失墜スルニ至ラン羽二重「ハンカチーフ」刺繡物ニハ其意匠配色等佳良ナルモノアルヲ認メタリ

滋賀縣　出品ノ刺繡物ニハ屏風扁額アリ中ニハ配色繡技等ノ稍見ルヘキモノナキニ非スト雖モ之ト同時ニ非難スヘキモノモ亦少カラス將來一層ノ研究ヲ要ス

愛知縣　本縣ノ出品ハ手巾、扁額地、卓被、帛紗等ナリ就中手巾ニハ見ルヘキモノアリ將來此製作ニ就テ一層ノ力ヲ注クコト肝要ナラン

石川縣　手巾、皿敷、團扇等ノ出品アリ孰レモ輸出向ニシテ概シテ其製作宜キヲ得タリ將來有望ノモノト信ス

德島縣　屏風、扁額ノ出品ヲ其重ナルモノトス圖案、配色、繡法等總テノ點ニ於テ未タ舊態ヲ脫セサル所多シ將來改良ノ法ヲ講スルコト肝要ナラン

三重縣　扁額、衣服地等ノ出品アリ扁額ハ概シテ技術ノ見ルヘキモノアリ人物寫眞圖ノ如キ繡技極メテ緻密ニシテ能ク其實物ヲ模寫シ得タリト雖モ何トナク氣韻ノ發揮シ得ザル所アルハ惜ムベシ

其他ノ諸縣ヨリ出品セルモノニ就テハ特ニ批評スベキモノヲ認メス尚本類ニ屬スル出品並ニ擬賞表ヲ掲クルコト左ノ如シ

第十八類出品並擬賞統計表

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	二等	三等	褒狀	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
京都	一二四	六四	二	二	一	一	四	〇・六六
大阪	二四	一二	一	一	一	二	三	〇・二五
兵庫	二九	六	一	一	一	二	三	〇・二〇
奈良	一	一	一	一	一	一	一	一
愛知	四一	二一	一	一	一	三	三	〇・一四
靜岡	五	三	一	一	一	一	一	〇・〇〇
滋賀	一八	八	一	一	一	一	一	〇・一二
岐阜	五	三	一	一	一	一	一	〇・〇〇
福井	一五	八	一	一	一	一	一	〇・〇〇
石川	三四	三	一	一	二	一	二	〇・六六
富山	一〇	六	一	一	一	一	一	〇・一七
鳥取	一	一	一	一	一	一	一	〇・〇〇
島根	一	一	一	一	一	一	一	一
岡山	一	一	一	一	一	一	一	一
廣島	一	一	一	一	一	一	一	一
山口	一	一	一	一	一	一	一	一
和歌山	一	一	一	一	一	一	一	一
德島	一八	六	一	一	一	一	一	〇・一七
香川	八	五	一	一	一	一	一	〇・〇〇
愛媛	一	一	一	一	一	一	一	一
高知	一	一	一	一	一	一	一	一
三重	一二	一〇	一	一	一	二	三	〇・二五
計	二三二	九八	二	三	五	一一	二一	〇・二一

第十九類　緞通

緞通ノ出品ハ大阪府ヲ最トシ兵庫縣之ニ次キ京都府愛知縣鳥取縣ハ各數點ノ出品アルニ過キス其種類ハ普通緞通ノ外ニ岡部織日高織浪花織等ノ敷物類ヲ含メリ

緞通ハ一時盛況ヲ呈シタリシモ粗製濫造ノ爲メニ販路ヲ縮少セラレ近時漸々恢復ノ途ニ向ヒツヽアリ現時ハ該業ニ就キテ最モ重要ナル時機ナリトス左ニ重ナル府縣ノ出品ニ就キ之ヲ評論セン

大阪府　堺市地方ハ所謂堺緞通ノ本場ナルカ故ニ其出品多ク品質ニハ羊毛綿及ヒ麻等種々アリ組織意匠等前回ニ比シ多少ノ進歩ヲ認ムルモ指摘スヘキノ缺點少ナカラズ出品中材料ノ撰擇、意匠ノ適用

等ニ於テハ往々佳良ナルモノアリシモ一般ニ染色ノ點ニハ深ク注意ヲ拂ハサルノ感アリ又其輸出品ノ如キハ品質ノ一定セザルガ爲メニ商業上ノ不利益甚シク當業者宜シク一致シ一定ノ品質ニシテ信用ヲ置キ得ベキモノヲ製出シ其上等品ハ以テ「トルコ」緞通ト輸贏ヲ外國市場ニ爭ヒ下等品ハ素質染色等ヲ堅牢ニシテ實用ニ適スルモノタラシメザル可カラズ尙緞通ニ於テ最モ注意ヲ要スベキハ色ノ配合能ク調和シ其圖案ハ敷物ニ適スルモノタラザル可カラザルコト是ナリ幸ニ當業者是等ノ點ニ注意シ以テ本品ノ發展ヲ期スベキナリ

左ニ出品中最モ優品ト認メタル杉野倉吉出品ノ羊毛緞通ニ就テ細說セン

經絲	綿絲十番手十二本合
經絲數	一尺ニ付六十五本
緯絲	毛糸上等品
毛持	二十本
緯地絲	綿絲八番手十六本合
越數	二越
段數	六尺ニ付五百段
價格	三疊敷分九十圓

右ノ如キ製品ニシテ更ニ意匠及染色ノ點ニ注意シ價格ノ可成廉ナランヲ期セバ需用ヲ喚起セルコト多カラン

緞通ノ外岡部織浪花織大和織等ノ出品アリシモ或ハ材料ノ撰擇宜シキヲ得ス或ハ地質ノ緊密ヲ缺ク等改良スベキ點多キヲ認メタリ

京都府　河瀨甚兵衞出品ノ緞通ハ洋館ノ室內裝飾トシテ圖按及ビ配色等ニ苦心セルノ跡ヲ認メタリ

愛知縣　日高織朝日織等ノ敷物類中配色組織ノ當ヲ得タルモノアリト雖モ往々經拔ケノ部分アリシハ織方ノ不注意ヨリ來リシモノト云フベク尙原料ノ撰擇及經絲ノ撚ニ注意シ併セテ染色ノ堅牢ナランコトヲ期スベシ

兵庫縣　本縣ノ出品ハ赤穗緞通ト稱スル一特色ヲ有スルモノニシテ染色及意匠等概シテ好良ニシテ品質モ亦堅牢ナルヲ認ム尙其材料ニ於テ綿以外ニ種々ノモノヲ勵マハ將來ノ發展期シテ待ツヘシ

鳥取縣　本縣ノ出品ニ就テハ之ガ批評ヲ略ス

各府縣ノ出品ニ對スル批評ハ概要右ノ如シ更ニ緞通業者ニ向テ一言ヲ要スヘキモノアリ該業者ガ緞通其物ノ品質ヲ改善シ以テ向上ノ方針ヲ執ルハ勿論可ナリト雖モ近來洋風建築ノ增加ニ連レ外國ヨリ「ブラツセル」氈、「タペストリー」氈、「アキスミンスター」等ノ輸入日ヲ逐フテ熾ナラントス故ニ此趨

勢ヲ利用シ此等新規ナルモノ、製織ヲ企圖スルハ實ニ目下ノ急務ニ非ラサルカ是レ特ニ當業者ノ注意ヲ希望シテ止マサル所ナリ

本類出品並擬賞統計ヲ掲ク

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	二等	三等	褒狀	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
京都	二點	一名						
大阪	五一	二七		一	三		一	一・〇〇
兵庫	一〇	四			一		七	〇・二六
愛知	六	三			二		三	〇・七五
鳥取	二	一						〇・三三
計	七一	三六		一	六		一三	一・〇〇
				二	四		二〇	〇・三九

第二十類　組物編物

組物、編物ヲ出品セル重ナル府縣ハ京都、大阪、兵庫、愛知、静岡、三重等ニシテ總點數四百四十五、人員二百五十ナリ本類ニ屬スル重ナルモノハ「ドロンウオーク」、「レースショール」、「メリヤス」類、組紐類ニシテ「ドロンウオーク」トシテハ静岡縣ノ出品比較的多ク進歩ノ度ニ於テモ先ツ指ヲ本縣ニ屈セザルヲ得ス之ニ次ヲ三重縣トス「レースショール」トシテハ兵庫縣ノ出品ニ最モ頭角ヲ顯セルモノアリ又「メリヤス」トシテハ大阪府ノ出品ニ優秀ナルモノ多シ組紐類ニ於テハ京都府、大阪府、兵庫縣愛知縣等ノ出品ニ幾分カ見ルヘキモノアリシモ概シテ其進歩ノ度顯著ナラサルヲ覺ヘタリ今左ニ各府縣ノ重ナル出品ニ就キテ稍詳細ナル批評ヲナサントス

京都府　本府ハ組紐類ノ本場ニシテ古キ以前ヨリ盛ニ之カ製造行ハレ從テ祖先傳來ノ技術ハ大ニ熟達セルモ年月ノ久シキ時ニ或ハ同業者間ノ競爭ノ結果粗製濫造ニ陷リシコトアリ或ハ商況不振ノ悲境ニ遭遇シ、若クハ時勢ノ變遷ニ連レテ需用品ニ變化ヲ來タス等ノ爲メ時々非常ノ困難ヲ極メタリシニ幸ヒニシテ當業者ノ熱誠ト勤勉トハ常ニ能ク其困難ニ打勝チ漸次斯業ノ盛大ヲ來タシ近年ニ及ンテハ其産額著シク增加シ舊時ニ優ルノ盛況ヲ呈シッ、アルハ大ニ喜フヘシ本府ニ於ケル今回ノ出品ハ羽織紐、帶締、寢巻掛、飾房等ニシテ中ニハ大ニ見ルヘキモノアリ然レトモ意匠、染色、組方、再整等ニ改良又ハ考案ヲ要スヘキ點少ナカラス當業者益々奮勵斯業ノ發達ヲ計ランコトヲ希望シテ止マサルナリ

大阪府　本府ハ元ト組物編物ノ需用ヲ東京京都ニ仰キタリシガ近年斯業大ニ發達シ産額又頗ル增加シ今ハ却テ顧客ヲ關東ニ有スルノミナラス遠ク清、韓、露、印ノ方面ニ輸出シ全ク面目ヲ改ムルニ至レリ出品ノ種類ハ羽織紐、眞田紐、襟巻、「ハンモック」、「レース」、「メリヤス」等ニシテ就中進歩ノ顯著ナルヲ「メリヤス」類トス抑々「メリヤス」業ノ本府ニ開始セラレタルハ明治四年ノ頃ニシテ其後漸次隆

盛ニ赴キシモ同十六七年ノ頃ニ至リ商況不振ノ爲メ非常ノ衰頽ヲ來シ本業ニ一大頓挫ヲ與ヘタリ同十九年頃ヨリ徐々ニ商況回復シ來リ始メテ當業者ノ愁眉ヲ開クニ至リ爾來一盛一衰幾多ノ困難變遷ヲ經テ當業者ノ經驗ハ益々加ハリ意志亦益々鞏固トナリ今ヤ一方ニハ輸入品ヲ防遏シツヽアルノミナラス他方ニ於テハ盛ニ海外ニ輸出シツヽアルノ盛況ヲ呈セルハ誠ニ喜フヘシ今回ノ出品中品質優良ナルモノ少ナカラス然レトモ往々原料ノ擇擇、編方及起毛ノ技術、縫縫ノ注意等ニ於テ尚ホ改善ヲ要スヘキ點ヲ認メタリ當業者今一層ノ奮勵ヲ以テ製作ニ意匠ニ研究改良ヲ施シ粗濫ノ弊ニ陷ラス益々製品ノ聲價ヲ高メ販路ノ擴張ヲ劃セサル可カラス本府出品ノ組紐類及「レースショール」ニモ亦一二ノ良品ヲ見タリ是亦「メリヤス」ト共ニ將來益々當業者ノ奮勵肝要ナリトス尚參考トシテ「メリヤス」製肌衣及靴足袋輸出入統計ヲ左ニ揚ク以テ「メリヤス」業ノ本邦ニ於ケル大勢ヲ知ルニ足ラン

輸入品ノ部

	綿メリヤス肌衣	毛メリヤス肌衣	毛綿メリヤス肌衣	靴足袋合計
	円	円	円	円
明治十二年	八、六七八、六八〇	一、三三六、五九〇	三、四五五、九九〇	一二、一三〇、二三九〇
同十七年	一七、三八九、四〇〇	三、五六六、〇〇〇	二、五三三、八一〇	一五、九八六、七〇
同廿二年	五二、一二五、三〇〇	一五、二一九、二〇〇	七、〇七一、八〇〇	三五、三四〇、三〇〇
同廿七年	一七、八五五、一八〇	一七、五〇五、一一〇	七、〇一五、九四〇	一二、四八三、〇一〇

輸出品ノ部

	綿メリヤス肌衣	靴足袋合計	綿メリヤス肌衣	靴足袋合計
	円	円	円	円
明治十二年	二、〇三五、〇四〇	二四、六六三、六五〇	九二六、五〇〇	一、〇二〇、一六八、四一〇
同十七年	一五九、〇九七、〇四〇	三九、三〇八、〇八〇	七、二四〇、五九〇	一五、九八六、七〇
同廿二年	一五、三五〇、〇〇〇	一〇、九、七三六、五〇	二一、六三四、五七〇	一二、九四七、一一〇
同廿七年	一七、五四一、〇〇〇	五三、八九九、二四〇	一三、五四七、四四〇	四五、二五四、七〇

同廿二年　二二、〇三五、〇四〇　九五〇、四七二、四四〇　六二、六五三、〇六〇　三八、二五二、〇四〇　一六八、四一四、九〇

同廿七年　一五九、〇九七、〇四〇　四五〇、六一一、〇四〇　九三、六二五、六一〇　七三、九五三、八〇　一、六一七、一三一、九〇

同廿八年　二一五、三五〇、〇〇〇　六七、五六四、〇〇〇　一五七、〇三五、〇〇〇　一〇一、〇四九、〇〇〇　一、六八一、六五四、〇〇〇

同廿九年　二三三、一八八、〇〇〇　七四、四一五、〇〇〇　一三一、三一六、〇〇〇　一〇三、三二二、〇〇〇　一、七三一、三九七、〇〇〇

〔備考〕表中輸出品ノ部靴足袋中明治二十七年以前ノ統計ニハ日本足袋ヲモ含ム

右表ニ依リ之ヲ見レハ莫大小類ハ輸入ニ於テモ漸次增加シツヽアリト雖モ輸出ニ於テハ實ニ其增加ノ度著シク優ニ輸入ヲ償フヲ尚且多量ノ金額ヲ收得セルコト明ナリ本業ノ將來ハ益々多望ナリト云フヘシ

兵庫縣　本縣ノ出品ハ組紐「レースショール」「メリヤス」等ニシテ就中同縣井上伊八出品ノ「レースショール」ハ流石ニ本業ノ率先者ニシテ其熱心ナルヲ徵スヘク技術精巧ニシテ同種類ノ出品中殊ニ頭角ヲ顯シ大ニ衆目ヲ惹ケリ望ムラクハ將來仕上ノ完成ト價格ノ低廉トヲ一層ノ注意ヲ加フルト同時ニ此種ノモノナレハ流行ノ變遷極メテ頻繁ナルヘキ性質ノモノナレハ常ニ時好ニ投合スヘキ好個ノモノヲ製シ以テ益々本業ノ成果ヲ收メンコトヲ

愛知縣　本縣ノ出品ハ羽織紐「ドロシウオーク」「メリヤス」等ニシテ就中組物ニ於テ見ルヘキモノアリ製作上京都、大阪等ノ出品ニ比シ大差ナキヤノ感アリ大體ニ於テ京都組紐類ハ技術ノ精巧ナル本縣ノ右ニアリ然レトモ其價格ノ幾分カ低廉ナルハ本縣ノ特有ニシテ此點ハ京都府一歩ヲ本縣ニ讓ラサルヲ

得ス即チ其長所ヲ異ニセルモノト言フヲ得ベシ

靜岡縣　本縣ノ出品ハ「ドロンウオーク」ノミニシテ技術ノ精巧大ニ見ルヘキモノアリ本縣ニ於ケル本業ノ起原ヲ繹ヌルニ明治三十年ノ頃安間茂十ナル者横濱ノ外商ヨリ「ドロンウオーク」ノ見本ヲ收得シテ本縣ニ企業セシメ以テ新業ノ濫觴トス爾來其發達著シク今ヤ濱松、鈴川、靜岡等ニ於ケル重ナル營業者一箇年ノ工賃支拂高ハ實ニ驚ク可キ巨額ナリト云フ其本業ノ隆盛推シテ知ルヘキナリ元來本業ハ其工程多クハ手工ニ屬スルヲ以テ指先ノ使用ニ巧ナル工賃ノ低廉ナル本邦婦女子ノ事業トシテハ極メテ恰好ナルヲ信ス今ヤ本縣ハ勿論廣ク各縣ニ此事業ノ傳播シツヽアルハ國家ノ爲メ慶スヘク安間氏ノ功偉ナリト云フヘシ

三重縣　本縣ノ出品ハ「ドロンウオーク」「メリヤス」「蠶網」等ニシテ就中「ドロンウオーク」ニ於テ最モ見ルヘキモノアリ本業ハ明治三十七年戰役紀念ノ爲メ軍人ノ遺族補助ノ目的ヲ以テ縣事業トシテ創設セラレタルニ起因シ創業日尚淺キニ拘ハラス其進歩著シク今ヤ殆ト地方産業ノ一トシテ數ヘラルヽニ至リシト云フ宜ナル哉「ドロンウオーク」ノ出品ヲ見ルニ靜岡縣ニ次ケル良品ナリシハ實ニ偶然ニ非ラサルナリ

其他滋賀、岐阜、福井、石川、富山、鳥取、島根、岡山、和歌山、香川等ノ諸縣ヨリ多少ノ出品アリシト雖モ特筆スヘキモノヲ認メス今左ニ本類ニ屬スル出品並ニ擬賞統計表ヲ左ニ掲ケン

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	二等	三等	四等	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
京都	五〇	二五	—	—	三	二	五	〇・二〇
大阪	一五九	七四	二	五	四	六	一七	〇・二三
兵庫	五七	一〇	一	—	一	二	四	〇・四〇
奈良	—	—	—	—	—	—	—	—
愛知	一三	七	—	—	一	二	三	〇・四三
靜岡	二六	一四	—	一	二	四	七	〇・五〇
滋賀	二	一	—	—	—	—	—	〇・〇〇
岐阜	五	一	—	—	—	一	一	一・〇〇
福井	七	四	—	—	—	一	一	〇・二五
石川	四	一	—	—	—	一	一	一・〇〇
富山	二七	一六	—	—	—	一	一	〇・〇六
鳥取	一三	七	—	—	—	—	—	〇・〇〇
島根	四	一	—	—	—	—	—	〇・〇〇
岡山	一四	七	—	—	—	一	一	〇・一四
廣島	—	—	—	—	—	—	—	—
山口	—	—	—	—	—	—	—	—
和歌山	四	二	—	—	—	—	—	〇・〇〇
德島	—	—	—	—	—	—	—	—

| | | |

合セルモノ少ナカラス然レトモ往々色合褪消シタルカ如キヲ感スルモノ若クハ配色其調和ヲ失シテ不快ノ念ヲ起サシムルモノ等アリ思フニ毛斯綸友仙ノ需用ハ將來本邦ニ於テ益々增加スヘキヲ以テ圖案配色染色整理等ノ諸點ニ向テ益々研鑽ヲ積ミ以テ能ク時好ニ投合セシムルコト必要ナリト信ス縮緬縠瀏等ノ友仙染、裾模様及無雙羽織染等ハ毛斯綸友仙ニ亞キ多數ノ出品アリシモ玆ニ之カ批評ヲナサス

京都府ノ同品ニ就テ述ヘシ所ノ注意ハ本府ノ出品ニモ亦反覆スヘキナリ

染手拭ノ出品ハ比較的少數ナリシモ品位高尚染色鮮美ニシテ誠ニ本場ノ出品タルニ恥チス尚本府ニ於テハ清國向手拭ノ製造盛ナリ今回其出品ヲ見サリシハ遺憾ニ堪ヘス

無地染中最モ注目ヲ惹キシヲ稻畑染工場ノ出品ナリトス其種類種々アリ概シテ色染整理等ノ佳良ナルヲ認メタリ

中形染及更紗染中堀川支店ノ出品ニ係ル毛斯綸更紗染ハ機械捺染ニヨルモノニシテ技倆優秀大ニ嘆賞スヘシ、綿ネル捺染中ニモ亦佳良ナルモノアルヲ見タリ

兵庫縣　陣野義三郎出品ノ染直シ物ハ其成績大ニ見ルヘシ凡ソ染直ノ巧拙ニ就テハ染上後ノ整理如何ハ大ナル關係ヲ及ホスモノナルヲ以テ尚一層ノ研究ヲ重ネ以テ他日ノ大成ヲ期スヘキナリ

愛知縣　本縣ノ重ナル出品ヲ名古屋及有松ノ絞類トス中ニハ機械ノ應用等ニ於テ多少新機軸ヲ顯ハシタルモノナキニ非ラスト雖モ概シテ舊套ヲ脫セサルモノ多キハ遺憾ナリ

更紗染ニ於テハ染料ノ撰擇宜シキヲ得ス色染ノ手順ヲ省略シタルモノ等多キハ惜ムヘシ將來大ニ改良ヲ要ス中形染絣ノ其出品少數ナレトモ技術ニ於テ稍々精緻ヲ致セルモノアリ更ニ研究ヲ重ヌレハ將來ノ發達期スヘキナリ友仙染ニ於テハ意匠陳套配色宜シキヲ得サルモノ多キヲ見タリ

靜岡縣　本縣ノ出品中特ニ賞揚スヘキヲ日本形染株式會社出品ノ中形染トス同會社ハ夙ニ一種ノ捺染機械ヲ工風シテ中形業ヲ營ミ近來其技術大ニ進ミ益々其事業ヲ擴張シ販路ノ發展ヲ計リツヽアリト誠ニ慶スヘキナリ

岐阜縣　本縣出品ノ絞付染中ニハ其技巧ニシテ絞際鮮明染色佳良ナルモノアリ染絲ニ於テモ嶄新ノ染料ヲ應用シ染方宜シキ得タルモノ少カラス尚一層ノ奮勵ヲ望ム

和歌山縣　捺染綿ネルノ出品最多數ニシテ進歩ノ跡ヲ認ムヘキモノ亦此種類ニアリ就中第一綿ネル株式會社出品ノ如キハ特ニ頭角ヲ顯ハセルモノナリ

三重縣　本縣ヨリハ絞付染、染絲、無地染、小絞染、染絣等ノ出品アリ特ニ絞付染ニ於テ色澤佳良ニシテ見ルヘキモノアルヲ覺エタリ

以上ノ外奈良、滋賀、福井、石川、富山、鳥取、島根、廣島、山口、德島、香川、愛媛、高知諸縣ノ出品ニ就テハ之カ批評ヲ略ス

本類出品並擬賞統計表ヲ左ニ揭ク

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級 一等	二等	三等	褒狀	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
京都	二四三點	九二名	三	八	一四	一五	四〇	〇・四三
大阪	一六二	六九	二	三	三	七	一五	〇・二二
兵庫	五二	一五	—	—	一	二	三	〇・二〇
奈良	二五	二〇	—	—	—	—	—	〇・〇〇
愛知	一八二	六八	—	三	三	四	一〇	〇・一五
靜岡	五七	二四	一	—	—	四	五	〇・二一
滋賀	一八	一二	—	—	—	二	二	〇・一七
岐阜	五四	二四	—	—	—	四	四	〇・一七
福井	一七	六	—	—	—	一	一	〇・一七
石川	八四	二七	—	—	—	三	三	〇・一一
富山	五八	二四	—	—	—	四	四	〇・一七
鳥取	二三	六	—	—	—	—	—	〇・〇〇
島根	二〇	七	—	—	—	二	二	〇・二八
岡山	—	—	—	—	—	—	—	—
廣島	五三	二六	—	—	—	五	五	〇・一九
山口	二	一	—	—	—	—	—	〇・〇〇
和歌山	四	二	—	—	—	—	—	〇・〇〇
德島	二八	一二	—	—	—	二	二	〇・一七
香川	三九	一九	—	—	—	二	二	〇・一〇
愛知	三	一	—	—	—	—	—	〇・〇〇
高知	五〇	一八	—	—	一	二	三	〇・一七
三重	七三	三〇	—	—	—	六	六	〇・二〇
計	一二四七	五〇三	六	一四	二二	六五	一〇七	〇・二〇

第二區　工産物

第二十二類　花莚及ビ疊表

審査官　花莚檢査所技師　杉山良俊

本回ニ出品セル花莚及疊表ハ總數一千百五十六點人員八百九十五名ナリ其最モ多ク出品セルハ廣島縣ノ二百五十四點ニシテ岡山縣ノ百五十三點島根縣ノ百二十二點靜岡縣ノ百二十點兵庫縣ノ百九點石川縣ノ百四點順次之ニ次ギ全ク出品セサルハ大阪、奈良、和歌山、愛媛ノ一府三縣ナリトス花莚ハ組織意匠染色等ニ於テ尚改善ヲ要スル點少カラザルモ全部ヲ通シテ進歩ノ形跡アリ而シテ本年ハ原料高價ノ爲メ普通ノ價格ヲ保ツコト困難ナルニ拘ラズ時價ニ對照シテ不當ノ廉價ヲ附セルモノアリ是レ或ハ共進會用トシテ出品セシニ非ザルナキヤノ感アリ當業者ノ一考ヲ要ス

疊表ハ昨年來非常ノ好況ヲ呈シ從テ産額モ頓ニ增加シ各地ニ製作ヲ開始スルニ至リシモ原料ノ撰擇藺

葦ノ栽培法等ニ改良スベキ點少カラズ茲ニ審査結了ニ際シ賞ヲ擬スルモノ一等四名二等二十五名三等三十四名四等百十七名合計百八十名出品人員ノ二割強ヲ得タリ今左ニ主ナル各府縣ノ出品物ニツキ概評ヲ下サントス

岡山縣　本縣ハ花莚ノ主産地ニシテ産額亦全國ニ冠タリ其輸出ヲ開始シタルハ明治十三四年ノ頃ニシテ爾來或ハ原料不作ノ爲メ粗製品ヲ出シ海外市場ニ聲價ヲ落シ悲境ニ陷リタルコトアリ或ハ米國關稅改正ノ結果大打撃ヲ蒙リタル等幾多ノ變遷ニ遭遇セシモ其間織機組織染色等ニ種々改良ヲ加ヘ又新法ヲ案出シ今日ノ盛況ヲ見ルニ至リ昨年ノ産額三十八萬本餘ニシテ三十八年ニ比シ二萬本ハ增加セリ然ルニ今回ノ出品ハ多クハ間物ニシテ輸出ノ最モ多キ丸物ノ出品二點モナク本縣ノ技術ヲ充分ニ發揮スルコト能ハザルノミナラズ從來ニ比シ進歩ノ跡ヲ認ムルコト能ハザルハ實ニ遺憾ナリトス出品ノ種類ハ器械織多數ヲ占メ其本縣ノ特産タル袋織錦莞莚紋花莚等ハ製織上精巧ト認ムベキモノ尠カラザルモ意匠ノ如キ徒ニ巧ヲ弄シ却テ品位ヲ毀損セルモノアルハ當業者ノ考慮スベキ點ナリトス

畳表ハ近時年々産額ヲ增加シ已ニ滿韓及臺灣地方ヘ輸出スルニ至レルモ一方ニ於テ花莚ノ發達ニ伴ヒ長閒ハ花莚ノ製造ニ用ヒ畳表ニハ主トシテ短閒ヲ用フルヲ以テ品質漸次劣等ニ傾キツヽアルヤノ感アリ然レドモ元來本縣ハ中等以下ノ品ヲ夥多ニ産出スルヲ目的トセルヲ以テ今少シク原料ノ撰擇及閒草栽培等ニ注意ヲ加ヘナバ益々需用ノ增加スベキハ期シテ俟ツベキナリ

廣島縣　本縣ノ花莚ハ聯合府縣ニ於テハ岡山縣ニ亞ク輸出ノ開始亦殆ンド同時期ニ在ルガ如シ然ルニ近時畳表ノ好況ニツレ産額多少減少シ遂ニ福岡縣ニ凌駕セラルヽニ至リシモ尚昨三十九年ニハ九萬九千本餘ヲ産出シ三十八年ニ比シ一萬七千本ヲ增加セリ今回ノ出品ハ無地及飛形多數ヲ占メ是亦本縣ノ特産ニシテ原料ノ撰擇組織ノ熟達見ルベキモノアリト雖トモ染色耳組等品質ノ一定ニ於テ缺クル所少カラズ局ニ當レル諸氏一層ノ奬勵セラレンコトヲ希望シテ止マザルナリ

本縣出品ノ畳表ハ流石ニ古來ヨリ名聲ヲ博シタル備後表ノ名ニ背カス光澤ト云ヒ組織ノ精巧ト云ヒ已ニ其極點ニ達シ改良ノ餘地ナキガ如ク實ニ全出品ニ冠タリ然レトモ或ル部分ニ於テハ閒草ノ栽培上花莚ノ原料ヲ主トスル爲メ表用トシテ特有ノ光澤ヲ失スルモノアルト今少シク價格ヲ低廉ニ製作スルノ工夫ヲ爲サンコトヲ希望ス

石川縣　本縣花莚ノ輸出品トナリシハ明治二十四年ノ頃ニシテ當時産額極メテ僅少ナリシモ爾來當業者ノ熱心改善ノ策ヲ講スルト明治二十八年以來本縣ニ巡回敎師ヲ常置シ閒草ノ栽培及花莚ノ製織ヲ實地ニ指導シ且年々縣費ヲ補助シ斯業ヲ奬勵シタル結果漸次産額ヲ增加シ明治三十五年ニハ四萬五千八百餘本ノ産出ヲ見ルニ至レリ爾來多少ノ浮沈アリ且昨年來畳表ノ需用非常ニ增加シ爲メニ影響ヲ蒙リタルコト少カラザルモ一萬五千六百餘本ヲ出セリ元來本縣ハ平地織ノ特産地ナリシモ近時織機ノ改良ト共ニ製織上注意ヲ加ヘタル結果今回ノ出品ハ機械織目追織ノ二種ニ止マリ其組織染色配色等ニ於テ

見ルベキモノ少カラザルモ原料繭ノ光澤ヲ缺クト仕上ノ不完全ナルトハ改善ヲ要スル點ナリトス

本縣出品ノ疊表ハ全部引通ニシテ近來著々進歩ノ跡アルハ大ニ喜ブベキ顯象ナリ近時花莚ノ製作漸々増加シツヽアルヲ以テ長繭ヲ以テ花莚ノ原料トシ短繭ヲ以テ中繼表ノ製造ヲ開始セバ一層妙ナラン而シテ地味氣候ノ然ラシムル故カ原料繭ノ乾燥不充分ナルト刈取ノ際泥土ニ浸染スルコトノ稀薄ナルタメカ光澤宜シカラザルノ缺點アリ今一層此等ニ向テ注意セバ販路ノ擴張期スベキナリ

島根縣　本縣ハ一時傳習所ヲ設ケ花莚製造ノ普及發達ヲ圖リシモ不況ノ爲メ之ヲ廢止スルニ至リ今日ニ於テハ見ルニ足ルモノナシ

疊表ハ主トシテ八束郡及美濃郡ニ產出シ年々十五萬枚價格五萬圓農家ノ副業ナレトモ三十七年度ヨリ三十八年度ニ亘リ縣費ヲ補助シ斯業ヲ奬勵シ組合ニ於テハ製品ノ檢査ヲ行ヒ改良ノ實蹟ヲ擧ケツヽアルヲ以テ此回出品中ノ引通表ノ如キハ漸々進歩ノ著シキヲ見ル但シ目數ノ不等一ナルハ一缺點ナルヲ以テ組合ニ於テ之カ改善ヲ計ランコトヲ希望ス

中繼表ハ大約六配製ナレドモ極メテ上等ノモノニ非サレバ其効ナキヲ以テ最良ノ長繭ハ失張リ引通表ニ用ヒ中繼表ニハ今少シク安價ニシテ短キ繭ヲ用ヒ二配製ニ改ムルコト能ハバ極メテ適當ニシテ有望ナランカト認ム

靜岡縣　本縣ノ青莚ハ今ヲ距ル百四十餘年前即チ明和年間豐後ヨリ琉球繭ヲ移植シタルニ端緒ヲ開キタルモノハ如シ爾來幾多ノ變遷ヲ經テ今日ニ至リ近時縣當局者奬勵ノ宜シキヲ得タルト當業者ノ斯業ニ熱心ナルトニ依リ漸次產額ヲ增加シ昨年ノ如キハ年額五十萬圓ニ達スルニ至リ本縣ノ重要物產タリ今回ノ出品物ヲ見ルニ漸次改善ノ實ヲ擧ケツヽアルモ惜ムラクハ丈尺ノ不揃ナルト價格不廉ナルトノ缺點アリ且ツ本縣ノ表ハ華主或ル一地方ニ止マレルカ如キヲ以テ丈幅等全國ニ通スル能ハス從テ販路狹隘ナランカノ感アリ當業者ノ考慮ヲ煩ハサントス引通表及花莚ハ未ダ幼稚ニシテ評スベキ品ナシ

兵庫縣　本縣ハ元ト花莚ノ製造地ニアラズシテ販賣地ナルヲ以テ出品物ハ多クハ地方ノ製造ニカヽレリ然ルニ捺染花莚ハ本縣ノ特產ニシテ創始日尚淺キモ近時著シキ進歩ヲ爲シ年々產額ヲ增加シツヽアリ尚一層染色ノ工程及意匠配色等ニ注意セバ將來益々有望ナラン

疊表ハ別ニ評スベキモノナシ

三重縣　本縣ノ花莚及疊表ハ近年ノ習得トシテハ稍見ルベキモノナキニアラザルモ未ダ幼稚ノ域ヲ脫セズ概シテ完全ノモノナシ更ニ進ンテ原料繭栽培法ト製織上一層ノ改善ト習練トヲ要ス

香川縣　本縣ノ花莚ハ原料ヲ岡山縣ヨリ取寄セ主トシテ紋花莚ヲ製造シ稍見ルベキモノナキニ非ザルモ組織概シテ粗雜ニシテ漸々退歩ノ兆アリ從テ產額モ減少セルガ如シ當業者ノ奮勵ヲ望ム

高知縣　本縣出品ノ花莚ハ主ニ機械織ニシテ製品ニ於テハ稍見ルベキモノアレドモ點數極メテ少ク別ニ評スベキ點ナシ宜シク奬勵產額ノ增加ヲ計ルベシ

愛知縣ハ本縣ノ花莚ハ創始日尚ホ淺ク未ダ習練中ニ屬スルヲ以テ組織染色等未ダ發達セズ
富山縣　本縣ハ輸出花莚同業組合ヲ設ケ縣費ヲ補助シ之ガ奬勵ニ勉メツヽアルモ未ダ幼稚ニシテ原料
ノ擇擇組織等ニ於テ改善スベキ點少カラズ
滋賀縣　本縣ノ疊表ハ元ト近江表ノ名アリテ一時世ノ稱贊ヲ得タリシモ粗製濫造ノ爲メ全ク聲價ヲ失
墜セシ爾來組合ヲ設ケ之ガ改良發達ニ力ヲ竭シツヽアルモ未ダ全ク恢復スル能ハザルガ如シ今回ノ出
品中多少見ルベキモノアルモ出品點數少ク別ニ評スベキ點ナシ
鳥取縣　本縣ノ疊表ハ日露開戰ノ爲メ一時全ク悲境ニ陷リシモ平和克復ト共ニ疊表ノ需用增加シ近時
稍進歩ノ狀アリ當業者一層奮勵セバ蓋シ將來有望ナラン
此他ノ各府縣出品ノ花莚及疊表ハ幼稚ノ製品ニシテ大ニ改良ヲ加フニ非ザレバ商品トシテ販路ヲ擴張
スルコト蓋シ困難ナルベシ

第二十三類　麥稈眞田及經木眞田

審査官　花莚檢査所技師　杉山良俊

本會ニ出品セル麥稈眞田及經木眞田ハ其點數二千八百三十出品人員二千百六十七ニ達シ聯合府縣中出
品點數ノ最モ多キハ香川縣ノ五百五十六點ニシテ山口縣ノ四百十二點廣島縣ノ三百四十三點岡山縣ノ
三百二十點高知縣ノ三百九點島根縣ノ二百五十四點愛知縣ノ二百三十三點石川縣ノ百四十五點順次之
ニ次キ出品ノナキハ大阪、奈良、福井、鳥取ノ一府三縣ナリトス今回ノ出品物ヲ通覽スルニ品質意匠光
澤等ニ於テ優等ノ品ナキニアラザルモ概シテ前回ニ比シテ進歩ノ跡ヲ認ムルコト能ハザルノミナラズ
麥稈眞田ノ或種ニ於テハ却テ退歩セシニアラザルヤノ感アリ且ツ往々缺尺等ノ出品アルハ當業者ノ宜
シク注意スベキ點ナリトス玆ニ連日審査員諸氏ト反復丁寧審査ヲ遂ケ其結了ニ際シ賞ヲ擬スルモノ一
等六人二等二十二人三等六十八人四等二百九十五人合計三百九十一人ニシテ出品人員ノ一割八分強ニ
當レリ今主ナル府縣ノ出品物ニ就テ概評ヲ下セバ左ノ如シ
香川縣　本縣ノ出品ハ麥稈眞田多數ヲ占メ從テ佳良ノ品ニ乏シカラズ本業ハ明治二十七八年頃ノ創始
ナルモ當業者ノ熱心ナルト當局者ノ奬勵宜シキヲ得タルトニ因リ產額モ年々增加ヲ來シ近年ニ至リ岡
山縣ヲ凌駕セントスル傾向アリ今一層原料ノ擇擇意匠ノ精新ニ注意セバ將來益々有望ノ事業ナリトス
經木眞田ハ原料ノ產地ニアラザルヲ以テ佳良製品多カラズ
岡山縣　本縣ノ麥稈眞田業ハ明治十五六年頃ノ創始ニシテ爾來非常ノ發達ヲナシ今日ノ盛況ヲ見ルニ
至リシモ今回ノ出品物ヲ見ルニ其全國第一位ノ製產地ナルニ拘ハラズ優等品ニ乏シカリシハ遺憾ナリ
トス是レ近來價格ノ低落ニ原因スルナランモ又地方當業者ノ熱心ノ如何ニモ依ルベケレバ益々奮テ原
料意匠等ニ注意シ國家ノ爲メ此有益ナル貿易品ヲシテ益々發達セシメンコトヲ希望シテ止マザルナリ

經木眞田ハ香川縣ト同ジク地質上原料ノ産地ニアラザルヲ以テ精良ノ品多カラズ從テ別ニ評スベキモノナシ

廣島縣　本縣麥稈眞田業ノ開始ハ明治三十年ノ頃ニシテ全國中第三位ノ製産地タリ今回ノ出品中經木眞田ハ見ルベキモノニ乏シキモ麥稈眞田ニハ佳良ノ品少ナカラズ然レトモ製品統一ヲ缺キ往々丈尺ニ長短アリ海外市場ニ於ケル信用ニ影響ヲ及ボサンコトヲ恐ル是レ畢竟本縣ハ未ダ同業組合ノ組織ナキヲ以テ製作區々タルニ因ルベケレバ宜シク組合ヲ設ケ製品ノ改良發達ヲ圖ルト共ニ其一定ヲ計ルコト最モ急務ナリト信ズ

山口縣　本縣ノ麥稈眞田業ハ明治二十九年ニ端緒ヲ開キ爾來年々産額ヲ增加シ更ニ三十五年ヨリ經木眞田ノ製造ヲ開始シ益本業ノ進歩ヲ來タシ現今ニ在リテハ一箇年麥稈眞田二十萬圓經木眞田三十萬圓ノ産額ヲ出スニ至レリ從テ今回ノ出品物亦佳良ノ品ニ乏シカラズ殊ニ經木眞田ノ如キハ其原料豐富ナルヲ以テ將來益々有望ナラン速カニ組合ヲ組織シ粗製濫造ノ弊ヲ防クト同時ニ製品ノ統一ヲ計ランコトヲ希望ス

高知縣　本縣ノ麥稈眞田業ハ明治二十九年農家ノ副業トシテ撰定シタルモノニシテ同三十三年以來縣當局者幾多ノ奬勵ヲ重ネ漸ク縣下一般ニ普及スルニ至リシモ地勢ノ關係上適當ナル原料ノ産出ニ乏シク爲メニ一頓挫ヲ來スニ至レリ

經木眞田ハ明治三十五年ノ創始ニシテ時ノ眞田巡回敎師田邊逸三縣下ノ森林ニ經木原料ノ豐富ナルコトヲ發見シ爾來年々産額ヲ增加シ市場ニ歡迎セラルヽニ至レリ而シテ今回ノ出品物ヲ見ルニ品位ノ一定製品ノ統一ニ對シテハ賞スベキ點アルモ製作上佳品ニ乏シク改善ヲ要スル點亦少カラズ當業者一層奮勵價格ニ注意シ深ク濫造ヲ戒メナバ蓋シ將來ノ發展期スベキナリ

島根縣　本縣ハ經木ノ原料豐富ニシテ他ニ工業少キヲ以テ縣當局者モ種々之ガ奬勵ニ勉メツヽアル結果漸々産額ヲ增シ製品亦見ルベキモノアリ益々斯業ノ發達ヲ圖ランコトヲ希望ス

愛知縣　本縣ハ麥稈眞田業ニ對シテハ關西ノ祖先地ナルモ土質麥稈ニ適セザルカ岡山縣香川縣ノ如ク精良ノ原料ヲ得ルコト能ハズ從テ今回ノ出品佳良ノ品ニ乏シ同業團體ニ於テハ年々種子ノ改良製品ノ改善ニ勉メツヽアルモ産額減少ノ傾向アルハ誠ニ遺憾ナリトス當業者宜シク原料ノ撰擇意匠等ニ注意ヲ拂ヒ深ク粗製濫造ヲ戒メ市場ニ汚名ヲ流サヾランコトヲ希望ス經木眞田ハ原料ノ産地遠キヲ以テ其發達蓋難事ナラン出品物亦見ルベキモノ少シ

石川縣　本縣ノ麥稈眞田業ハ明治三十七年來ノ事業ナルモ或ハ傳習所ヲ設ケ或ハ巡回敎師ヲ聘シ專ラ奬勵ニ勉メタル結果年々製造業者ヲ增加シ今日ニ於テハ此業ニ從事スルモノ已ニ三千五六百名ニ達セリ然レドモ氣候土質等麥作ニ適セザルヲ以テ善良ノ原料ヲ得ルコト困難ナルベシ今回ノ出品物ヲ見ルニ比較的佳良ノ品アルハ大ニ喜ブベキ現象ナリ尙一層ノ奮勵ト奬勵トヲ望ム

京都府外九縣出品ノ麥稈眞田及經木眞田ハ點數僅少ニシテ評スベキ點ナキモ兵庫縣及三重縣ニ二三點ノ優等品アルヲ除クノ外多クハ劣等品ニシテ非常ノ改善ヲ施スニアラザレバ前途ノ發達ヲ期スルコト尙遼遠ナルベシ

第二十四類　陶磁器

審査官　東京高等工業學校敎授　平野耕輔

本會ニ陶磁器ヲ出品シタルハ京都、大阪、岐阜、愛知、石川、三重、滋賀、島根、兵庫、香川、山口、岡山、福井、高知、愛媛、富山、奈良、鳥取ノ二府十六縣ニシテ出品人員七百四十七、其點數三千〇五十一ナリトス其出品ナキハ靜岡、和歌山、德島、廣島ノ四縣ナリ

本會ハ本邦陶磁器ノ主要製産地ヲ網羅スルカ故ニ其出品ノ如何ハ以テ斯業ノ大勢ヲトスルニ足ルヘシ陶磁器ハ先ツ其品種ノ實用的ナルカ或ハ輸出向ナルカ將タ內地向ナルカ又ハ其品質ノ磁器陶器何レニ屬スルカヲ區別シ所見ヲ述スルノ要アルモ單ニ今回ノ出品ニ就キ概評スレハ其工作ニ改良ヲ施シ斬新ノ意匠ヲ加ヘタルモノ又ハ新規品ノ製作ヲ試ントスルモノ二三之レナキニ非ラスト雖モ概ネ舊套ヲ脫セス粗製ニ流レ未タ豫期ノ改良進步ヲ見ルニ至ラサルハ遺憾トスルトコロナリ殊ニ輸出的磁器ニ於テ其然ルヲ認ム然レトモ近時海外輸出ノ激增ニ伴ヒ著シク其生產額ヲ增大シタルハ頗ル喜フヘキコトナリトス今ヤ陶磁器業ハ內外ノ狀勢一層ノ發展ヲ促シ其ノ製造法ニ於テ根本的革新ヲ要スルノ時期ニ際スルヲ以テ後文ニ府縣別批評ヲ試ミ聊カ改良ニ關スル卑見ヲ陳述セントス

審查ノ方針ハ審查長ノ內示ニ準據セシハ勿論ナリト雖モ本官ニ特ニ左ノ諸點ニ注意シタリ

一工作、意匠及用途ニ關シ輸出品輸入防遏品及內地用品ニ對シ其研究苦心ノアルトコロヲ觀察シ單ニ其需用及販路ノ擴大ニノミ重キヲ置カサルコト

一出品物ハ美術的裝飾品ニシテ販路少ナキモ特ニ工作技藝ノ卓越セルモノハ本邦陶磁器ノ價值ヲ發揮スルニ至大ノ效果アルカ故ニ其點ニ重キヲ置クコト

一陶磁器ノ製造法ハ目下革新時期ナルヲ以テ殊ニ製造者ノ留意如何ニ注意スルコト

一販賣者ハ單ニ販賣額ノ多少ノミニヨラス製造者ノ製造及改良ニ關シ誘掖扶助スルヤ否ヤ等ニ重キヲ置クコト

審查ノ方法審查員ノ合議ニ依リ現品ニ付工作、意匠用途價格及販路ノ四項ニ分チテ鑑定評點シ之ニ出品者ノ業務ヲ前記方針ニ依リ參酌シテ等級ヲ定ムルコトヽセリ

今授賞ノ人員及其出品人員ニ對スル割合ヲ左ニ揭ク

府縣名	出品人員	出品點數	一等	二等	三等	四等	合計	出品人員ニ對スル擬賞百分比
岐阜	二四五	六九六	二	二	八	四九	六〇	二四・五

| | 愛知 | 石川 | 三重 | 滋賀 | 島根 | 兵庫 | 香川 | 京都 | 山口 | 岡山 | 福井 | 高知 | 愛媛 | 富山 | 奈良 | 鳥取 | 許可 | | |

高山順太郎出品ノ化學工業用石器ハ其製作大ニ進歩シタルヲ認ム殊ニ耕山ノ冷却用蛇管ノ如キ其製作燒成ノ困難ナルニモ係ハラス此ノ佳品ヲ見ルニ至リタルハ大ニ賞スヘキコトトス此種製品ハ本邦化學工業ノ發達ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ一層ノ研究ヲ望ムモノナリ

大阪府ノ當府ノ出品ハ府下ニ於テ製出スルモノハ深日燒等ノ一二粗雜ノ陶器ニ止マリ他ハ販賣者ニ依リ他產ノ內地向陶磁器ヲ出品セルノミ辻惣兵衞ノ如キ其最タルモノナリト雖モ淡路自凝燒ヲ出品セルノミニシテ別ニ評スルノ價ナシ

兵庫縣ノ當縣ノ出品ハ淡路燒、三田燒、明石燒、神戸繪付等ナリトス淡路燒ハ近時海外輸出ヲ增進シ將來裝飾的陶器トシテ有望ナリ即チ淡陶株式會社及製陶株式會社出品ノ色彩釉ヲ施セル「マヂョリカ」風額皿、菓子皿、花瓶ノ如キハ一進歩ト稱スヘキモ尙ホ素地ノ製作法、無罅釉及彩色釉ノ製法等ニ付一層ノ研究ヲ望ムモノナリ又實用的品種皿、井小鉢ノ類ノ如キ價格低廉ニシテ內外ノ需用アルモ衞生上含鉛釉ノ製造ニ注意スルヲ要ス更ニ釉ニ井罅裂ナキ品質ノ堅牢ナル日用陶器ノ製出ヲ望ムハ粟田燒ノ際ニ述フルカ如シ自凝燒ハ未タ以テ其目的ヲ達スルニ至ラサルヘシ三田燒青磁及出石燒磁器ノ如キハ依然舊套ヲ脫セス殊ニ出石白磁花瓶ノ如キ單ニ彫刻ヲ施シタルノミニテ白磁トシテ其色合及工作共ニ見ルニ足ラス更ニ改善ヲ要スヘキナリ神戸繪付ハ尾濃磁器素地ニ彩畫ヲ施シ主トシテ輸出向ノ品種ニシテ清水彌三出品ノ各磁器ハ其最タルモノナリ

愛知縣ノ當縣ノ出品ハ瀨戸磁器ヲ最トシ赤津、常滑、犬山等ノ陶石器及名古屋繪付等トス瀨戸ハ其產額ノ約八割ヲ歐米及清韓地方ニ輸出シ岐阜縣磁器ト相俟テ本邦輸出陶磁器ノ主腦タルト同時ニ又內地向日用品ノ供給地ナルカ故ニ其出品ハ大ニ注目スヘキモノアリシテモノナリトス歐米輸出向器ハ森村組ヲ始トシ諸商館ノ注文ニ依リ主トシテ素地ヲ製造スルモ其品種ノ出品ハ極メテ少ナシ加藤慶太郎出品ノ染付珈琲碗（一打十五圓）同盃付二人具（一打十五圓）ノ如キハ優秀ニシテ染付ハ其ノ特長ナルヘシ其他名古屋寺澤商店及旭商會出品ノ輸出向繪付品飾壺等ニ見ルニ最近洋風繪付ハ著シク進歩シタルヲ認ムト雖モ素地ノ製作ハ之ニ伴ハス何レモ舊套ヲ脫セス頗ル拙劣ニシテ粗製ノ傾アリ甚タ注意ヲ要ス加藤光太郎出品ノ清國向磁器銅版壁枕（一打二圓五十錢）ハ價格低廉ニシテ需用多カルヘク此種ノ製品ハ支那貿易上大ニ奬勵ヲ要スヘキモノトス

出品者中特ニ染付花瓶類製作ヲ試ミタルモノアリシモ其技甚タ拙劣ニシテ見ルニ足ルモノナシ瀨戸ノ如キハ專ラ實用品ノ製造ニ意ヲ用ユルコト肝要ナリトス加藤作助出品ノ赤津燒陶器モ意匠モ較々斬新ニシテ施釉裝飾モ雅味アリ且ツ價格モ低廉ニシテ大ニ內外ノ需用ヲ喚起スヘク尙工作仕上ニ注意シ洋式ニ本邦固有ノ意匠ヲ參酌セハ將來有望ナル輸出品タルヘシ

常滑犬山兩陶器ノ如キハ更ニ改良ヲ施シタル形跡ナシ常滑石器ノ如キハ單ニ締燒品ノミナラス施釉品ノ製作ヲ試ミルコト必要ナルヘシ名古屋松村八次郎出品ノ硬質陶器珈琲碗（一打二圓五十錢乃至四圓

五十錢）ハ輸入品ノ模造ニシテ此種製品ハ製造上諸多ノ困難アリテ新智識ヲ要スルカ故ニ從來本邦ニ製出セラレス漸次洋風飲食器ノ需用ヲ增加スルニ從ヒ益々外品ノ輸入ヲ促シツヽアルノ際此製品ヲ見ルニ至リタルハ誠ニ喜フベキコトニシテ本會出品中特筆スヘキモノトス然レトモ其工作頗ル幼稚ニシテ尚ホ諸多ノ缺點アリ之カ改良ハ其製作法ヲ根本的ニ革新スルニアリ然ラザレバ外品ト輸贏ヲ爭フコト能ハザルヘシ

岐阜縣　當縣ノ出品ハ主トシテ多治見町及其附近ノ村落ニ產出スル磁器ニシテ所謂美濃燒又ハ多治見燒ト稱シ瀨戶磁器ト共ニ內外ニ頗ル巨多ノ需用アリ歐米輸出向トシテハ珈琲碗、皿類ノ繪付素地清韓輸出向トシテハ茶碗、井等ノ日用飲食器ヲ製出シ內地向トシテハ同ク茶碗、皿、德利類ノ飮食器ヲ主トシ何レモ價格低廉ナルハ他產ノ遠ク及ハザルトコロナリ即チ輸出向珈琲碗皿類ノ如キ白素地ノモノ一打七十五錢乃至一圓三十錢同ク型模樣アルモノ四圓二十錢「コバルト」緣色一打一圓八錢乃至一圓十五錢染付銅板畫一打一圓乃至一圓二十錢乃至一圓五十錢乃至二圓五十錢同畫畫二打四圓無地六寸皿一打八十四錢乃至一圓四十錢同七寸皿一打一圓二十錢乃至一圓七十錢銅板染付六寸皿一打九十六錢同畫付一打二圓四十五錢內外ニシテ又其海手ナルハ玩弄的用品トシテ外人ノ嗜好ニ投スベキモ其品質色澤形狀等ニ至リテハ依然舊態ヲ改メズ粗製ニ流レ殆ンド見ルニ堪ヘズ繪付ノ裝飾ニ依リ辛シテ其缺點ヲ補フヲ得テ外觀ノ美ヲ呈スルノミ其製作ニ多少精粗ノ差アルベシト雖モ何レモ品質及成形燒成等ニ改良ヲ施サヾルガ故ニ概ネ大同小異ニシテ到底實用的使用ニ供セラルヽモノナク又一見廉價ナルガ如キモ眞ノ廉價品ト稱スベカラズ更ニ實用的使用ニ耐ユル素地ノ製作ヲモ試ミ外品ニ拮抗シ將來ノ發展ヲ計ルコト目下ノ急務ナルベシ支那向輸出品モ亦價格低廉ナリト雖モ其製作形狀及品質ノ改良ニ一層ノ注意ヲ望ム簡樣休兵衞出品ノ如キ其最タルモノナリ加藤助三郎出品ノ淸、韓、米及內地向食器揃ハ販賣者トシテ尤モ時機ニ適シタルモノナリ平素商業擴張ニ熱心ナルハ賞スベキナリ西浦圓治出品ノ花瓶類ハ本邦染付花瓶ノ中等裝飾品トシ輸出ノ先鞭者トシテ成功シタルモノト認ム尙一層素地ノ改良ヲ望ム

石川縣　當縣ノ出品ハ主トシテ九谷燒納付品ニシテ概ネ從來ノ赤繪又ハ古九谷風ノ彩畫ニシテ花瓶類多ク敢テ賞揚スルモノナシ何レモ素地質粗惡ナルガ爲メニ殆ド繪付ヲ以テ骨子トセザルベカラザルハ已ムヲ得サルナリ即チ將來素地ノ改良ハ固ヨリ必要ナルベキモ益々意匠ニ注意シ繪付ヲ發達セシメ優ニ歐米市場ニ活歩セシムベキナリ

三重縣　當縣ノ出品ハ主トシテ萬古燒及丸柱燒ナリ前者ハ主トシテ內地向茶器及輸出向人形玩弄品土瓶等後者ハ臺所用實用品トス何レモ特ニ顯著ナル改良ヲ認メズト雖モ能ク用途ニ適シ應用ヲ誤ラス斯業ノ發達ニ力ムルハ賞スヘキナリ萬古石器ノ如キハ尙ホ施釉等ニ改良ヲ施サズ本邦石器ノ輸出品トシテ將來頗ル有望ナルベシ

島根縣　當縣ノ出品ハ主トシテ出雲陶器即チ布志名燒トス其製品ハ花瓶尤モ多ク何レモ帶黃色素地ニ
釉下彩畫ヲ施セルモノ其工作意匠等ニ於テ舊態ヲ守リ更ニ新案ヲ出サス裝飾品又ハ日用品トシテ價格
割合ニ廉ナラズ趣味單調ナル以本陶器ノ發展セサル所以ナラン宜シク素地色合ヲ變更シ施釉裝飾及彩
畫ニ改良ヲ施スヲ必要ナルヘシ其ノ他ノ出品ハ石見燒外二三ノ陶器ニシテ益々此種實用品ノ製造ハ土
地ノ狀況上奬勵スヘキナリ就中佐々木善太郎出品ノ片口ハ工作佳良ニシテ價格モ廉ナリ上田政太郎出
品ノ百福彫刻花瓶ハ（代價金百圓）頗ル高價ニ失ス大ニ注意ヲ要ス
愛媛縣　當縣ノ出品ハ砥部磁器ニシテ淸國向輸出日用品ハ品質堅牢ニシテ價格モ廉ナリ就中向井富三
郎ノ出品ヲ最トス向井和平創製ニ係ル淡黃磁ハ單ニ舊態ヲ維持スルノミ或ハ其品質製作ニ於テ退歩セ
シヤノ感アリ白磁トシテ彫刻應用等一層ノ研究ヲ望ム
滋賀縣　當縣ノ出品ハ信樂燒陶器ニシテ斑紋釉ニ施セル火鉢、植木鉢、傘立、楊等ハ製品ノ主ナルモ
ノナリ其大物ナルニ比シ價格低廉ナルモ同地ハ交通不便ナレバ運搬ニ失費多カルベケレハ尙ホ一層小
物ニテ裝飾的及實用品種ノ製作ヲ試ムヘシ奥田要助出品ノ絲取鍋ハ當地特產品ニシテ需用多ク頗ル有
効ナリ然レドモ尙ホ器藥ヲ一層白クシ器製ヲ防クコトハ製品ノ改良上必要ナルヘシ
岡山縣　當縣ノ出品ハ伊部燒及蟲明燒ニシテ何レモ舊套ヲ脫セス殊ニ伊部燒ノ如キハ製品ニ技術ニ一
ツモ研究改良ヲ施シタルヲ見ス古來ノ靑伊部ヲ模做セントスルモノアルモ其作、色合頗ル拙劣ニシテ
見ルニ足ラス徒ラニ價格ノ高キヲ望ムハ實ニ笑フヘキナリ金重勉出品ノ花瓶（代價白五十圓）ノ如キ
ハ大ニ注意ヲ要ス伊部ハ原土ノ良質ナルヲ以テ裝飾的及日用的石器トシテ切ニ改善ヲ圖ルヘシ岡本嘉
藏出品ノ大花瓶釉藥ニ雅味アリ大作ナルモ工作ニ一層ノ注意ヲ望ム
山口縣　當縣ノ出品ハ萩燒陶器主ナルモノニシテ抹茶器、菓子皿、火入等釉ニ粗キ器裂アリ工作雅味
ヲ有シ抹茶家ノ愛玩スルトコロノモノ能ク古風ヲ存シ舊態ヲ守ルト雖モ其雅趣ヲ素地及釉藥ノ變更ニ
或ハ彩畫ノ應用ニ需メ更ニ萩燒ノ一新得色ヲ發揮スルノ要アルヘシ坂高麗左衞門、三輪錄郎ノ出品ハ
其最タルモノナリ藤崎星里出品ノ瓶掛ハ工作宜シク釉色溫雅掬スヘク價格モ亦廉ナリ其他姬井藤兵衞
出品ノ硫酸瓶ハ能ク實用ニ適スヘシ
福井縣　當縣ハ坂井郡三國町橫山藤助出品ノ陶器ヲ除キテハ他ニ見ルヘキモノナシ本品ハ結晶紋花理
紋瓶ナルモ釉等信樂陶器ニ類似シ工作意匠ニ注意セハ北陸ニ於ケル一名產ヲ得ンカ
高知、奈良、鳥取ノ三縣ハ粗陶器抹茶器ノ類富山縣ハ九谷燒ノ販賣品等ニシテ別ニ評スルノ價値ナシ
香川縣ハ出品人員割合ニ多數ナルモ二ツモ見ルヘキノ製品ナシ只土瓶ノ如ニ實用的製品ハ喜フヘシト
雖モ樂燒ニシテ價格ハ廉ナルモ其質頗ル脆弱ナルハ實用ニ適セス且ツ有鉛釉ヲ施シタルモノアリ衞生
上ノ注意ヲ要ス何レモ陶器生產地トシテ他縣ト比較シ得ルノ域ニ達セス各地宜シク原料ノ良否土地ノ
狀況ヲ察シ實用品ニ裝飾品ニ改善ヲ謀ルヘシ

ノ研究ヲ望ム東京高等工業學校窯業科ニ於テハ數年前ヨリカニ陶器ノ製造ニ關シ研究シ

輸出陶器ハ京都粟田、淡路等主トシテ改良ヲ望ム、ニシテ前述ノ如キ風

ノ製出ヲ希望スルモノナリ

本邦ノ業者タルモノハ一致協力此時機ヲ利用シ大ニ改良ヲ試ミ品質善良ニシテ原価廉ナル輸出礎器

等ノ裝飾品トシテ海外ニ需要多カルベク且製作尤モ本邦ニ適切ナルガ認ムル故ニ淡路燒ノ如キ同

械及機械力ノ應用ヲ示シ且ツ燒燃及燃料ノ經濟ヲ期スルノ爲メ本年度ニ於テ之カ改良ヲ試ミ

本邦業者ノ誠ニ喜フベキコトニシテ農商務省工業試驗所ニ於テモ夙ニ其改良ノ必要ヲ認メ製作機

セルヲ以テ之ヲ製造者ニ貸與シ從來ノ製造法ニ革新ニ從事シツヽアル目下着手セントスルモノアリ

造ニ應スルニ上能ハザル迄ニ地土改良製造ニ就テハ其必要ヲ認メ二三地方ノ已ニ計畫ニ着手

以テ各自多額ノ注文ヲ引受ケツヽアルモ反テ工數ヲ增加シ製品ノ價格ヲ騰貴セシムルノ不利ヲ

造組織ニ於テハ前述ノ如ク製品ノ改良ヲ施スコト能ハザルノミナラズ小資本製造家ノ集合ヨリ成ル

規模ヲ擴大シ從來ノ家內的組織ヲ工場的組織ニ變更セザルヲ得ザルハ自然ノ趨勢ナルヲ以テ之ヲ概括シテ

以上各府縣別批評ヲ試ミタルヲ以テ之ヲ概括シテ前述セントスル抑モ本邦

陶磁器ハ近時海外輸出ヲ激增シ昨年度ニ於テハ約六百萬圓餘ノ輸出額アリ將來斯業ノ發展ハ金々其輸

出ヲ奬勵スルニアルコト論ヲ俟タズ從テ輸出陶磁器ノ改良ヲ圖ルニ急務ナリトス殊ニ歐米向ノ如キ其品種

ハ概ネ中堅タル尾濃磁器ノ歐米人ノ嗜好ニ適スルヤ否ヤヲ研究シ其形狀正確ヲ缺キ此目的ニ應シ得サルハ已ニ識者ノ認識スル所ニシテ厚ク之カ改善ヲ唱道スルモ未タ

至ラサル所以ノモノニシテ厚增進セシムルニ困難ナリ是レ現今ノ尾濃磁器ハ品質脆弱ニシテ色純白ナラス

又ハ玩弄的ニ需用セラルヽ歐州品下指抗シ得ヘキ實用的多キ需用的品種ヲ廉價ニ製出スルニ

ハ素地上ノ配合均一ナルヲ要シ從來ノ如キ素地ニ形狀大小ノ疎密ヲ期シ燒縮ノ

度ニ燒成スルヲ要スルモ從來ノ窯燒ニテハ其火度ニ達セシムルノ困難ナルノミナラズ燃料ヲ莫大ニ

必要トシ共ニ燃料ヲ石炭ニ代ユルニ正確ヲ望ムニハ

價格頗ル上昇スルノ故障ヲ生シ變更スルト共ニ燃料ヲ莫大ニ必要トシ又形狀ノ正確ヲ望ムニハ

二燒線ノ變更西洋式圓窯ノ築造

二成形法ノ改良

一素地土製造ノ改良

三製造法ノ根本的革新ヲ要スルノ故ナリ即チ其要項ハ

豫期ノ成績ヲ見ルニ至ラサルノ所以ノモノハ從來ノ製造法ニ於テハ絕對ニ之カ改良ヲ望ムニカニ風

其成績品ノ較々見ルヘキモノアリ或ハ當業者ノ參考ニ資スルヲ得ンカ玆ニ言スヘキハ實用的陶器ノ製造頗ル幼稚ナルコト是レナリ硬質陶器ノ肉皿ノ如キ盡ク輸入ニ係リ需用益々增加スルノ趨勢ナルモ未タ本邦ニ其製出ヲ見サルハ頗ル遺憾トスル所ナリ是レ其製造ニ困難アルカ故ナリ爲ニ學校試驗場等ニ於テ試製セルモノアルモ之ヲ營利的ニ實行スルニ至ラス只松村八次郎出品ノ珈琲碗ノ如キ此種製品ノ始メテ市上ニ販出セラレタルモノナリ然レトモ其製品前記ノ如ク完成セルモノニ非ラス農商務省工業試驗所ニ於テハ本邦ニ完全ナル硬質陶器ヲ創製シ二方ニハ輸入ヲ防遏シ更ニ內地ノ飮食器ヲ改良スルト同時ニ東洋ニ輸出ヲ謀リ加フルニ陶磁器製造法ノ改良發展ニ資スルハ頗ル切要ナルヲ信シ已ニ實際的製造ニ着手シ目下試驗中ニ屬スト雖モ肉皿、珈琲碗ノ類ハ殆ンド完成ニ近キタルヲ以テ本年開設ノ東京府勸業博覽會ニ出陳セラレタリ當業者タルモノ就テ一覽シ研究ノ參考ニ供スヘシ陶磁器ノ裝飾法ハ今回ノ出品ニ就テ見ルニ彫刻、塑型彩畫法、版畫等ニ於テ美術的及工業的ニ多々改良ヲ要スヘキ點アルヲ認ム假令バ版畫ニ石版畫ヲ用ユルカ如シ以上技術上ノ改良試驗又ハ製造法ノ根本的革新ニ關シテハ學術ノ應用並ニ新智識ヲ要スルヲ以テ此等ノ商議設計ヲナスカ爲ニ主要生產地ニハ先ツ學校ノ設備ト同時ニ試驗場ヲ設ケ技術者ヲシテ此等問題ヲ研究セシムルコト目下ノ急務ナリトス京都市ノ如キハ夙ニ試驗場ヲ設置シ之カ間接直接ニ同市陶磁器業ノ改良ニ資シタルハ今回ノ出品ニ就テモ見ルヲ得ヘク其成績頗ル顯著ナルハ世人ノ認ムルトコロニシテ中央工業試驗所ト相俟テ斯クノ如キ機關ヲ地方ニ設クルハ肝要ナリトス

第二十五類　漆器

審査官　工業試驗所技師　三山喜三郎

本會ノ漆器ハ京都、大阪、兵庫、奈良、愛知、靜岡、滋賀、岐阜、福井、石川、富山、島取、島根、廣島、山口、和歌山、德島、香川、愛媛、高知及三重ノ二府十九縣ノ出品ニ係リ總數二千八百六十一點入員九百五十七人ノ多キニ達セリ聯合府縣中出品人ノ最多數ナルハ和歌山ニシテ全ク之ヲ出品セザルモノハ岡山ノ一縣アルノミ

本會ノ出品ハ點數ニ於テハ前回ニ及ハズト雖モ人員ニ於テハ四割以上ヲ增加シ一般ニ意匠工作ノ進歩ヲ徵スルニ足ルモノアリ殊ニ新進地ノ著シク發達セルト前回ニ顯ハレザリシ新彩漆ノ着々應用サルヽニ至レルトハ喜フヘシ

審査ノ方法ハ第一、製造ノ原料、第二意匠工作、第三、價格ノ三項ニヨリテ出品ノ精粗ヲ鑑定シ更ニ出品者ノ業況功績ヲ調査參照シテ其優劣ヲ決定スルコトヽセリ而シテ之ガ審査ニ與リタル審査員ハ京都府三上幸三郎大阪府田中平三郎靜岡縣小澤誠一石川縣鶴田和三郎和歌山縣木下重藏ノ五名ナリ

審査ノ成績ヲ比較スレハ輸出品ニアリテハ靜岡優位ヲ占メ和歌山之ニ次ギ蒔絵其他ノ裝飾品ニアリテ

府縣	出品人員	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	愛知	岡山	滋賀	岐阜	福井	石川	富山	島根	鳥取	広島	鹿島
計	一等	一七	一〇	四	八	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	二等	一〇	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	三等	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	四等	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合		二九	一三	五	一四	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

今府縣別ニ概評ヲ下セハ左ノ如シ

京都府　本府ハ蒔繪ヲ主トセル美術的裝飾品ヲ出陳シ優雅纖麗ノ特長ヲ發揮セリ三上治三郎ノ山水蒔繪小箱ノ如キ其最タルモノニシテ大體ニ於テ此地ノ蒔繪圖案ハ蒐荒ヲ脫セザルノ憾ミアルモ技倆ニ於テハ一日ノ長アリ

大阪府　本府ノ出品ハ實用品ト裝飾品トノ兩面ニ跨リ意匠工作共ニ見ルヘキモノ少カラス殊ニ蒔繪ノ部回ト擇ブ所ナシト宜シク新圖案ノ應用ヲ奬勵シ素養アル拙金工ヲシテ改良ノ衝ニ當ラシムヘシ

兵庫縣　本府ノ出品ハ實用品ト裝飾品トノ兩面ニ跨リ意匠工作共ニ見ルヘキモノ少カラス殊ニ蒔繪ノ部ハ前回以來其面目ヲ一新セルノミナラス其ノ結果ナリヤ否ヤ一ニ工人精撰ノ結果ナリヤヲ知ラサルモ兎ニ角工作精巧ナルモ裏面ノ意匠新奇ニシテ工作精巧ナルモ裏面ノ意匠ニ新奇ナルモノヲ缺ケルハ遺憾ナリ又東門五兵衛ノ小視箱ハ蒔繪ヲ華美ニ過ギルモ工作頗ル賞スルニ足レリ

奈良縣　田中合會祉ノ牡丹蒔繪御立ハ意匠新奇ニシテ工作精巧ナルモ裏面ノ蒔繪寂寥ニ失シ且ツ蝴蝶ノ活勢ヲ缺ケルハ遺憾ナリ又東門五兵衛ノ小視箱ハ蒔繪ヲ華美ニ過ギルモ工作頗ル賞スルニ足レリ

和歌山縣　山口歌川島山口

京都府　石川大阪ノ二府縣ト鼎立ノ勢ヲナシ日用飲食器ヲリテハ和歌山首位ニ居リ之ニ次ケルモ石川ト褒賞人員ノ各等ニ通シテ二百七十七名ニシテ之ヲ府縣別トスレハ左表ノ如シ

漆器褒賞等級表

府縣	出品人員	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	愛知	岡山	滋賀	岐阜	福井	石川	富山	島根	鳥取	広島	鹿島
計	一等	一七	一〇	四	八	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	二等	一〇	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	三等	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	四等	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合		二九	一三	五	一四	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

實用品ハ價格概ネ低廉ニシテ着々技術ノ進歩セルヲ示シ前途甚タ有望ナリ元來此地ノ當業者ハ骨董的漆器ノ製造ニ重キヲ置クノ弊アルモ此種ノ製品ハ販路甚タ狹少ニシテ巨額ノ産出ヲ望ムコト能ハサルヲ以テ此等ノ製造家ヲ導キテ着實ナル實用品ニ歸向セシムルコトヲ得バ本業ノ隆盛期シテ待ツベキナリ

兵庫縣　神戸ハ姫路ノ兩市及朝來郡等ヨリ少數ノ出品アリ神戸ノ輸出品ハ靜岡風ヲ學ヒタルモノニシテ未ダ幼稚ノ域ヲ脫セズ其他ノ出品ハ行器及重箱ナル堺重汁椀等ニシテ毫モ進歩ノ跡アルヲ見ズ

奈良縣　奈良ノ根來塗ハ螺鈿其他ノ擬古製品及下市ノ吉野膳ヲ主トスルモノトス

根來塗及螺鈿ハ奈良ノ特産ニシテ技術老鍊ナリト雖モ螺鈿入ノモノニ於テ稜角ノ研磨充分ナラザルモノ多キヲ認ム春慶塗ノ吉野膳ハ稍技頗ル進歩ヲ加ヘ低廉ニシテ實用ニ適スルヲ以テ日用品トシテ將來有望ノ物産タルベシ

出品中吉田辰之助ノ密陀繪ハ新意匠ニハ非ザルモ工作頗ル精巧ナリ

愛知縣　出品ノ主ナルモノハ名古屋ノ日用飲食器及佛檀トス飲食器類中花塗物ハ概シテ工作良好ニシテ能ク實用ニ適スルモ張貫漆器ハ工作却テ退歩シタルモノ、如シ

佛檀ハ出品割合ニ多數ニシテ一二工作ノ精巧ナルモノアリ

靜岡縣　本縣ノ出品ハ靜岡ノ特産タル輸出品及内地向實用品ヲ主トス輸出品ハ手箱隅棚組盆等ノ華麗ナル蒔繪品ニシテ意匠工作一段ノ進歩ヲ加ヘ巨額ノ輸出ヲ見ルハ賞スベシ殊ニ靜岡漆器株式會社及稻葉合名會社ノ出品ノ如キハ新種ノ彩漆ヲ應用シテ鮮麗ナル色繪ヲ描出シ以テ技術ノ著シキ進歩ヲ表示セリ若シ夫レ堅牢ノ點ニ於テ一歩ヲ進メンカ庶幾クハ輸出品トシテ遺憾ナキヲ得ン

内地向實用品ハ木地蠟塗及金蟲喰塗等ニシテ出品甚タ多數ナルモ製作殆ト前回ト異ナルナシ僅ニ優品ト認ムヘキモノ少數ニシテ特ニ優品ト認ムヘキモノナシ

滋賀縣　彦根ヨリ花臺類日用飲食器及佛檀ヲ出品セルモ少數ニシテ點數頗ル饒多ナリ今立郡ノ丸物類ハ技術稍進歩シ價格低廉ニシテ能ク實用ニ適スルヲ見ル一層形式ノ改良ニ注意シ販路ノ擴張ヲ圖ラレンコトヲ望ム

福井縣　本縣ノ出品ハ今立郡ノ丸物類及小濱ノ若狹塗ニシテ點數頗ル饒多ナリ今立郡ノ丸物類ハ技術稍進歩シ價格低廉ニシテ能ク實用ニ適スルヲ見ル一層形式ノ改良ニ注意シ販路ノ擴張ヲ圖ラレンコトヲ望ム

若狹塗ハ製品ノ堅牢ナルコト前回ニ譲ラズト雖モ意匠工作毫モ進歩ノ跡アルヲ見ズ特産タル塗箸ノ如キ却テ退歩ノ嫌ナキヲ得ザルモノアリ切ニ製造家ノ奮勵ヲ望ム

石川縣　本縣ノ出品ハ金澤ノ美術的精巧品ト輪島及山中ノ日用飲食器トヨリ成リ點數甚タ饒多ナリ

輪島ノ膳椀類ハ製品ノ堅牢ヲ以テ世ニ聞ヘ販路甚タ廣シト雖モ外觀依然トシテ素朴ニ失シ恰モ形式意匠ヲ眼中ニ置カザルノ觀アリ今ニシテ奮勵セズンバ後進地ノ爲メニ販路ヲ侵蝕セラルヽノ厄ニ遇ハンモ測リ難シ

金澤ノ蒔繪及螺色塗ハ精巧ノ品ニ富ミ技術ノ進歩ヲ認ムルニ難カラズト雖モ出品少數ニシテ轉タ寂寥ノ感ナキ能ハズ出品中鶴田伊三郎ノ色繪平卓ハ新彩漆ノ應用宜シキヲ得工作精妙ナリ

山中ノ丸物類ハ形狀齊一ニシテ様地ノ製造巧妙ヲ極メ彩技又一段ノ進歩ヲ示セルモノアリ進テ剝脫ノ憂ヲ除キ製品ノ聲價ヲ全フスルニ努ムベシ

富山縣ハ出品ハ高岡ノ錆畫及鎌倉彫ト魚津ノ日用飲食器トヲ主ナルモノトシ其他ノ出品ハ至テ少數ナリ高岡ノ錆畫及鎌倉彫ハ意匠陳腐ニシテ工作又進歩ノ點ヲ認ムルニ能ハス今日ノ勢ニ放任センカ產額ノ增進ノ如キハ殆ンド之ヲ望ムベカラザルモノトス如シ將來本業ノ發達ヲ期セント欲セバ斷然製品ノ種類ヲ一變スルコト得策ナルベシ

魚津ノ日用品ハ前回ニ比シテ進歩ヲ加ヘタルコト明ナルモ同時ニ奇ヲ好ンデ他ノ地ノ特產ヲ模スルモノアルハ戒心スヘキコトニ屬ス此地ノ製品ハ低廉ト堅牢トヲ特色トスルモノナラバ飽マデ此特色ヲ根據トシテ產額ヲ增進スルヲ急務トス

鳥取縣　本縣ノ出品ハ粗雜ナル日用飲食器ニシテ點數甚タ少ク技術又見ルヘキモノナシ

島根縣　松江ノ八雲塗ハ朦朧タル透繪ヨリ鮮明ナル研出色繪ニ一轉シ彩技又著シキ進歩ヲ示セリ色繪ハ靜岡、金澤ノ製品ニ及ブコト能ハザルモ色彩頗ル佳良ニシテ苦心ノ跡顯然タルモノアリ宜シク一層ノ研鑽ヲ加ヘ本業ノ隆昌ヲ期スベシ

廣島縣　廣島市及安佐、深安兩郡ヨリ少數ノ飲食器類ヲ出品セルモ技術幼稚ニシテ殆ト見ルニ足ルモノナシ

山口縣　出品少數ニシテ進歩ノ點ヲ認ムルコト能ハズ

和歌山縣　本縣ノ出品ハ黑江ノ日用飲食器ヲ主トシ此外少數ノ輸出漆器アリ

日用飲食器ハ彩漆ノ美ナルト形式ノ整ヘルトニ於テ輸島ニ勝リ價格又低廉ナルヲ以テ世ノ需要ニ適シ產額ノ大ナルコト全國ニ冠タリ然レドモ堅牢ノ點ニ於テハ猶改良ノ餘地少カラサルヲ以テ宜シク製法ノ改善ヲ圖リ販路ノ擴張ヲ努ムベシ

輸出品ハ出品多カラズト雖モ苦心改良ノ跡明カナルモノアリ奮テ頽勢ヲ挽回シ往時ノ盛況ニ復セラレンコトヲ望ム

出品中木下重藏ノ蒔繪會席膳椀ハ工作頗ル精巧ニシテ圖案又良好ナリ

德島縣　見臺及日用品數點ノ出品アルモ技術ノ見ルニ足ルモノ寡シ

香川縣　本縣ノ出品ハ高松ノ特產タル象谷塗ヲ主トシ此外輸出向ノモノ數點アリ

象谷塗ハ堆漆、存星、蒟醬等ノ數種ニ分レ工作多クハ精緻ナリト雖モ殆ト新意匠ト認ムベキモノナク前回ニ比シテ多少遜色アルモノヽ如シ輸出向卓子類ハ工作精良ナラズト雖モ廉價ニシテ實用ニ適スベシ琴平町ノ花塗物ハ近年ノ創始ニ屬スルモ工作頗ル佳良ナルモノアリ將來一層ノ改良ヲ加ヘバ日用品トシテ其名聲ヲ博スルコト敢テ難キニ非ラサルベシ

愛媛縣　越智郡ノ櫻井塗ハ粗雜ナル日用飲食器ニシテ技術精巧ナラズト雖モ至廉ニシテ實用ニ適スル

ガ故ニ一層技術ヲ練磨シ産額ヲ増進セラレンコトヲ望ム

高知縣　本縣ノ出品ニハ高知市ノ擬古製品及長岡郡ノ春慶塗ヲ主トシ出品甚多カラス

春慶塗ノ辨當箱類ハ價格極メテ低廉ニシテ頗ル縣技ノ進歩セルモノアリ擬古製品ハ堅牢久シキニ耐フ

ガモ意匠工作共ニ進歩ノ點アルヲ見ズ

三重縣　本縣ノ出品ニハ山田ノ春慶塗アリ津ノ佛檀アリ桑名ノ蕪菁盆アリ此外河藝郡ノ蠟色塗等又少

カラズ　出品

山田ノ春慶塗ハ縣技一段ノ進歩ヲ示シ價格至廉ニシテ最モ實用ニ適スルヲ以テ前途頗ル有望ナリ津ノ

佛檀ハ工作平凡ニシテ他府縣ノ優品ニ及ブモノナシ宜シク改良ヲ加フベシ

蕪菁盆又桑名盆ハ工作頗ル精良ニシテ割合ニ大作多シ就中小澤傳兵衛ノ大盆ハ製作最モ精良ナリ

郡部ノ出品中議部利兵衛ノ製品ハ技術ノ進歩ヲ見ルニ足リ其龜裂塗平卓ノ工作殊ニ精巧ナリ

第二十六類　金屬器　審査官　富山縣立工藝學校長　青山盈　撰

當共進會出品金屬器審査ノ標準ハ之ヲ五項ニ大別シ即チ第一原質ノ良否及合金鑄出仕立原型ノ精粗第

二形狀第三意匠第四着色ノ良否第五需要ノ廣狹ト爲セリ但刃物類ニハ更ニ第二項ニ鍛錬鋭鈍、鍋釜類

ニハ衛生及强弱ヲ加ヘタリ此各項ニ準據シ更ニ現時ノ事業販路ノ情態ヲ參酌シテ審査ヲ遂ケ其ノ結果

トシテ擬賞シタルモノ左表ノ如シ但表中出品點數及其ノ人員ヲ記入セルハ對照ニ便ナラシメンカ爲メ

ナリ

府縣名	出品點數	出品人員	擬賞數合計	一等	二等	三等	四等	出品人品ニ對スル擬賞割合
京都府	一五三	三五	一七	一	二	四	一〇	四八六
大阪府	四七四	一一〇	三二	一	四	六	二一	二九一
兵庫縣	一五二	四三	九		二	一	六	二〇九
奈良縣	三一	九	三				三	三三三
三重縣	一八一	四七	一四		一	二	一	二八四
愛知縣	八〇	二五	六		一	一	四	二四〇
靜岡縣	二七	八	二				二	二五〇
滋賀縣	四五	三〇	八				八	二六七
岐阜縣	一二〇	三九	一一			一	一〇	二八二
福井縣	三二一	八三	一八		一	二	一五	二一七
石川縣	四二	八	三			一	一	三七五
富山縣	五一七	一二一	四二		五	七	二九	三四七
鳥取縣	二七	九	三			一	二	三三三
島根縣	七九	二二	七			二	五	三三三

廣島縣	六八	二四	—	—	—	一	六	七	二九二
山口縣	一三	五	—	—	—	二	二	二	四〇〇
德島縣	一三	五	—	—	—	二	二	二	四〇〇
香川縣	七二	四五	—	—	—	一〇	一一	一一	二四四
愛媛縣	一四	四	—	—	—	一	一	一	二五〇
高知縣	一二二	四九	—	—	—	一五	一六	一六	三三七
合計	二、五五一	七二〇	四	一六	三三	一六六	二一八	三〇三	

茲ニ出品ノ狀況ヲ略記センニ今回出品ノ區域ハ二府二十縣ナリシモ現ニ金屬器ノ出品アリシハ二府十八縣ニシテ即チ岡山及和歌山ノ二縣ヨリト出品ナカリキ其出品總數ハ二千五百五十一點ニシテ出品人員ハ七百二十名ナリ之ヲ前回ノ點數三千六百四十二點人員五百四十名ト對比スレハ點數ニ於テ一千九十一點ヲ減シタルモ人員ニ於テハ却ツテ百八十名ヲ增シタルヲ見ル而シテ銅器黃銅器銑鐵器ハ京都大阪富山ノ二府一縣最多ヲ占メ岐阜福井石川鳥取香川ノ諸縣ハ寡少ナリキ刄物類ハ大阪兵庫岐阜福井高知ノ一府四縣最多ヲ占メ京都奈良石川愛媛ノ一府三縣ハ寡少ナリキ案スルニ今回出品ノ陳列方ハ各府縣別トセスシテ各品種別トセラレタルハ審査上大ニ煩勞ヲ省クコトヲ得タルノミナラス彼此對照ヲ要スル場合ニ於テ頗ル便宜ニシテ且有益ナリシヲ信ス特ニ一人ニ於ケル出品點數ヲ制限セラレタルガ如キハ共進會ノ本旨トシテハ少數者ノ多數出品ヲ爲サンヨリハ寧ロ多數者ノ相當出品ヲ爲サシメンコト最モ適當ナルヘク是レ今回ノ出品點數ニ於テ減少セシモ却テ其人員ニ於テ增加ヲ來セシ所以ニシテ斯ノ如キハ一般民間ニ於テ工業思想ノ發展ト同時ニ自ラ共進會ノ利益ヲ認ムルモノヲ增加セシム此等ノ點ヨリ見ルトキハ今回ハ更ニ一歩ヲ進メタリト斷定スルモ不可ナカルヘク當局者ノ勸奬其宜シキヲ得タルモノト謂フヘキナリ

左ニ銅器類ト刄物類トニ區別シ概評ヲ揭ケントス

銅器類

今回出品ノ銅器類ヲ通觀スルニ逸品ハ豫想ニ反シテ多カラス其原因ヲ思索スルニ蓋シ今次ノ共進會ハ恰モ東京府ノ勸業博覽會ト同時ナリシヲ以テ自然其優品ハ大都ノ需用ヲ目的トシテ之ヲ東京ニ出陳シ本會ニハ其以下ノモノヲ提出シタルヤノ疑ナキ能ハス故ニ意匠圖按ハ勿論製作ニ於テモ見ルヘキモノ割合ニ多カラサルハ甚タ遺憾トスル處ナリ然レトモ是レ唯優品少ナシト云フニ止マリ全般ヨリ之ヲ觀察スルトキハ前回ニ比スレハ進歩ノ形蹟ヲ確認スルニ難カラス即チ富山大阪京都三重石川其他數縣ノモノニハ製作上各自其特長ヲ發揮セリ

京都府　當府ノ製作ハ流石ニ美術ノ淵藪タル本色ヲ失ハス一般ニ優美ニシテ形式ニ於テ善ク調和ヲ保チ着色モ亦美麗ニシテ批難ノ加フヘキノナシ但之ヲ需用ノ方面ヨリ考察スルトキハ聊カ遺憾ナキ能ハサルモノナリ即チ普通ノ工業品トシテハ價格廉ナラス又貿易品トシテハ果シテ海外ノ好尙ニ適スルヤ

乙之ヲ最近ノ統計ニ徴スルニ産出年額僅ニ八萬圓內外ニ過キス製品佳美ヲ極メ而シテ産額斯ノ如ク微々タル所以ノモノハ蓋シ世上ノ需用程度ヲ研究スルニ遺算アルニ歸セサルヲ得ス當業者須ラク此點ニ注意シ先ツ美術品ト普通工業品トヲ區別シ世間需用ニ適應セル物品ヲ製出スルコトヲ圖ラサルヘカラス蓋シ京都ハ其技術ノ點ニ於テハ殆ント間然スル所ナク世人ノ等シク欽仰スルトコロナリト雖モ自ラ其技術ヲ恃ミ需給ノ如何ヲ考察セサルノ傾ナキ能ハス故ニ將來善ク此方面ニ潛心シ一方ニ其ノ固有ノ巧技ヲ保持スルト同時ニ一方ニ販路ノ擴張ニ務メ其産額ヲ增加シ大ニ斯業ノ發展ヲ期セラレンコト最モ肝要ナルヘキナリ

大阪府　當府出品中ノ重ナルモノハ花瓶瓶掛鐵瓶等ニシテ花瓶ニハ大作ノモノアリ高尾定七ノ出品ニシテ花瓶ニ電氣附點ヲ應用シタルモノアリ又虎置物ノ勇猛ナル姿勢一見爽快ヲ覺ユルモノアリ島佐兵衛出品大花瓶ノ緣邊ニ敷厘ノ飾ヘルモノアリ又唐草模樣ノ大花瓶アリ此等ハ何レモ海外ノ需要ニ至適ノモノナルヘク而シテ製作モ亦佳良ナリ但電氣應用花瓶ハ厘數多キニ過キ且製作者氏名ノ刻印上部ニ過キ爲メニ形狀ノ調和ヲ失スルノ嫌ヒアリ今少シク下部ニアルヲ可トス

堀米吉ノ銀器各種ハ製作佳良ニシテ形式モ亦善美ナレトモ杯中ノ圖按等ニハ更ニ一層ノ工風ヲ望マサルヲ得ス

琺瑯會社ノ琺瑯燒鍋ハ製作ニ於テ缺點アリ價格モ亦廉ナリ以テ外品ノ輸入ヲ防キ內地ノ需用ヲ充タスニ足ヘルキハ勿論滿韓地方ニ輸出シ前途有望ノモノナルヘシ望ムラクハ一時的ナラス永ク此良品ヲ製造シテ以テ海外ニ輸出シ其信用ヲ鞏固ニセンコトヲ

富山縣　當縣出品ノ銅器ハ花瓶アリ置物アリ砂鉢アリ五具足アリ而シテ高岡市ノモノ實ニ最多數ヲ占メリ然ルニ其地ノ斯業ニ冥名ナルニ拘ハラス割合ニ優秀佳良ノモノ少ナキハ是レ亦其精巧ナルモノハ多ク東京ニ出陳シ本會ニ殘餘ヲ出陳シタル結果ニ非サルナキカ其出品中着色ノ旣ニ褪ケタルモノアリ意匠モ亦陳腐ナルモノ多ク特ニ火鉢ノ圖按ノ如キハ千篇一律ニシテ見ルニ足ルモノ少ナシ唯タ花瓶置物類ハ製作圖按共ニ頗ル進歩ノ形跡ヲ認ムト雖モ是レ亦仕上ニ注意ヲ缺キ爲メニ着色ニ障碍ヲ來シ不完全ノ點多キヲ見ル花瓶ニアリテハ廉價ナルモノニハ往々底付不充分ニシテ水漏ヲ爲スモノアリ或ハ象眼深キニ過キ穿孔ヨリ水ヲ漏ルヽモノアリ斯ノ如キハ其製作ニ於テ甚タ不注意ナルヲ證明スルモノニシテ施ヒテ該地物産一般ノ信用ニ係ルヲ以テ須ラク留意スヘキナリ本縣今回ノ出品ヲ通覽スルニ花瓶置物ノ類ニ於テハ圖按ノ著シク進歩セルヲ認ムルモ火鉢ニ於テハ然ラサルモノヽ如シ是レ當縣ニハ工業會或ハ縣立工藝學校アリテ意匠圖按ニハ特ニ技師ヲ聘シ又ハ常時之カ考案ニ勉メ花瓶置物ノ如キハ其必要上之ヲ此等ニ精通セル人ニ質スモ火鉢ノ如キ日用品ハ之ヲ普通ノ職工ニ委ネ顧ミサルニ因ルベシ然レトモ火鉢ト雖モ決シテ圖按ヲ輕視スルヲ得ス其形狀模樣ニ關シテハ製作每ニ必ス專

門家ニ諮詢シ其意匠ニ從フコト甚タ肝要ナリ之ヲ要スルニ高岡銅器ハ最モ有名ナルニモ拘ハラス之ヲ今回ノ出品ニ徴スルトキハ賞賛スヘキモノ甚タ少ク將來孜々トシテ永ク其名聲ヲ維持スルニ勉メサルヘカラス

三重縣　當縣ノ出品中重ナルモノハ若林ハヤソ銅器各種若林吉郎及黄地直次郎ノ香爐等ナリ孰レモ鑄出緻密ノモノニシテ其技術賞賛スルニ足ルモノアリ但其圖按複雜ニ過キ意匠ノ取ルヘキモノ尠キヲ遺憾トス製作者ハ海外輸出品トシテ斯ル圖樣ヲ適良ト確信セルモノヽ如キモ現時ノ外人尚ホ然ルヤ否ヤハ疑問ト云ハサルヲ得ス要スルニ今回ノ出品ニ現ハレタル老熟ノ技術ヲ以テ時世ノ變遷ニ從ヒ嗜好ノ推移ヲ考察シテ善ク之ヲ結合調和セシムルトキハ蓋シ將來驚クヘキ成功ノ時期ヲ見ルニ至ルア疑ヲ容レサル所ナリ

愛知縣　當縣出品中岡谷惣助ノ花鳥花瓶ハ形式圖樣等善ク調ヒタルモノ火鉢ノ圖按ハ拙劣ニシテ改良ノ餘地アリ久保田半市ノ鐵瓶各種ハ火受モ善ク形狀亦佳ナレトモ同人ノ花瓶ニ千羽鶴ヲ象嵌シタルハ複雜ニ過キ好意匠ニ非ス今少シク淡泊ナランコトヲ望ム

滋賀縣　當縣ノ出品中木野佐助ノ五具足ハ其本職ニシテ製作佳良ナリ村田孫平出品虎ノ置物ハ極メテ拙劣ニシテ見ルニ足ラス要スルニ本縣ノ出品ハ木野佐助ノ五具足ト藤村正次郎ノ瓶掛ヲ除クノ外ハ圖按複雜ニ過キ好意匠ニ非ス今少シク淡泊ナランコトヲ望ム

岐阜縣　當縣出品中銑鐵器鍋釜類ハ稍々佳ナリ置物類ニハ佳品少ナシ琺瑯焼ハ尚ホ幼稚ナルヲ免レス孰レモ改進ノ餘地多々ナルヲ認ム

島根縣　當縣ノ出品中古志伸藏ノ角瓶掛及遠所長太郎ノ砂鉢ハ鑄出製作共ニ宜シキニ適シ稍々見ルヘキモノナリ其他ノ出品ハ評スルニ足ルモノナシ又手卸簪等ノ玉石製品アレトモ此等ニ附著セル金物ハ金屬製品トシテ見ルヘキノ價値少ナシ

鳥取縣　當縣ノ出品中齊江豐太郎ノ羽釜等ハ製作形狀共ニ佳良ナリ其他鍋釜類モ廉價ニシテ製作モ良好ノモノニ乏シカラサレトモ中ニハ徒ラニ外形ノ美觀ニ馳セテ内部ノ粗雜ナルモノアリ此ノ如キハ製品ノ本旨ヲ誤ルモノニシテ當業者ノ注意スヘキ所ナリ

石川縣　當縣金澤市水野源六ノ出品中一對ノ大花瓶ニ古木ニ鳥鷲ヲ象嵌シタルモノハ最モ優秀ニシテ形狀圖樣共ニ缺點少ナシ同人ハ前回ニモ類似品ヲ出陳シテ大ニ賞賛ヲ博シタルコトアリ今回ノ出品モ亦優ニ精巧ナル製作ト稱スルニ足レリ惟フニ金澤市ノ銅器業ハ曩時頗ル盛況ヲ呈シ他ニ率先シテ其會社ヲ設立スル等當時ニ在リテハ一重要事業ナリシニ爾來世運ノ變遷ニ從ヒ不振ニ陷リ終ニ該會社ノ解散トナリ現時活氣ヲ失フ間ニ立チテ獨リ水野源六ノミ屹然斯業ニ勵精シ毎時優秀ノ逸品ヲ供出シテ能ク其名聲ヲ維持ス誠ニ多トスヘキナリ

香川縣　當縣下讃岐鑄物製造合名會社ノ出品中銑鐵製火鉢、畑尾市平ノ瓶掛、大前時造ノ銑鐵製火鉢ハ

佳作ト稱スルニ足リ形狀モ亦可ナリ近森岩太ノ銀杏模樣小花瓶ハ愛スヘキ製作ナルト同時ニ技術上見ルニ足ル佳良品ナリ

奈良縣　縣下杉田鍋釜鑄物合名會社、津田鑄物合名會社ノ銑鐵器各種ハ製作稍々佳良ニシテ販路モ相應ニ廣ク明治十七年以來冲繩縣ノ需ニ應シテ砂糠製造用ノ大平鍋ヲ造リ、又同二十年以來韓國向ノ鍋釜製造ヲ始メテヨリ爾來諸國ヘノ輸出ニ勉メ工場ノ設計ヲモ改良シテ斯業ノ爲メニ貢獻スル所アルハ大ニ喜ミスヘシ而シテ今回出陳ニ係ル所謂韓國向鍋釜ナルモノヲ見ルニ是レ現ニ彼ノ國ニ於テ使用スル狀況ヲ實地ニ調査シタル上製造シタルモノニシテ彼國ニ對スル輸出ハ確カニ其目的ヲ達シ得ヘシト信ス唯々鑄出ニ於テ尙多少ノ缺點ヲ認ム其價格ニ於テモ低廉ナリト云フヘカラス此二點ニ關シ更ニ考究アランコトヲ望ム其他「アンチモニー」ノ製品アルモ甚タ幼稚ニシテ特ニ評スルニ足ラス茲ニ鍋釜類ノ出品ニ關シ聊カ管見ヲ附セントス抑モ今回該品ノ重ナル出品ハ大阪、兵庫、奈良、愛知、鳥取、島根、廣島ノ諸縣ニシテ其形狀互ニ異同アリ其製作モ亦各地優劣ナキニ非ラス然レトモ此種ノモノハ日用品中ニ於テモ最モ實用的ノモノナルヲ以テ漫ニ外形ノ美ヲ誇ランヨリハ寧ロ堅牢ニシテ火受善ク又タ重量ナラサルモノヲ上乘トスヘシ故ニ製作者モ亦主トシテ此等ノ點ニ着眼セサル可ラス然ルニ出品中徒ラニ外觀ノ美ヲ競ヒ研磨其度ヲ過キ却テ堅牢ヲ害シタルモノアリ又鑄出ニ山水鶴龜模樣等ヲ浮出シ其圖樣拙劣ニシテ圖畫ノ體ヲ成サヾルアリ斯ノ如キ譬ヘ其圖樣ノ圖畫ノ體ヲ備ヘ得タリトスルモ日々使用ノ後之ヲ洗磨スレハ久シカラスシテ磨滅ニ歸スヘキノミナラス爲メニ使用後ノ洗磨ニ不便ヲ來スコト多シ誠ニ思ハサルノ甚シキモノト謂フヘキナリ

利器類

今回利器出品ノ最多數ナルハ大阪、兵庫、福井、三重、岐阜、愛知、廣島、香川ノ四縣ナリトス其最少ナルハ京都、靜岡、石川、富山、奈良、鳥取、島根、愛媛、德島、山口ノ一府九縣ナリトス

品種ハ各府縣概シテ同種ノモノ多シト雖モ各地方ノ用途ト嗜好ニヨリ製法及形狀ニ於テ多少ノ異同ナキニ非ラス茲ニ縣府別ニ依リ品種ヲ擧クルハ大阪ハ鉈鋏、散髮鋏、鑢等兵庫縣ハ鋸、鑢、鉋、鑿、庖丁等福井縣ハ鋏、鑓多數ニシテ又鉋、鋏、斧、庖丁等アリ、三重縣ハ鑢、庖丁、鋏、鋸柵刀劍等岐阜縣ハ鑢、鋏、小刀、鑓多數ニシテ又剃刀短刀ノ類アリ高知縣ハ鑢鋸多數ニシテ又斧庖丁、木回鶴鉈等アリ其他府縣ノ出品ハ大同小異ナリトス元來利器ハ本邦獨得ナル刀劍鍛冶ノ遺法ヲ傳ヘ而シテ之ヲ日用ノ器具ニ應用シタルモノ多數アリ鍛鍊ノ精良技術ノ熟練ト相俟テ精銳ノモノ無キニ非ラス然レトモ中ニハ往々批難ヲ加フルノ止ムヘカラサルモ亦少ナカラス即チ或ハ用途ノ如何ヲ顧ミス徒ラニ外觀ノ美ヲ衒ヒ堅實ヲ缺クノミナラス寧ロ脆弱ナルモノアリ或藥品ヲ用キテ地紋ヲ現ハシ爲メニ却テ地質ヲ脆弱ナラシメタルモノアリ其他刃尖ノ缺損セルモノ、柄附ノ不完全ナルモノ地鐵粗惡ニシテ用途ニ堪ヘ

サルモノ形狀粗野ニシテ見ルニ堪ヘサルモノ等アリ是レ皆製作者ノ注意ヲ加ヘラレンコトヲ望ム

大阪府堺市酒井包義出品ノ繊紗切鋏ハ製作良好ニシテ輸入防遏品トスルニ足ルベシ又田中友吉ノ三本組鑢ハ精巧ノ逸品ニシテ製作者苦心ノ跡歴々トシテ認メ得ヘシ

兵庫縣富岡寅之助出品ノ鉋、岐阜縣野原佐助ノ桑切庖丁、福井縣田中宇吉ノ架切庖丁及名村信治郎ノ草刈鎌等ハ製作佳良ニシテ價格モ亦割合ニ低廉ナリ

岩知縣都築斧助ノ刃物各種ハ品質善良ナリ同縣出品中ニ木回鶴ト稱スル利器ハ本縣獨得ノモノニシテ他府縣ニハ未タ見サル所ナリ是レ林業ノ用器トシテ多望ノ佳品ナリ聞ク此利器ハ近時滿韓地方農林業ノ發展ニ伴ヒ需用漸ク盛ニシテ產額モ月々增加スト詢ニ慶ズヘキナリ望ムラクハ當業者能ク彼地ノ用法ト嗜好トヲ察シ之ニ適スヘキ種類ヲ製造シ以テ永ク其業ヲ維持スルニ勉メラレンコトヲ

大阪、靜岡、岐阜ノ鋏ハ精良ノモノ多ク特ニ仕上ニ於テ佳良ナルヲ認ム然レトモ中ニハ「カラクリ」ノ不完全ナルモノ又ハ刃ノ交差齟齬スルモノアルヲ見ルカ如シ今回出陳ノ前挽鋸ニハ洋鋼製ノモノ尠カラス其鋸ノ製作ニ洋鋼ヲ用フルコト漸ク流行シ來レルカ如シ

價格低廉ニシテ外觀頗ル美麗ナレトモ其實質ハ軟弱ニシテ鋭利ナラサルハ明ナリ和鋼ニ調製鍛錬至難ナルカ爲メ價格モ亦不廉ナリト雖モ出錆ニ至リテハ洋鋼ニ勝ルコト萬々ナルモノアリ要スルニ和鋼製ノモノハ鋭利ニシテ出錆少ク長時ニ耐ユルモ洋鋼製ノモノハ外觀美麗ニシテ價格低廉ナルノミナラス輕量ニシテ使用ニ便宜ナルノ長所アリ蓋シ近時洋鋼製ノモノ漸ク歡迎セラルヽノ傾向ヲ示スハ此等ノ長所アルニ原因スルナラン

三重縣ノ出品中庖丁類ニハ價格廉ニシテ日用適當ナルモノアルモ其柄ハ松樹ヲ以テ作リ且金輪若クハ細金ヲ以テ刃元ヲ留メタルカ爲メ柄ノ破損ヲ免カレス斯ル見易キコトヲ怠ルカ如キハ製作者ノ最モ注意セサルヘカラサルコトナリトス

大阪岐阜ノ「ナイフ」ハ前回ニ比シ稍々進歩ノ形蹟ヲ示セルハ慶スヘシ然レトモ之ヲ舶來品ニ比スレハ形狀ニ於テ伸縮ニ於テ幾多ノ遜色ナキ能ハス特ニ鐵質粗惡ナルカ爲メ仕立ノ完全ナラサルモノアリ更ニ一段ノ注意ト奮勵トヲ以テ輸入ヲ防遏シ得ル製品タランコトヲ努ムヘシ

福井縣ノ出品ニハ出品者ヲ異ニシテ製作者ノ同一ナルモノ多キヲ見ル是レ或ハ數人ガ一製作者ノ製品ヲ購入シテ各出陳シタルニ非サルナキカ若シ其品種ヲ異ニセハ多少恕スヘキナキニ非サルモ同一品種ヲ數人ヨリ出品スルカ如キハ全ク共進會ノ本領ヲ沒了シタルモノニシテ事體小ナルニ似タリト雖モ將來ニ向テ注意ヲ望マサルヲ得ス

右ノ外京都府及奈良愛知等ノ諸縣ヨリ多少ノ出品アリト雖モ大同小異ニシテ殊ニ重要ノ物產ニ非サルカ故ニ玆ニ之ヲ略ス

之ヲ要スルニ今回出品ノ銅器類及物類ヲ通觀スルニ尙ホ改良研究ヲ爲スヘキノ餘地ナキニ非ス今之ヲ

概言スレハ銅器ニ在リテハ第一原料ノ選擇宜シカラサルコト第二形式ノ不調整ナルト第三意匠圖按ノ拙劣ナルコト等其重ナルモノトス而レテ鐵瓶ニ關シテハ第一火受ノ厚キニ過クルコト第二全般ノ形式ノ不完備ナルコト第三弦ノ方形ナルコト等ニシテ手持ノ宜シカラサルコト第四象眼ノ拙劣ナルコト第五地金ノ不良ナルコト等ヲ重ナルモノトス特ニ外觀ヲ華美ニセンカ爲メ蓋摘ミニ玉石ヲ嵌入シ若ク金象眼ヲ施シテ價格ノ不廉ヲ致シタルカ如キ一モ實用ニ適セス固ヨリ價格相應ニ雅味アリ湯離仕上ノ上作ナルモノヲ尊フト雖モ無益ノ虚飾ハ之レ無キノ勝レンニ若カス製作者クルモノ能ク此等ノ點ニ注意アランコトヲ望ム

利器ニ在リテハ第一地鐵ノ粗惡ナルコト第二碎硬鍛錬ノ不精緻ナルコト第三刃尖ノ缺損シ易キコト第四柄付ノ不完ナルコト等ヲ重ナルモノトス而シテ是レ亦外觀ノ美ヲ衒フニ急ナルノ餘リ藥品ノ施用其他ノ手段ヲ用キ即チ實質ノ脆弱ヲ來スカ如キ最モ看過シ難キ弊竇ト謂フヘシ

尙ホ將來ニ對スル一二希望ヲ附記センニ今回銅器ノ出品中ニ鍍金製ノモノ甚タ寡少ナリシハ遺憾トスル所ナリ今ヤ所謂電氣時代ニ向ハントシ電氣ノ應用各方面ニ盛行センントスル時ニ際シ之ヲ本器ノ如キモノニ試ミルハ亦必ス其功用多カルベキナリ且ツ其着色モ多クハ青銅宣德色褐色等在來慣用ノモノノミニ止マリ變化少ナク中ニハ苦心セシ跡ヲ認ムベキモノアルモ地金ノ粗惡ナル爲メ出色意ノ如クナラサリシモノアリ宜シク地金ヲ精撰スルト共ニ科學ノ力ヲ借リ物品ノ用途ニ應シテ恰當ノ着色ヲ工風スルコト肝要ナリ京都平野吉兵衛紹美榮祐及金谷五郎三郎ノ出品ハ着色頗ル佳良ナル爲メ製品ニ一段ノ光彩ヲ添ヘタタルハ大ニ賞スベキナリ此等ノ出品ニ鑑ミ優美ニシテ且耐久ノ着色ヲ案出スルハ各當業者ノ奮勵スベキコトナリト信ス

第二十七類紙及其製品

審査官　特許局審査官　一　川　一
　　農商務技師　樋　口　眷　一

紙

本共進會ニ於ケル紙類ノ出品數ハ三千九百六十四點其人員二千四百八十四人ナリ而シテ出品ニ就キ一般ノ狀況ヲ觀察スルニ前第五回內國勸業博覽會ノ當時ニ比スレハ大ニ製紙業ノ發達セルヲ知ル鳥ノ子紙コツピー紙典具帖紙圖引紙ナトキン地紙等ハ專ラ輸出ノ目的ニ於テ之ヲ抄造シ其ノ輸出額ニ至リテハ約百五十萬圓ニ達シ前途有望ナルヲ以テ益斯業ノ發展ヲ望ム又內地用ノ紙類例ヘハ書院紙半切紙半紙等ハ從來楮、三極等ノ原料ヲ以テ抄造セシモ此等原料ノ騰貴ニヨリ晩近木質纖維ヲ混用スルニ至レリ是レ經濟上免レサル所ニシテ其用途ニ鑑ミ巧ニ之ヲ用フレハ害アルニアラス寧ロ三極、楮ノ如キ貴重原料ハ之ヲ輸出紙ノ製造ニ供シ內地用ノ紙類ニハ木質纖維其他雜原料混用法ヲ講究スルヲ以テ目下

ノ急務トスヘシ素ヨリ當業者間既ニ此點ニ着眼スルモノ多ク今回ノ出品中藁、木質三角楮等ノ原料ヲ混用セルモノ大部分ヲ占ムルト雖モ其技術比較的ニ進歩セサルハ遺憾トスル所ナリ尚各縣ニツキ咖カ其批評ヲ試ミンニ

高知縣　本縣ノ出品ハ七百八十六點其人員五百二十ナリ而シテ本縣ハ其技術大ニ進歩シ從來約三百萬圓ノ産額ナリシガ現今ハ四百萬圓餘ニ達セリ要スルニ本縣ハ古來半紙(俗稱土佐半紙)半切紙、書院紙等ヲ製造セシモ近時ハ專ラ輸出紙ヲ製造スルニ至レリ其主ナルモノハ「コッピー紙」及ヒ具帖紙トス而シテ此等ノ種類中大ニ技術ノ進歩ヲ認スルモノ尠少ナラス又タ內地用紙類中改良半紙改良半切紙等ハ其ノ用途ニ鑑ミ木質纖維藥其他雜原料ヲ混合シ廉價ヲ主トシ而シテ其品質ノ佳良ナルモノヲ製出スルハ大ニ賀スヘキコトナレトモ仙貨紙障子紙ハ强靱性ヲ主トスルモノナルニ拘ハラス以上列記ノ如キ原料ヲ混用セルモノアルハ大ニ遺憾トスル所ナリ

岐阜縣　本縣ノ出品ハ七百五十七點其人員四百七十一名ナリ而シテ書院紙ハ本縣ノ特産物ニシテ觀ルヘキモノ勘カラス又「コッピー紙」典具帖紙圖引紙等ハ紙質精良ニシテ專ラ海外へ輸出シ其輸出年額約五十萬圓餘ニ上リ其他森下紙ノ如キハ紙質强靱ニシテ能ク實用ニ適スルト雖モ美濃紙小半紙半切紙等ノ中ニハ墨汁ノ裏面ニ浸透シ且起毛シ易キモノアリ斯ノ如キハ楮、三極ノ膠質ヨリ木質纖維ヲ混用シタル結果ナリシ尤モ斯カル原料ノ混用ハ經濟上免レサル所ニシテ之ヲ混用シタルモ必スシモ此ノ如キ缺點ヲ生スルモノニ非ラス是レ全ク混用法ノ巧ナラサルニ基因スルモノナルカ故ニ此ク混用ニ就キ當業者ノ研究アランコトヲ望ム

靜岡縣　本縣ノ出品ハ二百五十五點其人員百四十五名ナリ而シテ本縣ハ現今專ラ海外輸出紙ヲ製ス其紙類ハ鳥ノ子紙(局紙)ナラキシ原紙ノ二種ニシテ其年產額約五十萬圓ニ達セリ要スルニ本縣ハ古來駿河半紙ノ特產地ナリシモ其後製紙業ノ發達ニ伴ヒ遂ニ其ノ製造ヲ廢シ改良半紙ヲ製スルニ至レリ然レトモ尙當ニ依リ松材ノ張板ヲ用ユルヲ以テ紙面ニ木理ヲ顯ハシ且ツ藪刷毛ノ跡ヲ留ムルモノアリ斯ノ如キハ製紙家ノ最モ留意スヘキ點ニシテ宜シク栃材張板及毛刷毛等ニ改良スヘシ鳥ノ子紙ノ如キハ光澤ニ缺乏セリ完全ナル光澤用ロールニ改ムルヲ要ス

愛媛縣　本縣ノ出品ハ三百三點其人員百四十一名ナリ而シテ本縣製紙業ハ其進歩顯著ニシテ就中大半紙小半紙等觀ルヘキモノ少カラス特ニ仙貨紙ノ如キハ其質强靱ニシテ能ク其用途ニ適セリ要スルニ本縣ノ如キハ斯ク製紙術ノ進歩セルニモ拘ハラス尙未タ漂白粉ノ用法巧ナラサルヲ以テ其痕跡ヲ紙中ニ留ムルモノアリ斯ノ如キハ紙質脆弱ナラシムル原因トナルモノナリ尙又紙類ノ價格低廉ナラサルノ嫌ヒアリ此等ハ宜シク當業者ノ注意スヘキ點ナリトス

福井縣　本縣ノ出品ハ百二十二點其人員八十三名ナリ而シテ本縣ノ特產物タル奉書紙ハ品位高尙ニシテ他府縣ニ於テ多ク其比ヲ觀ルコトヲ得ス然レトモ海外輸出紙(局紙)ハ其色相可ナルモ光澤ニ乏シク

且除塵法不完全ナルモノアリ一層ノ注意ヲ望ム又此等以外ノ種類中例ヘハ半紙書院紙半切紙等ニ往々木質繊維ヲ混用スルモノアリ斯ノ如キハ經濟上止ムヲ得サル事項ニ屬スト雖モ能ク其用途ニ應シ其用法ニ注意セシコトヲ望ム

岡山縣、兵庫縣、香川縣　此三縣ノ出品ハ六百十八點其人員三百二十三名ナリ而シテ出品ノ種類ハ主ニ「コツピー紙」典具帖紙間似合紙障子紙半紙書院紙等ナリ要スルニ此三縣出品ノ紙類ハ其紙質特ニ甲乙ナク互ニ相似タルモノニシテ從來ニ比シ敢テ技術上進歩シタル點アルヲ觀サルモ半紙書院紙中ニ巧ミニ藁原料ヲ混用シタルモノアルハ稍ヤ進歩ト稱スルヲ得ヘキカ尚當業者ノ奮進ヲ望ム

島根縣、鳥取縣、山口縣、廣島縣　此四縣ノ出品ハ七百六十九點其人員五百八十五名ナリ而シテ其種類ハ障子紙書院紙半紙西之内紙等ニシテ紙質ノ上ニ於テ各縣共ニ特ニ其優劣ヲ認メ難シ要スルニ此四縣ハ古來本邦特産物タル楮、三椏ノ主産地中ニ算セラルヽモ其製紙術ニ至リテハ兎角幼稚ナリシカ今回ノ製品ニ就キテ考フルニ稍進歩シ半紙中強性及ヒ光澤ニ富ムモノアルハ大ニ賀ス可キ事項ナリトス然レトモ尚未タ漂白粉ノ用法適當ナラス往々紙中ニ其臭氣ヲ滯フルモノアルハ遺憾トスル所ナリ

滋賀縣、三重縣、奈良縣、德島縣、京都府、愛知縣、大阪府、石川縣、富山縣、和歌山縣　此二府八縣ノ出品ハ三百五十四點ニシテ其人員二百十六名ナリ而シテ其種類ハ傘紙、半紙、書院紙、障子紙、紙半切紙、扇子地紙、圖引紙、簿冊用紙等ニシテ其ノ技術ハ概レモ幼稚ノ域ヲ脫セスシテ出品中ノ大部分ハ普通品タルヲ免カレス殊ニ漉簀ノ編方宜シカラス「ヒゴ」ノ太サ不同ナルヲ以テ紙面ニ不規則ナル簀痕ヲ顯ハスノミナラス全紙面中厚薄ノ部分アリテ平滑ヲ缺キ加フルニ原料ノ蹂解法佳良ナラサル點アリ斯カル缺點ハ出品全部ニ亘ル通弊ナリ宜シク抄造法ハ勿論其用具大ニ改良ヲ要ス且ツ簿冊用紙竝ニ圖引紙ノ如キハ紙質柔軟ニ失シ糊ノ用法適當ナラス當業者ノ奮進一番ヲ望ム

紙製品

本共進會ニ出品セル紙製品ノ點數ハ一千七百三十七ニシテ其人員七百七名ナリ而シテ其種類中ノ大部分ハ和傘和扇及輸出用ノ繪傘扇子紙ナフキン提灯等ニシテ其製作及意匠等ニ關シテハ見ルヘキモノ尠少ナラス前途益有望ナリト認ム然レトモ往々實質ト價格ト調和セス且ツ粗製濫造ノ弊ニ陷ルモノアルハ洵ニ遺憾トスル所ナリ尚府縣別ニ聊カ批評ヲ試ントス

京都府　本府ノ出品ニ係ル紙製品ハ傘扇子、クレープ紙ヘラ臺ミシン半切紙等ニシテ其出品人員五十名二百四十八點其數三百三十八個ナリ其概評ヲ下サバ扇子ハ其本場タル資格ヲ失ハスシテ意匠骨ノ彫刻及製作等大ニ賞揚スヘキモノアリ就中歐米輸出品最モ精良ヲ極ム內地用白扇及繪付並ニ砂子振等又見ルヘキモノ少ナカラスト雖モ往々高價ニ失シタルノ嫌アリ傘ハ蛇ノ目及判傘ノ二種ニシテ蛇ノ目製作ハ稍佳良ナリト雖モ全部細口ノミニシテ携帶上便ナルモ實用上如何アランカ判傘ハ之ニ反シテ太キニ過ク若シ此ノ兩者ヲ折中セハ可ナランカ絹張及皮付日傘類ニ至リテハ批評ノ價値ナク且頗ル高價

ト認ム傘骨ハ製作稍々可ナルモ高價ニ失シ且ツ實用上ノ價値ニ乏シク大ニ戒ムル所ナカル可カラス函
張用クレープ紙ハ價格相當ナルモ製作ニ注意ヲ缺ク點アリ輕便ヘラ臺火熨斗蒲團及ミシン半切紙ハ僅
ニ一名四五點ノ出品アリシノミニシテ批評スルヲ得ス

大阪府　本阪ノ出品ニ係ル紙製品ハ傘、扇子、提灯紙ナフキン紙皿敷金銀押紙等ニシテ其人員三十四
名點數百五十八點五百十六個ナリ概シテ優良品多ク近時著シキ發展ヲ現シタルハ喜フヘキ現象ナリ之
カ略評ヲ下セバ扇子ハ清國輸出向ノモノニ於テ大ニ見ルヘキモノアリ內他用ノモノハ粗ホ京都製ト類
似セリ製作意匠共ニ優良ニシテ價格又相當ナリト認ム益々販路擴張ヲ望ム傘ハ價格不廉ナルノミナラ
ス判傘及日傘ノ出品ハ少數ナリ或ハ產額ニ於テ幾分カ退歩ノ狀況ナキニアラサルカ提灯ハ海外輸出品
ニシテ其製作佳良ナラサルモ價ニ於テ甚タ廉ナルヲ以テ販路廣ク將來益々有望ナラン紙ナフキン皿敷
等ノ圖案配合拙劣ナルモ「レース」打拔ノ技ニ於テハ稍可ニシテ賞揚スヘキ點ヲ有セス他府
兵庫縣　本縣出品ノ紙製品ハ壁紙擬革紙雨傘漉込短冊保米紙等ニ止マレリ其人員十五名二十五點其數
四十個ニ過キス隨テ批評スヘキモノ尠シト雖モ其壁紙ノ製作ハ稍可ニシテ賞揚スヘキ點ヲ有セス他府
縣製品ニ劣ルコト數等ナリ擬革紙及其製品昆布綾並ニ姫路文庫類ハ製作模樣等進歩ノ形跡ヲ示サス單
ニ舊套ヲ墨守スルノミ大ニ改良アランコトヲ望ム雨傘ハ張リ方仕上法等甚タ拙劣ナルヲ免レス當業者
ノ反省ヲ望ム

奈良縣　本縣出品ノ紙製品ハ團扇、扇子提灯紙箱雨傘ニシテ其人員十四名六十七點其數百〇三個ナリ
之カ概評ヲ下セハ團扇、扇子等ハ古來固有ノ意匠ト舊製法トヲ脫却スル能ハスシテ更ニ進歩ノ跡ヲ認
メス古雅ナル點ヲ保存スルノ一事ハ可ナルモ製作及意匠ニ新機軸ヲ加ヘ一層ノ發展ヲ望ム雨傘ハ製作
及引墨方劣等ニシテ特ニ觀ル可キモノナク販路ニ於テモ僅カニ附近ノ需要ヲ充タスニ過キサルモノト
認ム

愛知縣　本縣出品紙製品ハ扇子提灯團扇雨傘等ニシテ其人員三十名百四十九點四百四十七個ナリ今其
出品ニ對スル概評ヲ下セバ扇子ハ大部分米國輸出用ニシテ小部分ハ歐洲向ナリ而シテ內地用ノモノハ
略ホ京都ノ出品ニ同シ近時本縣ノ生產額ハ非常ニ增進シ其價格モ亦廉ナリ然ルニ當業者ノ出品ニ對ス
ル用意周到ナラス極メテ冷淡ニシテ出品中採點ニ苦シムモノアリ大ニ將來ヲ戒ムルノ必要アルヲ見ル
且ツ骨蒔繪要メ及ヒ仕上等甚タ粗製ニ流レツヽアルハ大ニ遺憾トスル所ナリ提灯ハ稍進歩ノ徵アルモ
圖樣嶄新ノ點ナク意匠圖案等ニ其意ヲ傾クルモノナキハ大ニ遺憾トスルトコロナリ團扇中熱田團扇ハ
近時稍ヤ進歩ノ徵ヲ呈スト雖モ其繪紙ノ如キハ往々大阪印刷ノ仕入物ヲ用ヒ圖樣ニ重キヲ置カサル憾
ミアリ

靜岡縣　本縣出品ノ紙製品ハ紙ナフキン封筒書翰紙耳付名刺入雁皮紙撚絲製莨入通貨容器雨傘類ニシ
テ其人員十五名四十五點九十個ナリ其概評ハ紙ナフキン及繪入卷紙等ハ原田製紙株式會社ノ抄造ニ係

ノ雨傘、共生産額ニ於テハ全國ニ冠タルモノニシテ二四年前初メテ清國ニ販路ヲ開キシ以來其輸出額年々增進スルニ拘ハラス價格ノ競爭ニヨリテ自然粗製濫造ノ弊アルニ至リ主トシテ共印刷モ輪機ヲ應用シテ工費ヲ省クルヲ以テ東京大阪製ノ紙ナキンヲ壓倒スルヲ得タリ然レトモ圖樣配色ニ至リテハ甚タ幼稚ナルヲ以テ是等ヲ改良セハ前途大ニ有望ナリト

石川縣　本縣出品ノ紙製品ハ提灯團扇雨傘、傘帽幅ニシテ十六名四十一點七個ナリ而シテ提灯即チ甲紙モ亦同シク粗製濫ニ流レ膠油ノ用法巧ミナラス粗製品多キハ形狀雜駁ニシテ一見幅吐ヲ催スカ如キモノアリ將來形狀並ニ意匠ニ留意スルハ所ナリ一層ノ改良ヲ望ム

要ス油團紙ヲ製作スルモ原紙及ヒ塗料ニ缺クヘカラサル點ヲ非ラス一層ノ注意ヲ望ム

屋中提灯ハ張紙ノ地色濃厚ニ失シ團扇ニ於テモ亦意匠製作等ニ缺クル點アリ而シテ提灯即チ甲紙モ亦同シク粗製濫ニ流レ膠油ノ用法巧ミナラス粗製品多キハ形狀雜駁ニシテ一見幅吐ヲ催スカ如キモノアリ將來形狀並ニ意匠ニ留意スルハ所ナリ一層ノ改良ヲ望ム

飾ニ塗骨又ハ柄竹ニ總藤卷或ハ絲紗等ノ必要ナキ虛飾ヲナシ徒ニ價格ヲ昇騰セシムルハ所ナリ宜シク當業者ノ製作意匠等ニ奬勵アランコトヲ望ム

改善ヲ望ム

廣島縣、富山縣、福井縣、岡山縣、山口縣、島根縣　此八縣ノ出品ニ係ル紙製品ハ傘提灯團扇等共主ナルモノニシテ製作普通ナルノミナラス徒ラニ虛飾ヲ施シ實用ニ適セサルモノ大ニ過ヤトスル所アリ宜シク當業者ノ製作意匠等ニ奬勵アランコトヲ望ム

和歌山縣　本縣出品ノ紙製品ハ雨傘團扇ニシテ人員五十七名二百十三點二百二十一個ナリ雨傘ハ近時製造額增加ノ傾向アリ且ツ其價格モ相當ナリト雖モ骨ノ製作及糊漆法ノ拙劣ナルハ大ニ改良ヲ要スヘシ

駄ナリトス團扇ハ本縣特產タル蟲柄ニシテ製作意匠等ニ奬勵アランコトヲ望ム

所ナリ宜シク當業者ノ製作意匠等ニ奬勵アランコトヲ望ム

和歌山縣　本縣出品ノ紙製品ハ雨傘團扇ニシテ人員五十七名二百十三點二百二十一個ナリ雨傘ハ近時製造額增加ノ傾向アリ且ツ其價格モ相當ナリト雖モ骨ノ製作及糊漆法ノ拙劣ナルハ大ニ改良ヲ要スヘシ

岐阜縣　本縣ノ出品ニ係ル紙製品ハ紋天具帖紙ナキンヲ提灯行燈團扇繪日傘雨傘油團油紙頭巾紙保勵キ點ナリトス團扇ハ本縣特產タル蟲柄ニシテ製作意匠等ニ奬勵アランコトヲ望ム

滋賀縣　本縣ノ紙製品ハ扇子ハ輸出向ニシテ其製作意匠概評セハ扇子ハ輸出向ニシテ其製作意匠等稍ヤ可ナルモ蚊帳ハ價格不廉ナルノ嫌アリ

ル新意匠ノ案出ヲ望ム日傘雨傘類中絹張日傘ハ輸出用ニ適セス繪畫雨傘モ亦同ク輸出用ニ適セサルカ如キ價格ヲ取ル

スルハ遺憾ナリトス

團扇、裁縫用紙、盤切紙、桐油紙、雨傘等ニシテ其人員十五名四十八

スルハ所ナリ封筒名刺入迯袋等ハ稍ヤ可ナルモ撚絲製品ニ至リテハ着色拙劣ニシテ却テ其價値ヲ失

認ム雨傘骨ノ製作ハ稍々當ヲ得タルニ係ハラス外部塗色劣等ニシテ加フルニ比較的高價ナルハ遺憾ト

倒スルノ勢アリ然レトモ圖樣配色ニ至リテハ甚タ幼稚ナルヲ以テ是等ヲ改良セハ前途大ニ有望ナリト

リ但少脈ナルヲ以テ主トシテ共印刷モ輪機ヲ應用シテ工費ヲ省クルヲ以テ東京大阪製ノ紙ナキンヲ壓

匠斬新ナリ意匠ノ案出ヲ望ム

逸大ニ資スヘキ事項ニ屬ス提灯行燈等ハ本場タル資格ヲ失ハス特ニ勅使河原合資會社出品ノ如キ意匠共猶一層ノ盛況ヲ得ルハ疑ヲ容レサル所ナリ團扇ノ製作意匠ニ於テモ亦大ニ改良ヲ要スヘシ

紋具帖紙ナキンヲ等ハ本縣特得ノ抄紙ヲ以テ意匠彩色等間然スル所ナク克ク歐米ノ嗜好ニ適シ前

袋合羽紙函紙撚紙細工形紙等八十二個ナリ其概評ハ二千四百二十一人

點四百八十二個ナリ其概評ハ二千四百二十一人

匠佳良ニシテ彩色及ヒ罫線ニ於テモ亦大ニ改良ヲ要スヘシ

ナリトス

德島縣　本縣出品ノ紙製品ハ雨傘團扇ニシテ其人員十二名三十四點ナリ而シテ團扇ハ特ニ賞揚スヘキ點ナシ判傘ハ廉價ナルヲ以テ販路ヲ擴張スルニ至レルト雖モ猶一層天上張方ニ注意ヲ望ム

高知縣、愛媛縣　此二縣ノ出品ニ係ル紙製品ハ亞麻仁油紙合羽等其主ナルモノナレトモ特ニ賞揚スヘキモノニ乏シク油ノ用法巧ナラス稍ヤ高價ニ失スルノ庶アリ宜シク一層ノ奮勵ヲ望ム

香川縣　本縣出品ノ紙製品ハ傘類團扇提灯紙鞄等ニシテ人員八十三名三百六十七點ナリ而シテ日傘ハ其輸出額年々增進スルノ傾向アルハ大ニ喜フヘキコトナレトモ單ニ價格ノ低廉ヲ主トシ製作及地紙ノ模樣配色ニ重キヲ措カサルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ假令價格ニ於テ多少ノ增加アルモ模樣意匠等ヲ凝ラシ海外人ノ嗜好ニ適セシムルノ得策ナリト信ス雨傘ハ多少觀ル可キモノアリト雖モ高價ノ嫌アリ團扇ハ高松丸龜ノ特產品ニシテ其產額多ク觀ルヘキモノアリト雖モ繪紙ノ如キハ目下之ヲ大阪京都ヨリ輸入シ其供給ヲ他府縣ヨリ仰クカ如キハ聊カ遺憾トスル所ナリ宜シク繪紙ノ圖案及印刷等ヲ奬勵スルノ必用アリト認ム提灯ハ概シテ佳良ナラサルモ其中ニ携帶上便利ナルモノアルハ喜フヘキコトヽス

三重縣　本縣ノ出品ニ係ル紙製品ハ雨傘團扇提灯擬革紙莨入臺紙紙製動物紙鞄合羽五月鯉米五袋表紙等ニシテ七十八名三百十二點四百七十二個ナリ其主ナルモノニ付キ概評セバ雨傘中本縣山田ノ判傘ハ大ニ觀ルヘキモノアリ桑名モ亦製作上多少ノ進歩アルヲ認ムレトモ上野ハ本縣ニ於ケル判傘ノ首位ヲ占ムルモノニシテ其價格相當ナリト認ム然レトモ其製作上特ニ進歩ノ點ナキハ大ニ遺憾トスル所ナリ宜シク當業者ノ反省ヲ望ム團扇中津市ノ特產タル茄子形品ハ形狀ニ於テ新ナル所ナク固有ノモノナルモ製作ニ於テ觀ルヘキ點アリ猶是等ノ製品ニハ本縣特得ノ形狀ヲ案出スルト倶ニ繪紙ノ印刷及圖案ニ對シテ一層ノ考究ヲ望ム擬革皮モ本縣ノ特產物ニシテ殊ニ無油製ノ如キハ其製法宜シキヲ得大ニ賞讃スヘキ點アルノミナラス養甘製等ニ於テモ觀ル可キモノアリ然レトモ莨入等ノ仕立方ニ至リテハ稍ヤ不完全ナルノ嫌ナキ能ハス一層ノ注意ヲ望ム紙製品中臺紙ハ重ネ合セ等佳良ニシテ屈曲ナク稍ヤ進歩ノ徵アリ紙製動物モ實物ニ近ク就中象體ノ如キハ眞ニ迫レリト云フモ可ナリ其他諸品ニ就テハ特ニ批評ヲ試ムルノ價値ナキモノトス

第二十八類　木竹製品（行李、竹細工、挽物、指物）

審查官　特許局審查官　平山英三

本類ノ出品ハ其範圍廣汎ニシテ凡ソ木竹類ヲ以テ作ラレタル物品ハ殆ト之ヲ網羅セルヲ以テ其ノ品種極メテ雜駁ナリ今其種類ヲ列擧スレハ各種ノ家具、建具、籠、籃籠、行李、算盤、將棊、碁盤、玩具、櫛、茶筌、茶杓、杓子、箸、笠、杖、下駄、扇骨、傘骨、傘ノ轆轤、滑車、鞘、浴槽、笊、箕、篩、筬、杼、紡織用木管、紙漉簀、紙漉桁等ノ諸品ニシテ聯合府縣中岡山縣ヲ除キ其他ノ二府十九縣ハ何レモ多少出

品セサルハナシ而シテ其出品點數二千百四十五點出品人員千百十七名ノ多キニ達シ中ニ就中授賞ノ選ニ入リタル者ハ一等賞五名二等賞十七名三等賞五十三名褒狀二百二十五名ナリ其府縣別ハ左表ニ掲ク

府縣	出品點數	出品人員	一等賞	二等賞	三等賞	褒狀	授賞人員
京都	九七	五九	一		六	三	二
大阪	一六三	八四	一		七	一三	二三
兵庫	一五三	八五			五	二〇	三〇
奈良	一三〇	七二			二	一六	一八
三重	一八一	九八			四	一四	一九
愛知	六八	四二			四	八	七
岡山	一九六	四三			二	一二	一七
滋賀	六〇	三四			一	九	一一
岐阜	八四	四二			四	一一	一六
福井	一一九	九四			五	二二	一七
石川	三〇	一五			一	一三	四
富山	一二六	七五			二	一八	一一
鳥取	二六	二〇			一	六	七
島根	四〇	一二				四	二
岡山	一	一					
廣島	一四〇	七六					
山口	一三	五					
和歌山	六一	三七					
德島	四七	三三					
香川	三三二	一八七					
愛媛	四六	二三					
高知	三三	二一					
合計	二一四五	一一五七	五	一七	五三	二二五	三〇〇

本類出品中最モ多數ナリシハ家具指物類ニシテ其中紫檀製ノ架棚机卓等ノ如キ所謂唐木細工ニ屬スルモノハ大阪府ノ出品多數ヲ占メタリ元來此種ノ物品ニ於テハ材料ノ收縮ニ因リ其繼目ヨリ剝離シ易キノ缺點アリシカ同府ノ製品ニ於テハ近時大ニ改良ヲ加ヘ材料ノ乾燥ヲ完全ナラシメ繼目ノ接合ヲ堅固ニシ以テ前記ノ缺點ヲ補ヘルノミナラス太體ノ意匠製作ニ於テ頗ル進歩ノ觀ルヘキモノアリ其他福井府出品ノ唐木細工ニ於テ亦二三ノ佳作アリタリ

簞笥其他一般ノ指物類ハ京都大阪兩府ノ出品概ネ優良ニシテ奈良、三重、愛知、滋賀、岐阜、富山、和歌山ノ諸縣亦多少ノ佳品ヲ出陳セリ而シテ其寄木細工ニ係ルモノハ靜岡縣ノ出品多數ニシテ且良品

ノ觀ルヘキモノ亦少ナカラス

竹細工ノ出品アリタルハ大阪府及兵庫、靜岡、香川、愛媛等ノ數縣ナリ其中最モ優秀ナルモノハ兵庫縣中井商店出品ノ竹製家具（椅子卓子ヨリ成ル一式）ニシテ輸出品トシテ其意匠製作共ニ宜キヲ得タルモノトス之ニ亞キ靜岡縣ノ竹器大阪府ノ籃籠等ニ於テ亦若干ノ良品アリタリ香川愛媛ノ二縣ハ各數多ノ範類ヲ出品セルモ概ネ普通品ニシテ特ニ賞揚スヘキ優品ヲ見ズ其他竹製品トシテハ奈良縣久保左京出品ノ茶筌並ニ京都府黒田宗傳出品ノ竹製煎茶器ノ如キハ各獨特ノ技術ニ成レルモノニシテ其製作ノ精巧ナルハ賞スヘシト雖モ此種ノ物品ハ專ラ好事家ノ愛用ニ供スヘキ具ニシテ需用ノ狹隘ナルモノナルカ故ニ此點ニ於テ他ノ實用品又ハ輸出品等ニ對シ比較的高等ノ賞ニ上ラサルモノトス

簇ハ京都大阪兩府ノ出品ニ於テ多少ノ優品アリタリ又兵庫縣出品ノ玉簇及竹簇ノ如キモ輸出品トシテ恰當ナルモノト認ム

杞柳製行李及鞄ハ京都、大阪、兵庫、三重、愛知、岐阜、福井、鳥取、德島、高知等ノ諸府縣ヨリ數多ノ出品アリ概シテ其製作進歩セリト雖モ就中進歩ノ著キハ岐阜縣ニシテ從來柳行李ノ主産地トシテ著名ナル兵庫縣豐岡町ノ製品ニ對シ遜色ナキ良品ヲ出スニ至レリ而シテ其産額輸出額共ニ近時頗ル增加シ其原料タル杞柳ハ岐阜縣下各地ニ栽培セラル、モ尚ホ原料ノ不足ヲ告ルノ盛況ヲ呈スルモノニシテ將來益々有望ナルモノト認ム又竹製行李ハ出品少數ニシテ且特ニ優逸ナル製品ヲ見ズ

下駄ノ出品アリタルハ京都、兵庫、三重、滋賀、岐阜、廣島、和歌山、香川等ノ諸府縣ナリ近來下駄ニ於テ往々高價ノ材料ヲ使用シ或ハ蒔繪其他無要ノ裝飾ヲ附加シテ徒ニ其價格ヲ貴カラシムルノ弊風アリト雖モ本會出品ノ下駄ヲ見ルニ專ラ普通ノ需用ヲ目的トシ價格モ概ネ恰當ニシテ前述ノ如キ虚飾ニ流レタルモノナキハ下駄其モノヽ性質ニ副ヒタル適當ノ出品ト謂フヘシ而シテ其製作佳良ニシテ賞選ニ上レルモノ亦數點アリタリ

筬ハ京都、大阪、兵庫、靜岡、廣島、富山、福井、奈良、三重、岐阜、石川、香川ノ諸府縣ニ於テ各多少ノ出品アリタレトモ其ノ中出品ノ最モ多キハ福井縣ニシテ且數點ノ良品ヲ出セリ其他京都、兵庫、靜岡岐阜、石川、富山ノ各府縣出品ニ於テ亦佳品ノ觀ルヘキモノアリタリ又枡ノ出品アリタルハ兵庫、靜岡、福井、德島ノ四縣ニシテ其稍佳品ト認メラルヽモノハ福井縣ノ出品ニ於テ一二アリタルニ止マリ其他ニハ特ニ採ルヘキモノナカリキ

以上本類出品中主要ナルモノニ就テ述ヘタルノミ尚ホ此以外ニ櫛ハ京都、大阪、三重、滋賀等ノ諸府縣出品ニ於テ算盤ハ大阪府及兵庫縣ノ出品ニ於テ各二三ノ觀ルヘキモノアリ又紙漉桁ハ高知縣ノ出品ニ於テ各二三ノ觀ルヘキモノアリタリ其他ノ雜品中亦賞選ニ上レルモノ若干點アリト雖モ是等ニ就テハ特ニ記述スヘキ點ナキヲ以テ之ヲ略ス而シテ本類出品ノ全體ニ就キ概括的ニ略評ヲ下セハ明治三十六年第五回內國勸業博覽會開

設ノ當時ニ比シ特ニ製品ノ進歩又ハ事業ノ發達等ヲ認ムヘキモノハ兵庫縣及岐阜縣ノ柳行李大阪府ノ唐木細工及龍京都府ノ家具類兵庫縣ノ竹製家具靜岡縣ノ竹細工及寄木細工等ニシテ其他諸縣ノ出品ニ於テモ亦多少進歩ノ形跡アリト雖モ一般ノ家具指物等ノ中ニハ尚ホ往々用材ノ乾燥或ハ金具ノ製作等未タ完全ナラサルモノアルヲ以テ此點ニ對シテハ今後一層ノ改良ヲ要スルモノト認ム茲ニ本類ニ於テ一等賞ニ上レルモノヲ擧レハ左ノ如シ

一竹製家具　兵庫縣　合名會社中井商店

一紫檀製茶棚　大阪府　瀨戸永三郎

一竹製扇形三ツ組菓子器　靜岡縣　佐藤吉右衛門

一杞柳製鞄　兵庫縣　八木長右衛門

一杞柳製鞄　岐阜縣　西堀彌市

尚ホ將來ノ共進會ニ就キ希望スル所ノモノハ其出品類別ニ改正ヲ加フルコトナリ前述ノ如ク本類ハ木竹製品ト云ヘル廣汎ナル名義ノ下ニ性質相異ナレル各種ノ物品ヲ包含セルカ爲メニ其ノ出品雜駁ニシテ陳列ノ體裁整ハサルノミナラス觀覽上及ヒ審査上ノ不便亦少ナカラス蓋シ本類出品中箕及杼ノ如キハ織物用器具ニ外ナラサルヲ以テ之レヲ織物ノ類ニ屬セシメ紙漉簀及紙漉桁ノ如キハ製紙用器具ナルヲ以テ紙ノ類ニ屬セシムルヲ至當トス又扇骨及傘骨等ハ扇及傘ト同一類ニ入ルヘキハ當然ナルヘク然ルニ本會出品ノ區類ニ據レハ是等ノ各類ニ入ルヘキモノハ單ニ製品ノミ（織物トカ紙及其製品ト云フカ如ク）ニ限ラレ其製造用器具等ノ如キ附屬物ヲ包含セサルヲ以テ前記ノ織物用器具製紙用器具及扇骨傘骨等ニ至ルマテ總テ木竹製品ニ屬セシメタルモノナルヘシト雖モ是レ決シテ其當ヲ得タルモノニ非ス其他出品中性質全ク相異ナレルモノ例ヘハ家具ト下駄トノ如キ之ヲ同一類ニ置クハ稍穩當ナラサルモノニシテ要スルニ是等異種ノ物品ヲ混同シ其優劣ヲ比較セントスルハ審査上難事タルヲ免レス故ニ將來ノ共進會ニ於テハ多少出品ノ類別ヲ改正シ木竹製品中製造用器具ハ各其製品ノ類ニ屬セシメ又特ニ性質ノ相異ナレル物品ハ之ヲ分離シテ別類トナサハ陳列ノ體裁宜キヲ得ルノミナラス觀覽上及審査上亦便利ナルヘシト信ス

第二十九類　清酒

審査官　神戸稅關鑑定官　西川麻五郎　高野諄治

今回出品セル清酒ハ總點數二千百二十六總人員一千七百七十三名ニシテ之ヲ前回ノ總出品點數一千四十五總出品人員八百四十五名ニ比スレハ點數ニ於テ一千八十一人員ニ於テ九百二十八名ノ增加トス即チ共ニ約二十割ノ增加ナリ而シテ二府二十縣中出品ノ最モ多キハ三重縣ノ百六十點百四十四人トス又

出品ノ最モ少ナキハ靜岡縣ノ二十點十九名ニシテ各府縣ヲ平均スレハ一府縣ノ出品八百六十六點人員八百六名ニシテ一名ノ出品點數ハ平均一點七分ノ割合ナリ

審査ノ成績ニ依リ擬賞シタルモノ一等金牌十一名二等銀牌四十名三等銅牌八十一名褒狀三百五十名總計四百八十二名トス之ヲ前回ノ擬賞者總數百四十四名ニ比スレハ三割三分餘ノ增加トス

出品點數出品人員及擬賞ノ多寡ヲ以テ事業ノ盛衰ヲトスルコト克ハサルハ固ヨリ論ヲ俟タス然レトモ右ノ成績ニ依リテ前回ニ比スレハ其進歩ノ顯著ナル一般ヲ窺フニ足ルヘシ

府縣	出品點數	出品人員	受賞者數 一等賞	二等賞	三等賞	褒狀	合計	出品者百ニ對スル受賞ノ比例
京都	三六	三二	一	二	五	一〇	一八	五六
大阪	一二〇	一〇七	三	六	九	二〇	三八	三五
兵庫	一〇四	九八	四	八	一四	一九	四五	四五
奈良	一二四	九三	—	—	二	一九	二一	二二
愛知	九一	八〇	一	四	六	一九	三〇	三七
靜岡	二〇	一九	—	—	一	三	四	二一
滋賀	一一五	一一四	—	一	二	二一	二四	二一
岐阜	五三	四九	—	—	二	八	一〇	二〇
福井	三六	二九	—	一	一	四	六	二一
石川	九二	八一	—	一	二	一七	二〇	二五
富山	四九	四五	—	—	二	八	一〇	二二
鳥取	八二	八一	—	—	二	一五	一七	二〇
島根	五八	四四	—	—	二	一一	一三	二九
岡山	一〇五	七九	—	一	二	二二	三五	三二
廣島	一三八	一一九	一	七	九	二四	四一	三四
山口	一五八	一四七	—	—	二	二三	二五	一八
和歌山	五六	四六	—	一	二	九	一二	二六
德島	一一五	九二	—	—	一	一六	一七	一八
香川	一五四	一〇〇	—	—	二	一六	一八	一八
愛媛	一二九	一〇四	—	二	一	一九	二二	二一
高知	一三一	八一	—	—	一	二〇	二一	二六
三重	一六〇	一四四	一	六	一一	二六	四三	三〇
合計	二、一二六	一、七七五	一一	四〇	八一	三五〇	四八二	平均二七

右ノ成績ニ依リ各府縣ノ出品ニ就テ聊カ概評スルコト次ノ如シ

京都府　本府ノ出品ハ人員三十二名點數三十六點受賞者十八名ニシテ出品人員ニ對スル受賞者ハ五割六分ニ當リ各府縣ノ首位ヲ占メタリ而シテ其ノ品質ハ概シテ色澤香味共ニ佳良ニシテ就中伏見町ノ出品ニ優秀ナルモノ數點ヲ認メリ

大阪府　本府ノ出品ハ人員百〇七點數百二十受賞者三十八名ニシテ出品人員ニ對スル授賞者ハ三割五分ニ達セリ而シテ其品質ハ概シテ色澤香味共ニ佳良ナリ就中堺市ノ出品中ニ頗ル優秀ナルモノ數點アリテ兵庫縣灘地方ノ優等品ト相伯仲セリ大阪市ノ出品ハ概シテ色澤稍佳良ナルモ甘味若クハ澁味稍強ク其品質亦大阪市ノモノヨリ劣レルカ如シ

兵庫縣　本縣ノ出品ハ人員九十八名點數百〇四授賞者四十五名ニシテ出品人員ニ對スル四割五分ノ多キニ達シ各府縣中京都府ノ次ニ位スル而シテ其品質ハ概シテ香味共ニ佳良ナリ殊ニ灘地方ノ出品ニ頗ル優秀ノモノ多數ヲ認メリ他ノ郡部ノ出品ハ優秀ノモノ僅カニ一二點ニ止リ多クハ品質大ニ劣レリ

奈良縣　本縣ノ出品ハ人員百二十四名點數九十三授賞者二十一名ニシテ出品人員ニ對シ二割二分トス而シテ其品質ハ概シテ色澤香味共ニ稍佳良ナルモ絶ヘテ優秀ノモノヲ認メス

愛知縣　本縣ノ出品ハ人員八十一名點數九十一授賞者三十名ニシテ出品人員ニ對シ三割七分ニ相當セリ而シテ其品質ハ概シテ香味共ニ佳良ナリ就中知多郡ノ出品ニ優秀ノモノ數點アリ他ノ郡部ノモノハ色澤佳良ナルモ香味稍劣レルカ如シ

靜岡縣　本縣ノ出品ハ人員十九名點數二十ニシテ各府縣中最モ少キモノトス授賞者ハ四名ニシテ出品人員ニ對スル二割一分ニ相當セリ而シテ其品質ハ概シテ色澤稍不良ニシテ甘味若クハ苦味強ク辛味缺乏シテ香味劣リ絶ヘテ優等品ヲ認メス

岐阜縣　本縣ノ出品ハ人員四十九名點數五十三授賞者十名ニシテ出品人員ニ對スル二割ニ達セリ而シテ其品質ハ概シテ色澤良キモ香味佳ナラス又絶ヘテ優絶品ヲ認メス

福井縣　本縣ノ出品ハ人員二十九名點數三十六授賞者六名ニシテ出品人員ニ對スル二割一分トス而シテ其品質ハ概シテ色澤良キモ芳香ニ乏シク苦澁ノ二味稍強ク稍優等品ト認メタルモノ僅ニ二點ニ過キス

富山縣　本縣ノ出品ハ人員四十五名點數四十九授賞者十名ニシテ出品人員ニ對スル二割二分ニ達セリ而シテ其品質ハ概シテ色澤佳ナルモ芳香ニ乏シク風味ハ所謂甑意地強ク爽快ヲ缺ケリ

鳥取縣　本縣ノ出品ハ人員八十一名點數八十二授賞者十七名ニシテ出品人員ニ對スル二割ニ相當スト雖モ品質シテ其ハ概シテ色澤佳ナルモ芳香美味ニ乏シク絶ヘテ優等品ヲ認メス

島根縣　本縣ノ出品ハ人員四十四名點數五十八授賞者十三名ニシテ出品人員ニ對スル二割九分ニ相當ス而シテ其品質ハ概シテ色澤佳ナルモ芳香美味ニ乏シク絶ヘテ優等品ヲ認メス

岡山縣　本縣ノ出品ハ人員七十九名點數百〇五授賞者二十五名ニシテ出品人員ニ對スル二割九分ニ相

滋賀縣　本縣ノ出品ハ人員百十四名點數百十五授賞者二十四名ニシテ出品人員ニ對スル二割一分ニ相當セリ而シテ其品質ハ概シテ色澤稍不良ニシテ甘味若クハ苦味強ク辛味缺乏シテ香味劣リ絶ヘテ優等品ヲ認メス

當セリ而シテ其品質ハ概シテ色澤香味共ニ稍佳ナルモ絶ヘテ優等品ヲ認メス

廣島縣　本縣ノ出品ハ人員百十九名點數百三十八授賞者四十一名ニシテ出品人員ニ對スル三割四分ニ達ス而シテ其品質ハ概シテ色澤秀絶香味共ニ佳良ナリ就中賀茂郡廣島市ノ出品ニ優等品數點ヲ認メタリ他ノ郡部ノモノハ概シテ色澤佳ナルモ芳香ニ乏シク澁苦ノ二味稍強キヲ感セリ

山口縣　本縣ノ出品ハ人員百四十七名點數百五十八授賞者二十五名ニシテ出品人員ニ對スル一割八分ニ當レリ而シテ其品質ハ概シテ色澤良キモ芳香美味ニ乏シク絶ヘテ優等品ヲ認メス

和歌山縣　本縣ノ出品ハ人員四十六名點數五十六授賞者十二名ニシテ出品人員ニ對シ二割六分ニ相當ス而シテ其品質ハ概シテ色澤良キモ芳香ニ乏シク苦味稍強ク優等ト認ムルモノ僅ニ一二點ニ過ス

德島縣　本縣ノ出品ハ人員九十二名點數百十五授賞十七名ニシテ出品人員ニ對シ一割八分ニ當レリ而シテ其品質ハ概シテ色澤香味共ニ佳ナラス殊ニ甘味強ク絶ヘテ優等品ヲ認メス

香川縣　本縣ノ出品ハ人員百名點數百五十四授賞者十八名ニシテ出品人ニ對スル一割八分ニ當レリ而シテ其品質ハ概シテ色澤良キモ香味佳ナラサルモノ多ク絶ヘテ優等品ヲ認メス

愛媛縣　本縣ノ出品ハ人員百〇四名點數百二十九授賞者二十二名ニシテ出品人員ニ對スル二割二分トス而シテ其品質ハ概シテ色澤良キモ香氣佳ナラス風味酖意稍強ク稍優等ノモノ僅ニ二三點ヲ認メリ

高知縣　本縣ノ出品ハ人員八十一名點數百三十一授賞者二十一名ニシテ出品人員ニ對スル二割六分ニ當レリ而シテ其品質ハ概シテ色澤稍佳ナルモ芳香ニ乏シク甘味稍強ク所謂酖意地強ク絶ヘテ優等品ヲ認メス

三重縣　本縣ノ出品ハ人員百四十四名點數百六十實ニ出品數ニ於テ各府縣中ノ第一位ヲ占メ授賞者亦四十三名ノ多キニ達シ出品人員ニ對シ三割ニ當レリ而シテ其品質ハ概シテ色澤香味共ニ佳良ナルモノ多キモ優等品ト認ムルモノ僅ニ數點ニ過キス

各府縣ニ於ケル出品清酒ノ品質ハ右叙述セル如ク固ヨリ優劣等差アリト雖モ概シテ佳良ニシテ殊ニ各府縣ヲ通シテ其色澤ノ頗ル稀薄鮮麗ナルハ是レ大ニ原料ヲ精撰シ釀造上改良ヲ加ヘタル苦心ノ蹟ヲ域スルモフト謂フ可シ然レトモ其事業ノ狀況ニ至リテハ假令一二主産地ノ製産高ノ巨額ナルモノアルモ概シテ其規模小サク設備完カラス尚依然トシテ舊習ヲ墨守シ所謂家庭的ノ經營ヲ爲シツヽアルヲ遺憾トス當業者宜シク時勢ノ進運ニ鑑ミテ之ガ改良進歩ノ方針ヲ單ニ品質ノ一局部ニ止メス尚進ンテ規模ヲ擴張シ設備ヲ完フシ以テ技術上ノ改善貯藏ノ安全、工費ノ省減等ヲ圖リ能ク斯業ヲシテ眞ノ工業的組織ノ域ニ到ラシメンコトニ勗ムベシ

又各府縣ノ出品中多少トモ變質シタルモノアリ就中其變質品ノ稍多數アリシハ高知、德島、香川、愛媛、岡山、富山、滋賀ノ諸縣ニシテ石川、福井、岐阜、鳥取、島根、奈良、山口諸縣モ亦變質シタルモノ尠カラス想フニ是レ清酒ノ處理法即チ加熱殺菌、滓引、壜洗、等ノ不完全ニ歸因スルカ如シ爾今

大ニ出品者ノ注意ヲ要ス

出品容器ハ水色器械口壜或ハ水色又ハ黒色「キルク」口壜若クハ黒色細長「キルク」口壜等ヲ多シト

ス殊ニ二縣一組合ノ出品ニ同一ノ容器ヲ用ヘタル如キハ出品者ノ注意ヲ觀ルニ足レリ

今回ノ審査方法ハ最モ公平ナル良果ヲ得ンコトヲ期シ且再審査ノ煩累ヲ避クルカ爲メニ其審査品ヲ各

府縣別ト爲シ各暗號ヲ附シテ毎回十點乃至三十餘點ヲ唎猪口ニ移シテ並列シ先ツ審査官審査員合議ノ

上ニ一ノ標準品ヲ設定シヲ之カ品質ヲ鑑定シテ附點シ然ル後各審査品ヲ審査員各自ニ鑑定附點セシメ

又毎回審査官モ一々鑑定附點シ而シテ各審査員ノ附點ヲ其暗號ニ應シテ合算平均シ若シ同一品ニ對シ

審査員ノ附點五點已上ノ差アルトキハ審査官ノ平均附點ニ依リテ之ヲ整算シ以テ各審査品ノ平均附點

ヲ確定セリ

擬賞ハ各出品ノ審査平均點ヲ基礎トシ尚事業ノ狀況、製産高及事業上ノ効績等ヲ參酌シテ其優劣等級

ヲ決定シタリ

第三十類　醬油（溜ヲ含ム）

審査官　高野醇治

税關鑑定官　西川麻五郎

今回出陳セル醬油及溜ノ總數ハ千八百四十三點其人員千二百七十七名ニシテ內醬油千五百三十二點溜

三百十一點ナリトス之ヲ前回ノ出陳總數千百二十九分餘人員ニ於テ六割三分餘ヲ增加セリ而シテ其出

點ニ達セリ最モ少ナキハ高知縣ニシテ其數僅カニ一點ノミナリトス

審査ノ成蹟ニ依リ賞格ニ入ルヽモノ實ニ三百五十二名ニシテ出品者ノ二割八分ニ當レリ之ヲ前回ノ出

品者ニ對スル賞ノ比例一割五分ニ比スレハ正ニ一割三分ノ增加ヲ示セリ是レ固ヨリ出品數人員及擬賞

ノ多寡ヲ以テ事業ノ盛衰ヲトスルコト能ハサレドモ右ノ成蹟ニ依リ前回ニ比スレハ斯業ノ進歩セル一

證ト爲スニ足ラン今之ヲ細別スレハ一等金牌六名ニシテ內醬油五名溜一名、二等銀牌三十名ニシテ內

醬油二十名溜十名、三等銅牌六十名ニシテ內醬油四十五名溜十五名、四等褒狀二百五十六名ニシテ內

醬油二百七名溜四十九名ナリトス

今左ニ各府縣出品總點數、人員及受賞數ヲ掲ク

府縣名	出品點數	出品人員	受賞者數					出品者に對する受賞者比例
			一等賞	二等賞	三等賞	褒狀一合	計	
京都	七五	二〇	一	一	一	二	四〇	
大阪	二六	九二	一	一	二	一	四五	
兵庫	一二三		二	五	六	二三	三五	三八

	合三	高愛	香德	和山	廣岡	島鳥	宮宿	石廟	岐滋	靜愛	奈
					歌						
計	重	知媛	川島	山口	島山	根取	山川	井阜	賀岡	知良	
一八四三	〇一一	四八九	五六一	七一九	一五三	一二〇	三四二	五三〇	九一一	四四	
一二七七	四一一	二九三	四五五	九六二	六一一	一二四	三一五	五三〇	二四三	三五	
六一	一		一			一				一	
三〇四		五	三	一	一	一		一		四四	
六〇六	三七	一四	三三	二一	一一	一一	三	三二	三六	一	
二五六	三一	四八	一一	七二	九七	三五	一五	五〇	五	七	
三五二	四三	一九	一二	六三	二八	四六	二一	九二	二五	八	三百二十六
一二八九	〇一二	二〇八	三二	三四	二〇三	四〇九	二三八	三二二	四〇六	五三	

今右ノ府縣別ニ依リ概評スレハ左ノ如シ

京都府　本府ノ出品者ハ五名ニシテ其點數僅カニ七ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ二名即チ其人員ニ對シ四割ニ該當セリ今回出品セルモノハ穩シテ其品質稍々佳良ナルモ其香氣ノ不良ナルハ觸點トス

大阪府　本府ノ出品者ハ二十名ニシテ其點數二十六ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ九名即チ其人員ニ對シ四割五分ニ該當セリ今回出品セルモノハ中香味色澤共ニ佳良ニシテ且ツ製産高多量ナルモノ故ヲ以テ一等賞ヲ得タルモノ堺市ニ河盛文三郎アリ其他佳良ナルモノ亦少カラス

兵庫縣　本縣ノ出品者ハ九十二名ニシテ其點數百二十ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ二十五名即チ其人員ニ對シ三割ニ該當セリ本縣ハ所謂龍野醬油ノ主産地ニシテ品質佳良ナルモノ少ナカラス就中龍野ノ菊一醬油醸造合資會社製品ノ如キハ香味色澤共ニ佳良ニシテ且ツ製産高多量ナルヲ故ヲ以テ一等賞ヲ得タリ

奈良縣　本縣ノ出品者ハ二十三名ニシテ其點數四十四ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ八名即チ其人員ニ對シ三割五分ニ該當セリト雖モ多クハ疲肌ト稱スル今回出品セルモノハ其品質概シテ優等ナラス殊ニ香氣ノ不良ナルハ大ニ注意ヲ要ス

愛知縣　本縣ノ出品者ハ七十二名ニシテ其點數百十九内外百九十五ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ二

醬油

十六名即チ其人員ニ對シ三割六分ニ該當セリ本縣ハ溜ノ主産地トシテ有名ニシテ其品質佳良ナルモノ亦タ少カラス今回一等賞ヲ得タル小栗合資會社、二等賞ヲ得タル山内合資會社ノ如キハ夙ニ改良ニ熱心シ其醸造法ニ機械力ヲ應用シ大ニ事業ノ發展ヲ圖レリ斯業界ニ這般ノ設備ヲ爲シ以テ醸造スルハ將來益々必要ナラン

靜岡縣　本縣ノ出品者ハ三十名ニシテ其數三十一點内溜一點ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ十二名即チ其人員ニ對シ四割ニ該當セリ本縣ハ近來斯業大ニ發展シ其品質佳良ナルモノ多シ尚ホ將來益々其醸造法ノ改良ニ留意セハ蓋シ有望ナル産地タルベシ

滋賀縣　本縣ノ出品者ハ五十三名ニシテ其點數五十九ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ十二名即チ其人員ニ對シ二割三分ニ該當セリ今回出品スルモノハ總シテ辛味ニ過キ色澤不良ニシテ優等品ヲ認メス

岐阜縣　本縣ノ出品者ハ二十六名ニシテ其點數四十内溜三十一ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ九名即チ其人員ニ對シ三割一分ニ該當セリ本縣ノ溜ハ其品質概シテ佳良ナレトモ愛知三重ノ製品ニ及ハス

福井縣　本縣ノ出品者ハ二十四名ニシテ其點數三十二ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ八名即チ其人員ニ對シ三割三分ニ該當セリ今回出品セルモノハ概シテ品質佳良ナレトモ甘味ニ過キタルモノ多キハ缺點トスル所ナリ

石川縣　本縣ノ出品者ハ四十三名ニシテ其點數五十ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ十二名即チ其人員ニ對シ二割八分ニ該當セリ今回出品セルモノハ概シテ辛味ニ過キ色澤香味佳良ナラスシテ優等品ヲ認メス

富山縣　本縣ノ出品者ハ二十一名ニシテ其點數二十二ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ六名即チ其人員ニ對シ二割九分ニ該當セリ今回出品セルモノ、中其品質稍々佳良ナルモノアリタレトモ概シテ香氣不良ナルハ點缺トスル所ナリ

澤一樣ニシテ優等品ヲ認メス

鳥取縣　本縣ノ出品者ハ十名ニシテ其點數十ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ四名即チ其人員ニ對シ四割ニ該當セリ今回出品セルモノ、中品質稍々佳良ナルモノアリタレドモ概シテ香氣不良ナルハ點缺トスル所ナリ

島根縣　本縣ノ出品者ハ二十五名ニシテ其點數三十四ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ八名即チ其人員ニ對シ三割二分ニ該當セリ今回出品セルモノハ概シテ其品質中等品多ク香味色澤ニ於テ優等ナルモノヲ見ス

岡山縣　本縣ノ出品者ハ百十一名ニシテ其點數百五十一ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ二十二名即チ其人員ニ對シ二割ニ該當セリ本縣ハ關西ニ於テ兵庫縣ニ次キ斯業ノ盛況ヲ呈シ其製品ニ於テモ品質佳良ナルモノアリト雖モ概シテ香氣不良ナルモノ多キハ缺點トスル所ナリ

廣島縣　本縣ノ出品者ハ六十六名ニシテ其點數八十九ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ十六名即チ其人

員ニ對シ二割四分ニ該當セリ今回出品セルモノハ岡山縣ト同シク品質佳良ナルモノアリタリト雖モ概シテ香氣不良ナリ

山口縣　本縣ノ出品者ハ九十一名ニシテ其點數百十一ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ二十一名即チ其人員ニ對シ二割三分ニ該當セリ今回出品セルモノハ中香味色澤共ニ優等ナルモノアリタレトモ多クハ其品質中等品ニシテ殊ニ香氣不良ナリ

和歌山縣　本縣ノ出品者ハ五十五名ニシテ其點數七十六ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ十九名即チ三割五分ニ該當セリ本縣ノ醬油ハ其品質佳良ナルモノ勘カラス就中今回一等賞ヲ得タル久保瀬七ハ其製品ニ於ケル品質佳良ナルノミナラス製産額亦多量ナルカ故ナリ然レドモ當縣ノ醬油ハ概シテ辛味強キハ缺點トスル所ナリ

德島縣　本縣ノ出品者ハ四十五名ニシテ其點數五十八ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ九名即チ其人員ニ對シ二割ニ該當セリ今回出品セルモノハ概シテ香味色澤共ニ不良ニシテ優等品ヲ認メス

香川縣　本縣ノ出品者ハ二百九十三名ニシテ其點數四百八十九ニ達セリ而シテ賞格ニ入リタルモノ六十一名即チ其人員ニ對シ二割一分ニ該當セリ本縣ハ四國ニ於ケル醬油ノ主産地ナルノミナラス其盛況ナルコトハ醬油ヲ以テ有名ナル千葉縣ニ次ク殊ニ小豆郡ハ其最モ盛況ヲ呈シ從テ品質優等ナルモノ勘シトセス今回一等賞ヲ得タル島醬油製造株式會社製品ノ如キハ其品質關東醬油ノ良品ト相比敵シ色澤香味佳良ナリ尚ホ將來益々改良ヲ加フルトキハ大ニ名聲ヲ博スルコトヲ得ンカ

愛媛縣　本縣ノ出品者ハ二十四名ニシテ其點數四十一ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ九名即チ其人員ニ對シ三割八分ニ該當セリ今回出品セルモノハ概シテ其色澤香氣佳良ナレトモ辛味強キハ缺點トナル所ナリ

高知縣　本縣ノ出品者ハ一名ニシテ點數僅カニ一點ナリ今回出品中最モ少數ナルハ本縣ニ於ケル醬油ノ品質ヲ概評スルニ由ナケレドモ蓋シ佳良ナルモノ稀ナラン

三重縣　本縣ノ出品者ハ百四十七名ニシテ其點數二百三十四ナリ而シテ賞格ニ入リタルモノ四十三名即チ其人員ニ對シ二割九分ニ該當セリ本縣ハ溜ノ主産地ニシテ其品質佳良ナルモノ勘シトセス今回一等賞ヲ得タル伊藤小左衞門ノ如キハ夙ニ改良ニ熱心シ常ニ學術的研究ニ怠ラス大ニ醸造法ヲ改良シ又機械力ヲ應用シテ事業ノ發展ヲ圖リ普ニ自家製品ノ進歩セルノミナラス斯業界ノ模範トナリ他醸造家ヲ益スルコト大ナリト謂フベシ

右ニ概說セルカ如ク各府縣出品醬油ノ品質ハ固ヨリ優劣等差アリト雖モ漸次進歩シツヽアルハ疑ナシ是レ原料ノ精撰醸造法ノ改良ニ基因シタル結果ニ外ナラス然レトモ醬油ハ清酒ニ比シ其醸造法ノ容易ナルト且ツ腐敗等ノ如キ危險ノ度甚タ少キヲ以テ熱心ニ研究スルモノ甚タ少ナク常ニ姑息ニ安スルノ傾向ヲ有シ爲メニ著シキ進歩ヲ呈セサルカ如シ是レ甚タ遺憾トスル所ナリ加之本邦固有ノ工業殊ニ醬

油醸造業ハ多クハ所謂家庭的ニシテ規模少ナリ從テ設備全カラサルカ爲メ製品ノ改良ハ甚タ困難ナラン宜シク會社組織ト爲シ大ニ機械力ヲ應用シ規模大ニ設備完全ニシテ醸造セハ生産費ヲ製出スルヤ難キニアラサルナリ近來此種ノ會社漸次勃興セントスルハ大ニ賀スヘキ現象ナリトス

今回出品ノ容器ハ何レモ玻璃瓶詰ニシテ一組合ノ出品ニハ一定ノ形狀ニナシタルモノ多キハ頗ル用意周到ナルカ如キ觀アレトモ其瓶詰法不完全ナルト木栓ノ粗惡ナルモノ往々アリ爲メニ審査ノ際徽ヲ生シタルモノアルヲ見タルハ甚タ遺憾トス將來大ニ注意ヲ要スヘキナリ又往々混濁ヲ生シ爲メニ品質ヲ損スルニ至ラシメタルモノアルヲ見タリ是レ全ク漉過法ノ不完全ニ基因スルモノナラン故ニ將來完全ナル漉過機ヲ使用スルノ必要アラン審査ノ方法ニ關シテハ清酒ノ相同シキヲ以テ茲ニ贅セス

第三十一類　砂糖

審査官　糖業改良事務局技師　中村　留二
　　農事試驗場技手　鹽崎　成勇

關西府縣聯合共進會ニ於テ砂糖ノ出品アルハ今回ヲ以テ始メトス茲ニ先ツ此ノ聯合府縣ノ砂糖生産上如何ナル位置ヲ占ムルヤヲ序シテ其眞相ヲ明ニセントス

第九回關西府縣聯合共進會ニ參加セル二府二十縣ノ中現今猶ホ甘蔗ヲ栽培シテ砂糖ヲ製造スルハ大阪兵庫、奈良、愛知、靜岡、三重、岡山、廣島、和歌山、德島、香川、愛媛、高知ノ一府十二縣ナリトス而シテ今回ノ共進會ニ砂糖ノ出品アリシハ大阪、愛知、靜岡、三重、德島、香川、愛媛、高知ノ一府七縣ノミ惟フニ現ニ砂糖ヲ製造セルニ拘ハラス其出品ヲナサヾリシ諸縣ハ品質非常ニ劣惡ナルカ或ハ產額非常ニ僅少ニシテ到底之ヲ商品トシテ市場ニ輸スコトハ能ハサルノ有樣ナルニヨルナラン果シテ然リトセハ我本州及四國方面ノ砂糖業ハ近時益々退縮セシモト云フベシ

翻リテ稽フルニ我帝國砂糖產地ハ維新以前ニアリテハ廣ク各國各郡ニ行ハレタルコト今日ノ比ニ非サリシナリ然ルニ維新以後廉價ニシテ優質ナル砂糖ハ盛ニ外國ヨリ輸入セラレ漸次我國ノ糖業ハ萎靡振ハサルニ至レリ是レ蓋シ甘蔗ハ酷熱多濕ノ氣候ヲ好ムモノニシテ我本州及四國ノ如キ北緯三十五度ヲ上下スル高緯度ノ地ニ於テ本作物ヲ栽培スルハ之ヲ好境ニ於テスルモノト稱スルヲ得ス從ツテ其收量ノ僅少ト品質ノ劣惡トヲ致シ海外熱帶ノ地ニ產スルモノト拮抗スルコト能ハサルニ據ルナリ

今左ニ嘗テ各地稅務監督局ニ徵シテ得タル砂糖消費稅徵收ノタメ查定セル內地產砂糖額ヲ表示シテ本聯合共進會ノ聯合府縣ハ砂糖生產上如何ナル地位ヲ占ムルカヲ示サントス

第三十類　砂糖

糖業區域	明治三十五年度	明治三十六年度	明治三十七年度	三箇年平均	百分率
本州	三四三〇四八六斤	二〇八一九六三斤	一六七八一二五斤	二三九六八五八斤	二・五
南海	一七〇八四一二七	一三〇九二九五四	八六三〇七三二	一三九三九三二	一五・四

九州南洋計	一〇一九六〇三八	九五九四七三三	四二四九一四六	八〇一三三〇二
	五一五七二四九五	七九九七八二三四	五四〇三六五九六	六二八六二四三六
	八三八三一三六	一〇四七四七八六四	六八五九四五九三	八五三〇八五二七
				三百三十四
				九五
				七二六
				一〇〇・〇

備考　年度ハ會計年度ニ依ル一斤ハ百六十匁也

前表ニ於ケル糖業區域ハ左ノ如シ

糖業區域	縣名					
本州區	靜岡	愛知	三重	奈良	大阪	廣島	岡山
南海區	和歌山	兵庫(淡路)	德島	香川	高知	愛媛	
九州區	福岡	佐賀	大分	熊本	長崎	宮崎	鹿兒島(大島郡以外)
南洋區	東京府小笠原島	鹿兒島縣大島	沖繩				

前揭ノ統計ニ據レハ我國ノ砂糖總產額ハ一箇年八千五百萬斤內外ニシテ國民全消費額ノ五億斤ト稱スルモノニ比セバ其六分ノ一ヲモ供給シ得サルナリ特ニ本州、南海兩區ノ供給スル所ハ其三十分ノ一ニ當ルノミ然レトモ比較的面積狹少ナル四國島ハ九州島ニ比シテ多額ノ砂糖ヲ產スルハ舊時ニ於テ極力奬勵ヲ加ヘラレタル讃岐砂糖業者ノ今猶ホ其業ニ精勵スルニ據ルナラン

猶左ニ聯合各府縣ノ砂糖產額ヲ示シテ各縣縣相互間關係ノアル所ヲ示サン

	三十五年度		三十六年度		三十七年度		前三年平均		三年平均產額ノ順序	
靜岡	一四三四八二三	斤	九〇五一四九	斤	五九六八七三	斤	九七八九四八	斤	五	
愛知	二一二三五五		一七七九八九		九五〇二六		一六一七五七		八	
三重	三一六一		二九〇五		一〇三〇九		五四二五		十三	
奈良	一一七三三		一七七二		一九三		五四三三		十二	
大阪	一〇八二七八		六〇五六八三		七六七五五		八二七三九		六	
廣島	二七三六八〇		六六五二四		三九五二一		一二六二四二		十一	
岡山	三八六七六七		三二一九四一		一六六八八〇		二九一八六三		七	
和歌山	二九二四四八		六五一九五		九七四四五		一五二六八九		九	
兵庫	一二七四八一		三〇九二四三		九九四三		一四八八九		十	
德島	二二六五八一九		一八二七〇二六		一二六六五三〇		一七八六四五八		二	
香川	一一五七三五〇		八九五一四七四		五六六四三七八		八七三一〇六七		一	
高知	一一五九一九		一〇三四八二四		六四六八五七		一〇〇九八六七		四	
愛媛	一四八二〇七四		一一〇九八一九		九五四二四四		一一五三七九		三	

前表ニ據レハ各縣トモ年ト共ニ產額ヲ減スルノ狀態ヲ呈セリ而シテ香川縣ハ他縣ニ超ヘ多量ノ砂糖ヲ產出シ德島、愛媛、高知、靜岡、大阪等順次相次ギ急下シテ岡山愛知等トナレリ之ヲ要スルニ四國四縣及靜岡大阪ハ聯合諸縣中比較的多量ノ砂糖ヲ產シ香川縣ヲ以テ最モ多量ナリトス

今回ノ共進會ニ出品セル砂糖ハ黒砂糖、赤砂糖白下地糖、押砂糖、三盆砂糖、氷砂糖及成形糖ナリトス玆ニ成形糖ト稱スルハ、四國諸縣ニ於テ從來製造スル所ノ霰砂糖、棒砂糖、玉砂糖ノ如キヲ總稱シルモノニシテ寧ロ菓子トシテ見ルヘキモノナルモ本共進會ニハ菓子ノ部門ナキヲ以テ便宜上當部ニテ審査セリ左ニ府縣別砂糖出品數ヲ示ス

府縣名	黒砂糖	赤砂糖	白下地種	押砂糖	三盆糖	氷砂糖	成形糖	計
大阪			七			一五		二二
愛知	四		一			二		七
靜岡	一		一三					一四
三重	七				一三		二	二六
德島	二		三	六	一		四	三〇五
香川			二七六	二四				三三
愛媛			三三					七二
高知	一一	一	二二	三八	一四	一七	六	四八六
計	二五	一	三五五	六八				

現品ノ審査ハ黒砂糖、赤砂糖、押砂糖三盆砂糖ニアリテハ直ニ食用ニ供スルモノトシテ其適否ヲ審査シ白下地糖ニアリテハ由來コノ砂糖ハ押物及三盆砂糖ノ原料ニ供スルヲ目的トスルモノナルニ現時ノ

狀況ニテハ寧ロ直接消費ズルノ場合多キヲ以テ重キヲ直接消費ニ置キ乘ネテ押物及三盆砂糖ノ原料トシテノ適否如何ヲ審査セリ審査ノ項目ハ知覺審査、分析審査、商品審査トス其方法次ニ記スル所ノ如シ

知覺審査　觸官臭官味官視官ノ知覺ニ訴ヘテ審査ヲ行フ其法砂糖ノ適量ヲ白色無地ノ磁製平皿ニ採リ指頭ヲ以テ壓シ且ツ抹シテ水分蜜分ノ多少結晶粒子ノ大小ヲ察ス(以上觸官)次ニ少許ヲ鼻孔ニ致シ嫌ハスヘキ臭氣ノ有無ヲ檢ス(以上臭官)次ニ舌上ニ致シテ異味ノ有無ヲ檢ス(以上味官)次ニ肉眼ヲ以テ色澤ヲ察ス(以上視官)結局密分及水分少ク臭氣ナク異味ナク色澤良好ナルベキハ黒砂糖、赤砂糖、白下糖押物、三盆砂糖成形糖ヲ通シテ有スヘキ良點トシ結晶粒子ハ黒砂糖、赤砂糖ニ於テハ其大少ニ重キヲ置カス白下糖及押物ニアリテハ堅實ニシテテハ結晶整正ニシテ大小適度ヲ得純白ナルヲ良品トス

分析審査　分析事項大略次ノ如シ

イ、蔗糖ノ定量　　ロ、葡萄糖ノ定量

ハ、鹽類ノ定量　　ニ、水分ノ定量

ホ、糖類以外ノ有機物ノ定量　　ヘ、水ニ不溶解ナル物質ノ定量

蔗糖及葡萄糖ノ定量法ハ一八九六年シヨルヴァイン氏及クルーゲル兩氏ニヨリテ發表セラレタル方法ヲ

採用セリ三十九年十二月發行農與會々報第七十四號ニ其ノ記事アリ

商品的審査　知覺審査及分析審査ノ成績ヲ參照シ砂糖ノ貯藏性、運搬性、減耗性、需用性、價格等ノ上ヨリ市場ニ於テ占ムベキ地位如何ヲ審査ス

審査ハ四月二十日ニ開始シ四月三十日ニ結了セリ審査ノ結果九十名ヲ撰拔シテ擬賞セリ今授賞縣別表ヲ掲レバ左ノ如シ

府縣名	總出品人員	擬賞 一等	擬賞 二等	擬賞 三等	擬賞人員 四等	擬賞人員 計	出品人員百ニツキ授賞者數
大阪	一四			二	二	五	三六
靜岡	一三			一	三	三	二三
愛知	五				一	一	二〇
三重	七						〇
德島	二四			四	四	八	三三
愛媛	三三		一	二	六	九	二七
香川	二八六	一	二	三	三九	四五	一六
高知	五九	一	二	二	一四	一九	三四
計	四四一	二	六	一三	六九	九〇	二〇

由來良好ナル砂糖ハ善良ナル甘蔗ヲ原料トシ之ニ適法ノ煎練ヲ加フルヲ要ス今回出品ノ砂糖ハ甘蔗ノ生育ニ對シ到底不充分ナル氣候ヲ有スル方面ノ産ナルヲ以テ理想的良好ナル砂糖ヲ製出シ得サリシハ素ヨリ其所ニシテ聯合諸縣中比較的溫暖ナル氣候ヲ有スル高知縣ノモノヲ除クノ外ハ甚タ良好ナリト云フヲ得ス然レトモ其外觀ト成分ニ重キヲ措カス單ニ一種ノ甘味材料トシテ採ルトキハ決シテ排斥スベキモノニハ非ルナリ

左ニ各種砂糖ニツキ縣別ニ批評スル所アルベシ

黒砂糖ハ愛知、靜岡、三重、德島、高知ノ五縣ヨリ出品セリ高知縣ノモノヲ除キ其他ノ出品ハ總ベテ水分多ク耐久性ヲ缺ク是レ蓋シ氣候要素ノ不足ハ原料甘蔗ノ發育ヲ完全ナラサラシムルニ據ルナリ赤砂糖ハ高知縣ヨリ一點ノ出品アルノミ緩慢不完全ナル和式再製法ハ到底迅速完全ナル洋式再製法ニ及ハサルモノナルヲ以テ其目的白砂糖原料ナル白下地糖ヲ作ランヨリハ寧ロ直接消費砂糖ヲ作ルノ優レルモノアラン當業者ノ一考ヲ要ス（茲ニ赤砂糖ト稱スルハ本邦固有ノ赤砂糖ナリ）

白下地糖ハ三重縣ヲ除キ其ノ他ノ諸府縣ハ皆出品セリ其最モ多數ナルハ香川縣ニシテ色澤香味ニ於テハ缺點ナキモ蜜濕ニ富ミ耐久性ヲ缺ク蓋シ風土ノ影響ニシテ免レ能ハサル所ナラン良品ハ大川郡ニ多ク（特ニ相生村、鶴羽村、津田村、富田村）木田郡ノモノ之ニ次キ其他ノ諸郡ハ皆不良ナリ愛媛縣ノ白下ハ香川縣ノモノト伯仲ノ間ニアリ德島縣ノモノハ蜜多ク下等ナリ高知縣ノ白下ハ良品ニ富ム其他ノ諸縣ハ總テ良品ニ乏シ

第三十一類　砂糖

押物（一度乃至二度半押）ハ德島、高知、香川ノ三縣ヨリ出品セリ良品ハ高知縣ニアリ蓋シ原料白下糖ノ優等ナルニ據ルナラン德島縣亦良品アリ香川縣ノモノハ光澤ナク見ルヘキナシ三盆砂糖ハ德島、香川ノ二縣ヨリ出品セリ皆固有ノ特徴ヲ具備ス德島縣ノモノ特ニ良好ナリ氷砂糖ハ大阪府及愛知縣ヨリ出品セリ良品多シ成形糖ハ德島、香川兩縣ヨリ出品セリ特ニ稱用スヘキ美點ヲ發見セズ

第三十二類　食用鑵詰

審査官　農商務技師　枩　川　溫

本類ノ出品點數ハ六百三十九點ニシテ出品人員ハ二百二十六名ニ達セリ其府縣別及授賞數ハ左ノ如シ

府縣	出品人員	出品點數	授賞數 一等	二等	三等	四等	計
京都	一〇	二四					
大阪	一〇	四〇					
兵庫	一八	六一	一				一
愛知	二八	六四		一	一		二
靜岡	一三	一三				一	一
滋賀	七	一九					
岐阜	一一	二六					
福井	一二	二七					
富山	一七	三一					
鳥取	三	一二					
島根	一〇	三八					
岡山	一三	三五					
廣島	八	三五					
山口	七	一八					
德島	六	一〇					
香川	七	一八					
愛媛	五	一九					
高知	三	八					
三重	三九	一一一	二				二
計	二二六	六三九	二	一	一	一	五

而シテ之ヲ審査鑑別スルハ左ノ項目ニ因レリ

一容器外裝

鑵材ノ良否製鑵ノ巧拙裝飾ノ善惡ヲ鑑別スルコト

二内容物原料

原料ノ良否調味ノ精粗ヲ鑑別スルコト

三充塡

内容物裁割ノ適否容量ノ多少形色ノ善惡ヲ鑑別スルコト

四貯藏

加熱ノ適度貯藏時間ノ長短ニ因ル變味變色ノ徴候ヲ鑑別スルコト

五販賣

販路ノ廣狹將來ニ於ケル需用ノ見込

本會ノ聯合府縣ハ食用罐詰類製産地ノ樞要ニ位シ其區域ニハ設備ヲ整ヘ新式ノ機械ヲ有スル專業者ヲ包容スルヲ以テ自下時好ニ適スル種々ノ罐詰類ハ多ク此區域内ヨリ産出セリ是ヲ以テ本會ノ出品ハ必ズ有望ナル製品ヲ多數ニ陳列シテ罐詰業ノ大勢ヲ表示スルニ足ル可ヲ豫想セシニ實際ニ臨ンテハ出品ノ少數ノミナラス製品ノ種類甚タ雜駁ニシテ一時好奇的ノ製品ト思料スルモノ多シ如斯意想外ノ現象ハ昨年來各工場ニテ製造ヲ手控セシ結果ニシテ其手控セシ原因ハ他ナシ日露戰後ニハ專ラ罐詰類ヲ軍資ニ充テ本邦罐詰業開始以來大數ノ罐詰ヲ一朝ニ製出シテ軍需ニ應セシニ平和克復ニ際シテ多數ノ剩餘ヲ生セシヲ以テ昨年是等ノ剩餘品ハ時々賣却セラレ其價ノ低廉ナルコト普通賣價ノ殆ント三分一ニ過キス低廉ナル罐詰ハ一時ニ市場ニ堆積セラレ容易ニ賣盡スコト能ハス製造者ノ平生製造スル罐詰ノ如キ爲ニ之ニ壓倒セラレ何レモ製造ヲ中止スルノ止ムヲ得サルニ至レリ是レ本會ニ於ケル出品ノ少數ナル主要ノ原因ナラン

近年罐詰類ノ南清地方布哇其他南洋米國太平洋沿岸ニ向フテ輸出シ就中布哇ヘハ多數ノ輸出ヲナセシニ近年出稼人ノ減少ト共ニ輸出額モ亦減少シ加之ナラス布哇ハ米國ノ支配ヲ受クルニ至テ課稅ノ酷ナル爲メ輸出上幾分カ影響ヲ蒙リ只蛸貝類蒲鉾ノ如キモノ尙ホ多ク輸出スルノミ殊ニ昨今蒲鉾罐詰ノ輸出ハ日ヲ追フテ增加シツヽアリ是等ハ輸出品ノ名アルモ其實ハ多ク本邦出稼人ノ需要ニ止マリ歐米人ノ嗜好品トシテ未タ多數ノ輸出ナキハ實ニ遺憾ノ至リニ堪ヘス只鮑水煮ハ淸國ヘノ輸出益々盛ニシテ殆ント其需要ニ應スルコト能ハサルノ狀況ナリ又前途多望ト認ムルモノハ鰮油漬ニシテ本邦ニ於テハ創業日淺キモ愛知三重ノ二縣ニハ之カ爲メ一ツノ會社ヲ設立シテ專ラ製造販賣ニ從事セルヲ以テ近キ將來ニ於テハ必ス其ノ効果ヲ顯ハスニ至ルヘシ要スルニ目下本邦ノ罐詰業ハ小規模ニシテ一區域内ニ多數分立シ一工場ノ産額ハ極メテ少ナク且ツ分立ノ弊ハ製品區々ニシテ到底大數ノ需要ニ應スルコト能ハサルハ歐米罐詰業ノ大勢ヲ知ルモノヽ常ニ遺憾トスルトコロナリ將來罐詰業ノ發展ヲ望マハ多數孤立ノ小製造所ヲ合併セシメテ經濟ノ整理ヲナシ完全ナル工場ヲ要處ニ配置シ製産力ヲ增シ好奇的ノ製造ヲ捐テ内外ノ嗜好ヲ考ヘ最モ需用ノ多キ製品ヲ産出シ成ルベク手工的小製造ヲ廢シテ機械的大製造

ヲナス ニ在リ世人ハ現今ノ罐詰製造ヲ看テ個人的ノ內職ノ如キ考ヲナシ其業體ニ重キヲ置カス製造者モ亦自ラ之ヲ輕視シタニ起業ニシ旦ニ廢止スル如キ洵ニ輕卒ノ擧動ヲナスモノアリ是ヲ以テ大資本ヲ投シテ經營セント欲スルモノモ勢ヒ躊躇シ遂ニ今日ノ如ク遲々トシテ發展スルコト能ハサルハ痛歎ニ堪ヘサルコトロニシテ茲ニ目下罐詰業ノ狀態ヲ述ヘテ審査報告ノ前提トス

本會ノ出品六百三十九點ノ中水產物即チ魚貝類ノ罐詰ハ過半ニ達シ其次ハ果物蔬菜鳥獸雜品ニシテ此各種類ニツキ品評ヲ加フレハ左ノ如シ

水產物ノ罐詰中ニ於テ鮑水煮榮螺味付蛤時雨煮最モ多數ニシテ鮑水煮ハ昨今清國ノ輸出頗ル盛ナリ從來乾鮑ニ製セシモノモ多クハ罐詰トナスニ至リ一磅型丸罐ニ正味容量七十匁內外ニテ鮑ノ四個乃至五個入位ヲ適當トス此回ノ出品モ亦其製法此規範ヲ脫セス容量ハ充分ニシテ比較的良品多シ只タ洗滌ノ不充分ナル爲メ液汁ノ渾濁セシモノアリ是等ハ最モ改ムヘキトコロナリ

榮螺ノ味付ヲ主トシ專ラ布哇等ニ輸出スル本邦出稼地ノ輸出物トシテ有望ナルモノナリ此回ノ出品モ量容充分ニシテ大粒ノモノヲ用ヒ品質調味概シテ良好ナリ或ハ切割リタルモノアリ是等ハ時好ニ適セス注意ヲ要ス

蛤時雨煮ハ伊勢桑名ノ名產トシテ夙ニ名聲嘖々タリシモ從來時雨煮ハ東京ノ煮佃ト其趣ヲ同フシ強ク煮詰メタル結果動モスレハ煎焦セシムルノ傾キアリ爲メニ黑色ヲ帶ヒ少シク苦味ヲ含ミシニ昨今嗜好

變化ニ伴ヒ火ノ加減ヲナスト醬油ヲ撰擇セシ爲メ鹽氣モク褐色ヲ帶ヒ形容食味共ニ改善セリ此回ノ出品モ此類ノモノ多シ

鰹鮪鯖ノ味付類ノ出品甚タ少シ又タ良品ト認ムルモノ少シ出品ノ少ナキハ軍用罐詰市場ニ堆積セラルルヲ以テ製造者ノ是等製造ヲ手控セシ結果ナラン蒲鉾水煮四五點アリ是レ昨今布哇米國等ノ出稼地ノ輸出品トシテ全盛ヲ極ムルモノナリ伊豫ノ南海岸ハ製產地トシテ著名ナリ是等ノ良否ハ原料タル魚ノ種類ニ基因スルモノニシテ技術ハ精巧ナルモ適當ノ原料ヲ得サレハ其目的ヲ達スルコトヲ得ス且罐詰トシテハ殺菌加熱ノ度ニ最モ注意ヲ要ス加熱ノ適度ナルトキハ蒲鉾ノ味ヲ消耗シ加熱不足ナレハ忽チ腐敗ス罐詰ニ供スル蒲鉾製法ハ其配合普通品ト稍ヤ異ナルノミナラス罐詰トシテモ亦タ困難ナルモノナリ此回ノ出品ニモ一二ノ良品ヲ認ムルモ他ハ變味ノ徵候アルモノ多シ

鰻蒲燒燒罐詰ハ曾テ海外ノ出稼地ニ輸出シ一時ハ盛ニ產出セラレタリ此聯合府縣ハ製產地ニアラサレハ出品モ少數ナリ隨テ良品ト認ムルモノモ少ナシ此製品ハ多ク九州地方ヨリ出テ且ツ製造モ熟練セリ原料タル鰻ノ品質大小ニ因テ味ニ優劣ヲ生シ蒲燒ノ巧拙モ亦タ罐詰トシテノ味ニ關係スルトコロ多シ

海苔ノ佃煮沙魚ノ昆布卷ノ如キモノアリシモ良品ト認ムルモノ少シ

果物砂糖漬罐詰ハ金柑、桃最モ大部ヲ占ム目下各種ノ罐詰ニツキ概シテ何レカ最モ技術ニ熟達スルカヲ考査スレハ比較的牛肉及松茸筍ニシテ果物類ハ最モ拙劣ナルカ如シ或點ヨリ看察スレハ敢テ拙劣ナ

ルニハアラスシテ第一ニ果物其物カ不良ナルト精良ナル砂糖ヲ充分ニ用イサルトニ因ルモノアリ
果物ノ罐詰ニハ之ニ適スル成熟ノ度ヲ計ラスシテ採取シ適々其度ヲ計リテ採取スルモ成熟ノ不同アル
カ爲一罐ヲ開キテ之ヲ檢スルニ肉ノ硬ナルモノ軟ナルモノ或ハ過熟シテ肉ノ糜爛セントスルモノアリ
又タ果物ニ依テハ酸味ヲ强ク覺ユルモノ或ハ全ク無味ナル物アリ此弊ハ杏蜜柑等罐詰ニ多シ梨ハ泡雪
ノ如キ肉理ノ粗鬆ニシテ含水量ノ多キモノハ罐詰原料ニ不適當ナリ之ニ加フルニ糖液ノ總テ稀薄ナル
モノナルヲ以テ果物罐詰ノ味ヲナサヽルモノ多シ金柑ノ如キハ初メ處理ノ周到ナラサルニ稀薄ナル糖
液ヲ加フルヲ以テ酸味强ク或ハ苦味ヲ帶ヒ外皮ハ硬靭ニシテ罐詰ノ果物トシテ齒牙ニ掛ラサルモノ多
シ此回ノ出品物モ亦此類ノモノ多「ジヤム」ノ如キモ果物成熟ノ一定セサルト砂糖ヲ充分ニ用ヒサル
爲メ「ジヤム」ノ味ヲナサヽルモノアリ又栗ノ砂糖漬モ數點アリ肉硬ク糖液稀薄ニシテ栗ニ糖液ヲ注
加シテ直チニ食スルノ感アリ罐詰トシテノ味ヲ成サヽルモノ多シ日本ノ栗ハ佛國産ノ如ク甘露煮トシ
テ全形ヲ保ダシムルコト尤モ困難ナリ畢竟果物類ヲ食膳ニ配用スルノ習慣ナキ現下ノ狀態ニテハ需要
者モ敢テ菓物罐詰ノ如キニ注意スルモノナク製造者モ亦隨テ深ク研究セサルノ致ストコロニシテ罐詰
類ノ中根物ノ需要最モ少ナキ所以ナラン

蔬菜類ノ出品ハ松茸筍ノ水煮大部ヲ占メ外ニ蕗ノ水煮一二點アリ松茸ハ京阪地方ハ只ニ多ク產スルノ
ミナラス香氣殊ニ强ク風味ニ富ミ松茸ノ本場トシテ名アリ

松茸ヲ罐詰ノ原料トスルニハ漸ク頭部ヲ土上ニ出露セシ極メテ稚小ノモノヲ適良トス此回出品ハ孰レ
モ原料ヲ撰良シ蓋ヲ開ケハ馥郁トシテ香氣ノ發スルトコロ思ハス食欲ヲ誘起セシメ且ツ各出品能ク一
定セリ

筍モ亦タ京阪地方ハ產出ノ饒多ナルノミナラス松茸ト共ニ本場ノ稱アリ其時期ニハ他地方ヨリ集リテ
製造スルモノ極メテ多シ罐詰原料トシテハ土中ニ在テ嫩芽ヲ有スル稚弱ノモノヲ適良トス此ノ二種ハ
製造法略ホ同一ナルモノニテ原料ノ撰擇ヲ第一トシ次ニ採取後時日ヲ經サル成ルヘク新鮮ノモノヲ用
ユルコトニ注意スヘシ日ヲ經ルニ從テ水分蒸發シ纖維枯燥スルニ至レハ實質硬ク自然ノ風味ヲ損スル
ノミナラス松茸ノ如キハ酸味ヲ生スルノ憂アリ概シテ此二種ハ罐詰ニ製造スル際處理ノ如何ニ依テ罐
詰トシテ後往往酸味ヲ生スルコトアリ是等ハ全然腐敗ニ陷ラサルニ殆ンド食スルコト能ハス此回ノ出
品中ニハ一二點此弊ニ罹リタルモノアリ此二種ハ此回出品中概シテ非難ナキ製品ナリ近頃筍松筍蕗午
蒡獨活ノ如キ蔬菜類ノ水煮罐詰ハ出稼地ニ向フテ漸ク輸出スルニ至ラントス異域ニ在テハ殊ニ珍味ト
シテ嗜好スルモノナラン然レ共蔬菜類ノ罐詰物ハ多ク日本料理ノ材料ニシテ種々ノ調理ヲ加ヘテ食膳
ニ供スルヲ以テ香味形容等ノ關係最モ多ク他ノ調味罐詰品トハ稍ヤ趣ヲ異ニセリ蔬菜類ノ水煮罐詰ハ
日本料理ノ材料ニハ最モ便利ナルヲ以テ季節ニ生スル蔬菜類ヲ罐詰トスルコハ將來大ニ發達スヘシ罐
詰トナサハ雪中ニ筍ヲ索ムルノ勞ナク所謂江南ノ橘モ貯藏シテ常ニ江北人ノ饌ニ供スルヲ得ヘシ

鳥獸肉罐詰ノ出品ハ極メテ少數ニシテ隨テ看ルベキモノモ亦タ少ナシ只タ「ローストビーフ」「コンビーフ」二ノ點ハ舶來品ニ伯仲スルモノアリ是等ハ充分輸入品ヲ防クニ足ルモノナリ元來牛肉ハ十二三年頃神戸ノ某之ヲ佃煮トシテ曲物ニ詰メ販賣セシニ世ノ嗜好ニ適シ大ニ名聲ヲ博シ後之ヲ罐詰トシテ一層販路ヲ擴張セリ牛肉ノ醬油味付ハ日本人ノ罐詰食用ノ初歩ニシテ一般ニ能ク需要セラレシヲ以テ罐詰製造者モ亦タ殆ンド牛肉ヲ製造セサルモノナク罐詰製造業ハ牛肉ニ依テ成業セシモノト云フモ不可ナシ如斯ク牛肉味付ノ廣ク需用セラレルニ隨テ二十七八年ノ戰役ニ牛肉ヲ專ラ軍用食物ニシ爲メニ全國ノ牛數大ニ減少シ漸ク牛肉騰貴ノ勢ヲ生セシニ三十七八年ノ戰役ニハ亦タ一層大數ノ牛肉ヲ軍用ニ供セシテ以テ昨今ノ牛肉ノ價ハ戰役前ニ比スレハ殆ンド五割以上ノ騰貴ヲナシ到底罐詰ノ原料トナスコト能ハサルニ至レリ是ヲ以テ昔日盛ナル牛肉罐詰モ今日ハ各工場殆ンド中止シ是等影響ヨリシテ此回ノ出品モ亦寂寞タリシモノナラン其他鷄小鳥ノ味付罐詰アリシモ好奇的ノ製造ニシテ且ツ舉ケテ稱スヘキ良品ニアラス

罐詰トシテハ不適當ナル內容品或ハ將來多少ノ望ミアル罐詰ニシテ未タ充分ノ需要ナキ製造品等ノ種類ヲ一括シテ之ヲ雜品トセリ

此ノ類ノ出品ハ固ヨリ多數ナラサルモ奈良漬類ノ罐詰ハ比較的多シ元來醱酵性ノ性質ヲ有スル原料ヲ罐詰トシテ之ヲ樽詰ニシテ美味ナルモノヲ强ヒテ罐詰トシテ却テ不味トナスハ之ヲ適當ノ製法ト云フヘカラス若シ之ヲ罐詰トナスニハ近頃米國ニテ行ハルヽ排氣密封ヲナサハ（紙卷煙草ノ罐詰ニ此ノ用イタルモノアリ）味ヲ變セスシテ永ク貯フルコトヲ得ヘシ固ヨリ遠隔ノ地ニ送ルニハ特ニ罐詰トスルハ或ハ便宜ナルヘキモ普通賣品トシテ常ニ罐詰製造者宜シク一考スヘシ

其他牛鷄ノ「ソップ」一二點ト煉乳一二點アリ是等ハ何レモ漸次ニ需要ノ起ルヘキモノニテ前途望ミアル罐詰ナルモ「ソップ」ハ普通食膳ニ供スル如キ稀薄ノモノニテハ罐詰トシテ効力ナシ濃厚ナル即チ越機斯體ニ製シテ罐詰トシ一罐ヲ開キ適宜ニ溫湯ヲ調和シテ數人ノ食ニ供セラレル如ク製スルヲ適當トス

煉乾ハ今日ト雖モ有望ナルモ此回ノ出品ハ水分蒸發ノ不足ナルト砂糖ト乳ト混和セサルカ爲メ稀薄ニシテ良品ト認ムヘカラス

第三十三類　素麺及干饂飩

審査官　農事試驗場技師　小林房次郎
農事試驗場技手　鹽崎成男

本類ノ出品ハ一府十五縣ニシテ出品總數千十七點内素麺八百七十點干饂飩百四十七點ナリトス内出品ノ最モ多キハ兵庫縣ニシテ岡山、奈良、香川ノ三縣之ニ亞ケリ前回ニ比スレハ出品ノ點數ニ於テハ著シキ增加ヲ見サルモ製造技術ニ於テ大ニ進歩セルヲ見ル就中其ノ著シキハ兵庫縣及岡山縣ニシテ香川縣三重縣之ニ次グリ大阪府及奈良縣ハ古來著名ノ麺産地ナルニ拘ラス敢テ進歩ノ形跡ヲ認ムル能ハス其他ノ出品ハ概ネ技術上甚タ幼稚ヲ免カレス

今回ノ出品中前回ニ比シ著シク發達シタルモノハ器械製麺ニシテ兵庫縣及岡山縣ノ出品中ニハ手製ヲ凌駕スルノ優品少カラス斯業ノ爲メ喜フヘキ現象ニシテ麺業發達上ニ於ケル一新時期ナリト云ハサルヘカラス然レトモ未タ改良ヲ要スル點勘カラス器械ノ撰擇、之ガ使用ノ巧拙、原料練捏ノ精粗如何ハ器械製麺類ノ發達上大ナル關係アルヲ以テ當業者ニ於テ此ノ點ニ留意シ尚研究ヲ怠ル可カラス手製麺モ前回ニ比シ稍發達シタルヲ認ム前回ニ於テハ往々糖油木蠟ヲ使用セシ出品ヲ認メタルモ今回ハ這般ノ粗製品ヲ見サルハ尚製造方ニ於テ改良ヲ加ヘタルノ一證ナリトス然レトモ尚製法及仕立ニ於テ改良ヲ要スル點勘カラス就中注意スヘキモノハ原料ノ撰擇、油及鹽使用ノ度合原料ノ捏方乾燥ノ方法等ナリトス

今囘ニ於テハ供給超過ノ傾向ヲ顯シ爲メニ各地製造家ハ各其生産額ヲ制限シ或ハ製法ヲ改良シ滿韓地方ニ輸出ヲ試ミントスル等稍々悲境ニ傾キタルモ爾來同業組合又ハ地方團體ノ下ニ需用者ノ嗜好ヲ調査シ製品ニ改良ヲ加ヘ鋭意斯業ノ改良發達ニ留意シタル結果近年ニ至リ一般ノ信用ヲ博シ需用增加ノ傾向ヲ呈シツヽアルノ際恰モ三十七八年ノ戰役ニ遭遇シ需要ノ激增ヲ來タシ引續キ戰後ノ今日ニ於テ一層好況ニ向ヒ製品ノ拂底ヲ告ケ價格俄ニ騰貴スルニ至レリ爲メニ各地トモ盛ニ産額ノ增加ヲ圖リ新ニ製造ヲ開始スルモノ勘カラス反ツテ當業者ヲシテ不安ノ念ヲ懷カシムルニ至レリ如斯好況ノ果シテ永遠ニ持續スヘキヤ否ヤ未タ知ル可カラスト雖モ前回ノ頃ニ比シ大ニ好況ニ向ヒタルハ明ナル事實ナリトス

審査ノ方法

今回ニ於ケル現品ノ審査ハ肉眼鑑定及分析鑑定ノ二法ニ依ル分析鑑定ハ肉眼鑑定ニ依リ優品ト認メタルモノヽ内ヨリ撰定シ以テ優劣ヲ一層判明ナラシメタリ

肉眼鑑定

一、色澤ノ良否

二、風味

三、麺線形狀ノ整否
四、油鹽其他夾雜物ノ多少
五、乾燥ノ良否
六、貯藏ノ適否
七、價格

分析鑑定

一、水分
二、脂油ノ品位及其用量
三、食鹽ノ品質及其用量
四、有害色素ノ有無

出品點數出品人員受賞人員並ニ出品人員ニ對スル受賞者ノ割合ヲ示セハ左ノ如シ

府縣	出品數	同人員數	一等	二等	三等	四等	計	出品人員ニ對スル擬賞ノ割
大阪	三八	三八			二	七	九	二三六
奈良	一二三	一一六			二	一二	一四	一二一
兵庫	三四七	二六四	二	五	七	三五	四九	一八一

府縣別	出品數	同人員數	一等	二等	三等	四等	計	出品人員ニ對スル擬賞ノ割
三重	七六	五三				一〇	一三	二四五
愛知	二八	二〇			二	四	六	六〇〇
靜岡	一六	六			二	二	四	三三三
岐阜	一六	一四				一	一	一七一
福井	一〇	五				一	一	二〇〇
島根	三三	二五				四	四	一六〇
鳥取	一六	一一				二	二	一八一
岡山	一五四	一一六	一	四	七	九	二一	二六七
廣島	二四	一九				二	二	一〇五
山口	九	五				一	一	二〇〇
德島	二二	二〇						一五〇
香川	一〇〇	九〇		二	二	二	四	二〇〇
愛媛	五	三						三〇〇
合計	一〇一七	八〇五	三	一二	二五	一一五	一五五	一九三

今府縣別ニ概評スレハ左ノ如シ

兵庫縣　本縣ノ出品ハ素麺三百四十四點干饂飩三點ニシテ之ヲ前回ニ比スレハ二倍ノ多キニ達セリ元來本縣ハ各聯合府縣中著名ノ生產地ニシテ產額全國ニ冠タリ其生產地區ハ攝津播磨淡路ノ三ケ國ニ跨リ其區域頗ル大ナリ就中攝播二ケ國ハ管內最モ產出多キ地ニシテ從來同業組合ヲ組織シ製品ノ改良統

一ヲ圖リタル結果製造技術大ニ發達シ今回ノ出品中手製器械製共ニ大ニ見ルヘキモノアリ然レトモ組合員以外ノ出品ニ係ルモノハ製品概ネ一定セス且ツ油鹽ノ配合其宜ヲ得ス爲メニ乾燥不良ニシテ貯藏ニ堪ヘサルモノアリ殊ニ器械製ニ至リテハ一層優劣甚シキヲ見ル是レ全ク製法其他製品ヲ統一スヘキ機關ノ設ケナキニ依ルモノナルカ故ニ當業者宜シク此點ニ留意シ新ニ組合ヲ組織シ製品ノ改良統一ヲ期スヘシ

岡山縣　本縣ハ兵庫縣ニ次キ關西ニ於ケル一大産地ニシテ出品點數百十六點內器械製麵三分ノ一以上ヲ占メ他ノ地方ニ比シ器械製ノ出品最モ多シ本縣ニ於テハ既ニ同業組合ノ設ケアリテ多年斯業ノ改良ニ努メタルノ結果近來大ニ發達セルヲ見ル今回出品ノ器械製麵中ニハ優品少カラス是レ原料ニ注意シ食鹽ノ配合及器械使用ノ方法其宜ヲ得タルモノニシテ前回ニ比シ大ニ進歩セル所アルヲ認ム手延製麵ニ至リテハ往々麵線不同ナルモノアリ尙其製法ニ於テ改良ヲ要スル點勘カラス

香川縣　出品總數八百點ニシテ內素麵八十九點饂飩十一點ナリ多クハ手製ニシテ器械製頗ル少シ前回ニ比シ製造方法ニ多少ノ改良ヲ加ヘタルヲ認ムルモ前回ノ出品ニ多カリシ鹽吹未タ全ク其蹟ヲ絕ツニ至ラサルヘ大ニ遺憾トスル所ナリ其他器械製麵ニ於テモ形狀其他粘力ニ於テ缺クル所アルヲ見ル要スルニ此等ハ多ク粉捏方ノ充分ナラサルト原料ノ撰擇其宜シキヲ得サルニ依ルモノナルカ故ニ當業者ハ此點ニ留意スルヲ要ス

三重縣　出品數素麵五十八點干饂飩十八點ナリ本縣ノ製麵業ハ近時大ニ發達シ今回ノ出品中優品ナキニアラスト雖モ從來組合ノ設ケナカリシ爲メ原料ノ撰擇及製法仕入法等區々ニシテ統一ヲ缺キ品位ニ於テ甚シキ優劣アルハ甚タ遺憾トスル所ナリ宜シク同業組合ヲ組織シ制裁ヲ設ケ從來ノ弊害ヲ矯正シ製品ノ改良ヲ圖ルヘシ

奈良縣　出品數素麵百二十三點ナリ本縣ノ出品ハ前回ニ比シ製品統一ノ上ニ於テ進歩ヲ認ムルモ原料及製法ニ於テ未タ改良ヲ要スヘキモノ多キヲ見ル當業者宜シク此點ニ留意スヘシ

大阪府　出品數素麵三十八點ナリ前回ニ比シ出品ノ統一ニ於テハ稍々改良ノ形跡ヲ認ムルモ形狀其他配合ノ度合等ニ至リテハ進歩ノ事實ヲ認ムルコト能ハス古來名聲ヲ博シタル本場ノ製品トシテハ製法及仕立等ニ於テ大ニ改良セサルヘカラス

愛知縣　出品數素麵十點干饂飩十八點ナリ今回ノ出品ハ概シテ原料ヲ撰ハス且ツ食鹽ノ配合其度ヲ失ヘタルモノ多シ殊ニ仕立方ニ於テハ大ニ改良ヲ要スル所アルヲ見ル

靜岡縣　出品數素麵十二點干饂飩四點ニシテ出品中冷素麵卵麵等多ク普通製品甚タ少ナシ此種ノ製品ハ需用ノ區域甚タ狹キカ故ニ漸次ニ普通品ニ改メ販路ノ擴張ニ勵ムヘシ

岐阜縣　出品數素麵四點干饂飩十二點ナリ概ネ原料粗惡ニシテ製法又粗雜ナリ其他仕入等ニ於テモ大ニ改良ヲ要スル點多シ

福井縣　出品數素麵五點千俵俵五點ナリ本縣ノ出品ハ概ネ製法粗雜ニシテ他縣ノ出品ニ比シ大ニ劣ル所アリ且ツ片栗麵ノ如キハ需用狹キヲ以テ麵業ノ發達ヲ計ルニハ一般ノ需用ニ適スル普通製品ニ改良ヲ以テ利アリトス

鳥取縣　出品數素麵三點千俵俵十三點ニシテ千俵俵多數ヲ占ム概シテ原料又製法共ニ粗雜ナリ宜シク原料ノ撰擇製法ノ改良等ニ留意スヘシ

島根縣　出品數千俵俵三十三點ナリ本縣ノ出品ハ手延製俵俵ニシテ前回ニ比シ原料製法仕入共ニ進歩セルヲ認ムト雖モ近時器械製ノ盛ニ行ハルヽニ至リテハ當業者タルモノ頗ル警戒ヲ要スヘキナリ

山口縣　出品數素麵一點千俵俵八點ナリ本縣出品ノ器械製千俵俵中ニハ原料良好ニシテ調製亦可ナルモノアリ一層之カ製法ニ注意セハ將來大ニ販路ヲ擴張スルニ至ルヘシ

廣島縣　出品數素麵十四點千俵俵十點ナリ本縣ハ近時漸時產額ヲ增加シツヽアルモ未ダ組合等ノ設ケナキガ爲メニ製品區々ニシテ品質ニ著シキ優劣アルヲ認ム宜シク當業者ハ斯業ノ發達ニ留意シ組合ヲ組織シ原料及製法仕入等ヲ改善シ以テ製品ノ統一ヲ圖ルヲ要ス

愛媛縣　出品數素麵四點千俵俵一點ナリ出品中五色素麵ハ本縣ノ特色ニシテ其ノ技ニ至リテハ頗ル巧ニシテ大ニ進歩セルモノト云ハザルベカラズ然レドモ此種ノ製品ニアリテハ販路狹少ナルノ嫌アルヲ以テ漸次普通品ニ改良スルヲ以テ利アリトス

德島縣　出品數素麵二十一點千俵俵一點ナリ本縣ノ出品ハ原料良好ニシテ製法又可ナリト雖モ仕入向ニ於テ尙ホ改良ヲ要スルモノアリトス

審查報告

第三區　特許、意匠、實用新案品

第三十四類　特許品

第三十五類　意匠品

第三十六類　實用新案品

審查官

特許局審查官　塚本信治

特許局審查官　小野喜惣治

特許局審查官　岡本勝元

特許局審查官　廣井義男

特許局審查官　山越八郎

特許局審查官補　白井良一

我國ニ於テ特許品意匠品及實用新案品ヲ一堂ノ下ニ聚メ之ヲ比較審查スルコトハ昨年四月大阪府ニ

於テ開設セラレタル特許意匠實用新案品展覽會ヲ始メトシ次テ昨年十一月東京ニ於テ開設セラレタル凱旋紀念五二共進會ノ一部ニ此等三種ノ出品物ヲ聚メ比較審査セシヲ第二回トス而シテ此等二回ニ於テハ其出品ノ多カラサルノミナラス規模未タ大ナラサリシモ今回第九回關西府縣聯合共進會ノ開設ニ際シ始メテ特ニ特許館ヲ建設シ聯合府縣内優秀ナル物品ヲ聚メラレシハ此共進會ノ特徴タルヘキモノニシテ實ニ聯合共進會歷史上特筆大書スヘキ一生面ヲ開キタルモノナリ小官等此出品物ノ審査ヲ命セラレ此大任ヲ完フセンコトヲ期シタルモ些カ二回ノ審査ノ經驗ヲ有スルノミニシテ此特別ナル物品ニ對シ最モ適當ナル審査項目ヲ定ムルハ實ニ困難トスル所ナリシモ今回ノ審査タル已ニ高山審査長ノ指示セラレタル審査方針ノ定マルアリサレハ此方針ヲ體シ而シテ前二回適用セシ審査項目ヲ應用セハ或ハ正鵠ヲ失スルコトナカルヘキヲ思ヒ審査長ノ高裁ヲ仰キ今回ノ審査ニ於テモ之ヲ適用セリ而テ又今回ノ審査タル次回ノ審査ノ參考資料トモナルヘキモノナルヲ以テ特ニ之ヲ報告シ併セテ出品物ニ對スル審査評論ヲ具申ス

本區ニ出品セラレタルハ第三十四類特許品第三十五類意匠品及第三十六類實用新案品ニシテ何レモ人間ノ考案力ニヨリテ案出セラレタル物品ナリサレハ此等物品ヲ審査スルニ方リテ其方針略同一轍タルヘキハ當然ノコトニシテ今回ハ左ノ三項目ヲ以テ此等三種出品ニ對スル重要審査項目ト定メタリ

第一、製作竝ニ製品ノ良否

此等三種ノ出品物ハ普通品トハ大ニ其趣ヲ異ニス普通品ニ於テハ從來已ニ存在スル構成ヲ其儘模倣シテ製作上ニノミ單ニ力ヲ專ニスルモノナレトモ此等三種ノ物品ハ考案者ハ自ラ腦裏ニ工夫ヲ案シ其考案ヲ基礎トシテ物品ヲ現實ニ製出スルモノニシテ其勞其苦遙ニ普通品ト異ル所アルハ甚タ明瞭ナリ從來有權品等ノ製作ハ普通品ヨリモ遙ニ不良ナリトノ世評アリシハ蓋シ之カ爲メニシテ考案者タルモノハ大ニ注意セサル可ラサル要點ナリトス發明品意匠品或ハ新案品カ商界場裡ニ聲價ヲ保チテ成功スル爲メニハ必ヤ價格ニ比較シテ製作良好ナラサル可ラス發明者或ハ考案者カ單ニ工夫考案ニノミ力ヲ盡シ其製作ニ注意セサルニ於テハ如何ナル良發明モ良意匠モ良新案モ成功ヲ期スルコト難カルヘシ而シテ徒ラニ發明品意匠品或ハ實用新案品ハ脆弱ニシテ効用ヲナサヽルモノトノ世ノ非難ヲ被ムルニ終ラン故ニ考案者ハ特許或ハ登錄ヲ受クルト同時ニ更ニ一段ノ注意ヲ製作上ニ拂ハサル可カラス實ニ製作ノ良否ハ考案者ノ成功不成功ノ因テ岐ルヽ所ナリ故ニ製造機械ヲ發明シタルモノハ其機械ニヨリテ製造セラルヽ製品ノ良否ヲテニモ注意セサレハ其機械ハ決シテ社會ニ用ヒラレサルヘク又方法ニ關シテ發明シタルモノハ其方法ニヨリ製出セラルヽ製品ノ良否ニモ注意セサルヘカラス意匠品ニ於テモ如何ニ意匠巧妙ナルモ其製品不良ニシテ實用ニ適セサルニ於テハ敢テ願ル人モアラサルヘシ而シテ實用新案品ニ於テハ殊ニ然リトス故ニ考案者ヲシテ一層製作上ニ注意ヲ拂ハシメントスル爲メニハ其製作竝ニ製品ノ良否ヲ檢スルノ一項ヲ設クルコトハ審査上大切ナル條件タルヲ信ス

第二、發明意匠或ハ考案ノ實質上ノ價値

世ノ發明者或ハ考案者ガ或ル目的ヲ達セントシテ其腦漿ヲ絞ルニ當リ社會ニ已ニ同樣ノモノヽ存在スル場合ニハ之ヲ改良シ或ハ他ノ考案ヲ應用シテ其工夫容易ニ圓熟シ得ヘキモ社會ニ未タ隻影ヲモ現ハサヽルモノヲ獨立ニ腦漿ヨリ案出スルハ實ニ難事ニ屬ス即チ一種ノ天才ヲ具フルニ非ルヨリハ到底爲シ得ヘキコトニアラスサレバ同種類ノ發明ニ付キテハ其最初ノ發明ハ最モ尊敬セラルヘキモノニシテ後續ナル改良發明ハ發明ノ實質上一段ノ遜色アルハ當然ノコトナリ發明ノミナラス意匠ニ於テモ後續意匠ハ原意匠ヨリ實質上ノ價値ニ遜色アルモノニシテ又實用新案ニ於テモ同種類ノ新案ニ於テハ同樣ノ關係ヲ有スルハ勿論ナリ而シテ實用新案ハ之ヲ發明ニ比スレハ其案出容易ニシテ一段ノ遜色アルモノナレトモ實用新案法ニ於テハ實用アルコトヲ最モ大切ナル目的トナスモノニシテ假令案出スルニ容易ナリトスルモ其實用上ノ效果顯著ナルニ於テハ大ニ之ヲ賞セサル可ラス本項ハ實ニ此等ノ實質ニ付キ審査スルモノニシテ本區出品審査項目中最モ重要ナルモノヽリ

第三、工產業上ニ及ホシタル效果

抑本邦ニ於テ特許法意匠法及實用新案法ノ制定セラレタル精神ハ本邦ノ工產業ヲ奬勵誘發シ以テ其發達ヲ圖ルニアルハ甚タ明瞭ナルコトニシテ或ル發明ノ出テタル爲メニ特殊ノ工業ヲ起シ或ハ手工業ヲ變シテ機械的工業トナシ以テ製產額ヲ增加シ製品ヲ均一ナラシメ或ハ工業上ノ物品ニ適當ナル意匠ヲ適用シタル爲メニ其品位ヲ高メ或ハ產額ヲ增シ或ハ有益ナル新案品ノ案出ノ爲メニ職工ノ新案ヲ起ス等ノ事實ハ實ニ三法制定ノ精神ニ適合シタルモノナリサレバ發明品意匠品或ハ實用新案品中我國ノ工產業上ノ發達ニ貢獻スルモノヽ如キハ實ニ立法ノ精神ニ適合シ又此ノ種ノ發明ノ續出スルハ國家トシテモ熱望スル所ニシテ又將來ニ於テモ大ニ奬勵セサル可ラサルモノナリ故ニ本區出品ニ對シテハ此一項目ハ審査上大切ナルコトナリトス

以上ノ三項ハ本區出品ノ審査上最モ大切ナル審査項目ナリシモ本區ノ如キ複雜ナル出品ニ對シテ此三項ヲ以テ足レリトスヘキモノニアラス何トナレバ如何ニ有益ナル發明モ社會ニ出ツルノ日尙ホ淺キ爲メ未タ效果ヲ顯サヽルモノ有ルヘク其他各般ノ事情ノ爲メニ大ニ奬勵ノ必要アルモノモ少カラサルハ當然ノコトナルヲ以テ前三項ヲ審査項目ニ加フルニ左ノ六項ノ參考審査項目ヲ以テシ之ニヨリテ審査ノ補修ヲナセリ

參考審査項目

一、最近三ケ年間ノ製作販賣高

二、販路ノ廣狹

三、案出者竝ニ擴布者ノ經歷

四、從來ノ受賞

五、將來ニ對スル豫想

六、出品人ノ留意審査ヲ希望スル要點

前ニ記載スル所ハ今回第三區出品物ノ審査ニ方リ審査項目トシテ定メシ所ニシテ此等項目ノ下ニ審査セシ結果ヲ類別短評スルコト左ノ如シ

第三十四類　特許品

本類出品ノ府縣別人員件數及受賞者數左ノ如シ

府縣名	人員	件數	受賞者數
東京府	一七	一九	一〇
大阪府	五四	七二	三三
兵庫縣	一八	一九	二
奈良縣	八	九	二
愛知縣	四四	五四	三一
靜岡縣	二二	二三	一四
岐阜縣	六	九	二
福井縣	一	一	一
石川縣	二	二	二
富山縣	一一	一一	一
滋賀縣	七	九	六
鳥取縣	五	五	四
島根縣	一〇	一一	三
岡山縣	一四	一五	五
廣島縣	一〇	一二	三
山口縣	一	一	一
和歌山縣	六	六	二
德島縣	二	二	二
香川縣	五	六	三
愛媛縣	四	四	二
高知縣	二	二	一
三重縣	一〇	一七	八
合計	二九九	三六〇	一六七

聯合府縣外ノ縣ヨリ參考品トシテ出品セラレタルモノハ東京府、神奈川、新潟、群馬、茨城、山梨、長野、福島、青森、福岡、佐賀、北海道、宮城、栃木、山形、埼玉ノ諸縣ニシテ其總人員五十三名總件數七十一件ナリトス即チ之ヲ合計スルトキハ

特許品出品人總計　三百五十二名
特許品出品件數總計　四百三十一件
ナリ

第一、機械工業品部

製麵機械　機械中製麵機械ハ最モ出品數多シ而シテ本機ハ本邦ニ於テ始メテ發明セラレ且發達セシモノニシテ其第一ノ發明トシテ世ニ知ラレタルハ大阪府眞崎照卿出品製麵機ニシテ構成簡單ナリト雖能ク其特徴ヲ發揮シ本邦製麵機發明ノ泰斗タルニ背カス次ニ大阪府田中源太郎出品製麵機械ハ其製作良好ニシテ運用圓滑ニ製品甚タ善良ナリ又愛知縣大隈榮吉出品製麵機モ製作甚タ良好ニシテ能ク其特徴ヲ發揮シ製品甚ダ良好ナリ此二發明ハ眞寄ノ發明ニ比スレハ後續發明ナリト雖モ其製作竝ニ運用ノ良好ナル點ニ於テハ著シキ進歩ヲ現ハセリ愛知縣麵機合資會社出品製麵機モ運用巧妙ニシテ儼飩ノ製造ニハ適當ナルモノナリ愛知縣原田儀右衞門出品製麵機ハ發明上ノ價値ニ乏シク製作良好ト評スヘカラサルモ一層廉價ナラバ或ハ販路ヲ廣ムルヲ得ヘシ要スルニ今回ハ本邦ニ於ケル殆ント凡テノ製麵機ヲ出品セラレタルモノニシテ各其特徴ヲ有シ製麵業上裨益スル所少カラサルモノナリ

製網機械　凡テ三重縣ノ出品ニ係リ其一ハ三重製網合資會社出品漁網編成機ナリ從來手工ニヨリシ工業ヲ機械的ニ變化シタル者ニシテ製品亦良好ナリ其工業上ニ及ホス效果顯著ニシテ諸製造機ノ發明中模

範タルヲ失ハス又中村兄弟商會ノ出品ニ係ル編網機モ其製網業上ニ及ホス效果少ナカラス製品亦良好ナリ此二發明ノ如キハ我邦將來工產業ノ發達ニ貢獻スルコト大ナルモノニシテ此種ノ發明ノ續出センコトヲ希望セサルヘカラス

織機　本邦織機ハ近年駸々トシテ進歩シツヽアルモノニシテ將ニ外國流ノ力機ヲ驅逐セントスル勢アリ其捲取裝置ノ如キ筬打機構ノ如キ或ハ停止機構ノ如キ又ハ緊張裝置ノ如キ或ハ緯ノ如キ月ニ日ニ進歩シツヽアルヲ見ル發明上ニ於テハ斯ノ如キノ進歩ヲナシツヽアリト雖モ今回ノ出品織機ノ全體ヲ概評スレバ製作ノ不完全ト認メラルヽモノモ少ナカラス爲メニ充分ニ發明ヲ發揮セシムルコト能ハサルハ甚タ遺憾トスル所ナリ之レ本邦機業界ノ現狀上已ムヲ得サルコトニ屬スルナラン然レトモ今少シク製作家カ永遠精密ノ計畫ヲ施サハ蓋シ需用者ヲシテ巧妙ニシテ堅牢ナルモノヲ使用セシメ得ルニ至ランカ然レトモ近來稍々此方面ニモ意ヲ止ムルノ傾向ヲ來シ中ニハ各部ノ釣合稍正鵠ヲ得テ微妙ノ動作ヲ呈シ然モ永遠ニ使用シ得ヘキト認メラルヽモノナキニアラス蓋シ實用的方面ニ意ヲ注キ來リタル結果タルヤ明カナリ出品織機中第一位ニ指ヲ屈セラルヽハ愛知縣豐田式織機株式會社出品ニ係ル豐田式織機ニシテ捲取、解舒ノ兩裝置ハ共ニ相關聯シテ微妙ノ動作ヲ呈シ經絲停止裝置ハ經絲ニ些少ノ傷害タモ與フルコトナク好ク其切斷ト緩ミトヲ警告スル等賞揚スヘキ點少ナカラス其他各部ノ裝置ニ就テモ誠實ナル注意ヲ拂ハレタルカ故ニ何レモ巧ニ活動セリ之ニ次テ靜岡縣池谷七藏出品織機三重縣

丹羽安吉出品織機及岡淺野新八出品織機ニシテ凡テ働作巧妙ニシテ織布上毫モ遺憾ナク迪谷式織機ニ於テハ解舒及停止裝置等ニ特徴ヲ有シ殊ニ本機ニ於テ快ク感セラル、ハ全體ノ構造ノ器械的ニシテ杼箱ノ前壁カ調節自在ニ揺動シ得ラル、カ如キ些細ノ點ナリト雖モ便宜ノ裝置ニシテ其注意ノ周到ナルヲ見ル又淺野織機ニ於テモ前者ニ劣ラサル善良ナル構成ヲ具ヘ特ニ其緯絲停止裝置ノ如キ一新機軸ヲ出シタルモノニシテ優レタル考案ナリトス又丹羽織機ニ於テモ效果前者ニ劣ラス各部至ツテ簡單ニシテ釣合ヲ得テ製作親切ナレハ運轉輕ク一分間優ニ二百回轉以上ヲ打チ込ミ得ヘク又垂錘ノ位置ノ移轉ニヨリテ經絲ノ張力ヲ均一ナラシムルハ其特徴トスル所ナリ第三位ニ屬スル織機ハ大阪府中村米次郎出品小幅木綿織機、愛知縣田邊織機製作所出品織機、岐阜縣前越久之助出品タオル織機、大阪府中桐彦太郎出品タオル織機、靜岡縣水野八平出品手織機、愛知縣岡戸善太郎出品小幅木綿織機靜岡縣牛田榮太郎出品小幅木綿織機ニシテ第二位ニ屬スルモノニ比スレハ多少ノ遜色アリト雖モ織布上遺憾ナリ各發明上ノ特徴ヲ有シ織物業者間ニ歡迎セラルヘキヲ疑ハス又第四位ニ屬スル織機モ其數少ナカラス各發明上ノ特徴ヲ具ヘ實用ニ適スルヲ疑ハサルモノニシテ甚タ有益ナル發明ナリト雖モ尚ホ一層ノ努力奮勵ヲ要スルモノアラン

杼ニ關スル發明ハ九件ノ出品アリ元來杼ハ織布上大切ナルモノニシテ織機ノ進歩ニ伴ハサルヘカラサルハ明カナリ出品中第一ニ指ヲ屈スヘキハ靜岡縣太田辰造出品杼ニシテ本邦各地ノ機業地ニ歡迎セラレ需要者ヲ滿足セシメツヽアルモノニシテ其效果顯著ナリトス其他ノ杼ニ於テモ構造甚タ巧妙ニシテ有望ナルモノ少ナカラス將來大ニ用キラル、時アラン

莚織機ニ就テハ特ニ賞揚スヘキ出品アルヲ見ス製作一般粗雜ニシテ發明上ニ於テモ高キ價値アルモノヲ見ス然レトモ數臺ノ出品中藤原菊三郎出品莚織機稍可ナルモノニシテ荒木米藏出品莚織機之ニ次クモノトス

綜絖製造機　愛知縣野田新三出品綜絖調製機械ハ巧妙ナル操作ヲ呈シ綾小間綜絖製造機トシテ甚タ善良ナルノミナラス發明上ノ價値甚タ高キモノトス之ニ次クハ愛知縣淺野甚右衛門出品綜絖編成機ニシテ無双綜絖ノ製造上裨益ヲ與フルコト少ナカラス

製筬機　愛知縣野田直吉外一名出品製筬機械ハ本區ニ出品セラレタル唯一ノ機械ニシテ其操作甚タ巧妙ナリ然レトモ筬齒ノ間々誤差セラル、コトアリ此點ヲ改良セハ一層善良ナルモノナラン

精米機　出品ノ精米機中最モ特徴ヲ有スルモノハ京都府栗辻彌吉出品須藤式精米機ニシテ本邦精米機ノ發明中屈指ナルモノ、一トス構造簡易ニシテ搗減少ナク米質ヲ損セサル等各種ノ特徴ヲ有ス益々奮勵シ價格ヲ一層廉ナラシメハ將來大ニ社會ニ歡迎セラルヘシ次ニ大阪府秋月英次郎出品アイデール精米機及大阪府清水久助出品平出式精米機ノ如キハ其形狀ヲ「エンゲルバルグ」式ニ模シタル改良發明ナレトモ其精米上ノ效果共ニ善良ナルモノアリ

石油發動機　出品中特許石油發動機ハ二點アリ其一ハ大阪府川寄爲吉出品無點火石油發動機ニシテ製作良好ニ調節甚タ宜シク運轉輕快ニシテ特許發動機中屈指ノ良機タリ他ハ岡山縣佐竹利市出品ニ係ル石油發動機ニシテ運轉上ノ缺點少ナカラス更ニ改良ノ必要アルヘシ

右ニ記載セシ出品以外ニ於テ三重縣菊川鐵工所出品摩擦丸鋸機ノ如キ或ハ愛知縣長阪小十郎出品繰返機ノ如キ機械工業品部ニ屬スル發明少ナカラス各特徴ヲ有シ社會ヲ裨益スルコト大ナリ又本部ニ屬スル第四位以下ノモノニ於テモ發明上甚タ善良ナルモノ少ナカラス然レトモ現時ニ於テ特ニ之ヲ列記スヘキ成績ヲ顯ハシタルモノ少ナシ故ニ此等出品者ニ對シテハ殊ニ將來ノ奮勵ヲ希望セサルヘカラス

第二、化學工業品部

化學工業ニ關スル發明中第一ニ指ヲ屈スヘキハ愛知縣石川久次郎出品絞染法ニヨリテ成ル絞ニシテ古來有名ナル有松絞ナルモノ發明ノ爲メニ其聲價ヲ保チ又當業者カ常ニ斯新ナル染色法ヲ其工業ニ應用スルニ熱心ナルハ正ニ工業上ニ發明ヲ應用スル模範ヲ世ニ例示スルモノニシテ特許法制定ノ精神ニ適ヒ稱賛スヘキコトヽス大阪府新田長次郎出品調革ノ如キハ發明ノ繼手調革ニ對シテ最モ善良ニ革質亦比類ナク本邦製調革中最モ優勝ナルノミナラズ製革業上ノ模範トスルニ足ルヘキモノナリ次ニ兵庫縣阪東式調帶合資會社出品阪東木綿調帶ハ本邦木綿調帶ノ發明中甚タ優勝ナルモノニシテ製品亦良好ナルヲ以テ特殊ノ場合ニハ最モ適當ナル調帶ナリトス又三重縣小林柔軟オブラート製造所出品柔軟オブラートノ如キハ其品質極メテ良好ニ發明上ノ價値ノ勝レタルノミナラス已ニ多クノ産額ヲ有シ需要者ノ好評ヲ得タルモノナリ愛知縣日比野紋左衛門出品安全肥料ノ如キハ其配合ノ礦物質及有機物質ヲ併含セシメタルノ故ヲ以テ耕作物ノ如何ナル物ニモ安全ニ施肥シ得ヘク效果噴々トシテ産額將ニ大ナラントス又京都府岩坪五兵衛出品錫紙ノ如キハ製品良好ニシテ發明品中成效シタルモノヽ一ナリ産額多ク實際ニ發明ノ目的ヲ達シタルモノナリ又滋賀縣伊藤忠兵衛出品羽二重黑紋付九重染ノ如キ染色甚タ良好ニシテ染色上ノ發明中甚タ成效シタルモノナリ化學工業品中第三位ニ屬スルモノハ愛知縣澤田龍太郎出品絞模樣絞括法製品錦帶、愛知縣愛知麥稈商會出品染色麥稈、大阪府春元重助出品班紋石鹼、大阪府岡本兄弟商會出品ラカチン、島根縣伊部喜作出品塊鋼、愛知縣名古屋國産絞同業組合出品絞地染色法ノ製品絞ニシテ發明上ノ特徴ヲ具ヘ已ニ社會ニ歡迎セラレツヽアルモノ或ハ後來將ニ大發展ヲナサントスルモノニシテ其事業ノ盛大ト共ニ工業ノ進歩ニ著大ナル貢獻ヲナスヘキモノタルヲ疑ハズ又第四位ニ屬スル化學工業品モ其數少ナカラス能ク社會ノ便益ト實效トヲ與ヘ得ヘキモノニシテ發明上有益ナリト雖モ併セテ一層ノ奮勵ト改良トヲ勵メラレンコトヲ希望スルノ必要アルヲ信ス

第三、電氣工業品部

電氣工業ニ關スル發明品ノ出品ハ極メテ少ナク且優秀ナルヲ見サリシハ甚タ殘念ナルコトナリ唯兵庫縣松本善三郎出品電信電話雙信裝置ノ如キハ甚タ簡單ナレトモ通信上ノ發明トシテハ將來大ニ有望ナ

ルヲ疑ハス

第四、編織物、器具及雜品部

花莚及敷物　花莚ノ出品ハ其數甚タ多カラス然レトモ花莚發明上ノ勳績顯著ニシテ花莚界ノ泰斗ト稱セラレタル岡山縣磯崎高三郎出品ノ綿莞莚ハ本區出品中ノ白眉タリ大阪府杉野倉吉出品由多加織モ亦舊來ノ面目ヲ改メ製造上ニ色彩及模樣上ニ大ナル注意ヲ拂ヒ製品ノ品質上甚タ進歩シタルモノナリ

織物　織物ニ關スル發明ハ其出品數甚タ少ナシ唯滋賀縣中居篤次郎出品美濃縮緬ノミ發明上ノ品位ヲ保チ製品甚タ良好ナルヲ見ル

農業用具　農業ニ關スル發明ハ其出品點數甚タ多シ各特徴ヲ具ヘタルモノナリト雖モ製作不完全ニシテ實用ニ適セサルモノモ亦少ナカラス將來農具發明者ハ特ニ製作ニ注意セサレハ實功ヲ收ムルコト能ハサルベシ農具中岡山縣三宅要造出品田打車ハ田打車中效果最モ良好ニシテ發明上科ニ實用上ニ於テ顯著ナル成績ヲ顯ハシタルモノ又鳥取縣中井益藏出品除草器ハ除草器ノ嚆矢ニシテ產額頗ル多ク農具界ニ貢獻スルトコロ大ナルモノナリ農具ノ發明トシテハ此種ノ發明ノ續出ヲ希望セサルベカラス又奈良縣森山定吉出品麥摺器ノ如キ麥摺上效果良好ナルモノニシテ靜岡縣吉野寅太郎出品莖切器ノ如キ亦農業上ニ裨益スル所少ナカラサルモノナリ而シテ第四位ニ屬スル農具類ハ其數少ナカラス各特徴ヲ有スルモノニシテ實用上效果良好ナルヘキモ更ニ一層ノ製作上ノ注意ト堅牢トヲ望マサル可ラス

器具雜具ノ發明中效果勝レタル發明トシテ指ヲ屈スヘキハ愛知縣岡谷惣助出品金庫、廣島縣高田嘉助出品製鹽釜大阪府金澤種次郎出品渡邊式測量器大阪府河原國造出品壓搾機械大阪府大溝筆吉出品連筒聽診器大阪府山西玄兵衛出品足袋、廣島縣河村秀行出品噴霧器大阪府河野利兵衛出品消防喞筒大阪府千歲商會出品蒸汽ニテ大阪府山田德藏出品輕便保姆車愛知縣鈴木慶次郎出品透寫版等ニシテ已ニ發明上ノ功果ヲ現ハシツヽアルノミナラス將來甚タ有望ナルモノニ屬スルモノハ其數甚タ多ク發明中有益ナルモノトシテ功果ヲ奏シタルモノ少ナク一層ノ奮勵ヲ希望セサル可ラス

第三十五類　意匠品

本類出品ノ府縣別人員、件數及受賞者數左ノ如シ

府縣名	人員	件數	受賞者數
京都府	五	一二	四
大阪府	一九	五一	九
兵庫縣	五	六	
奈良縣			

愛知縣	一一	二五	六	
靜岡縣				
岐阜縣	五	六	一	
福井縣	一	一		
石川縣				
富山縣				
滋賀縣	一	一		
鳥取縣				
島根縣				
岡山縣	一	一		
廣島縣	二	二		
山口縣				
和歌山縣				
德島縣	二	二		
香川縣	二	一〇	一	
愛媛縣				
高知縣				
三重縣	一	一	一	
合計	五五	一一八	二二	

聯合府縣外ノ出品ハ東京府、福島縣ニシテ其人員二名件數九件ニ過キズ即チ之ヲ合スレハ

意匠品出品人總計　五十七名

意匠品出品件數總計　百二十七件

ナリ

意匠品ノ出品ハ其件數多カラス又卓絶優等ナルモノヲ見サリシハ遺憾少ナカラサルコトナレトモ巧妙ナル意匠ヲ施シ賞スヘキモノ少ナキニアラス例ヘハ京都府島村善助出品源氏歌模樣及ヒ百人一首模樣友仙ノ如キ意匠巧妙ニシテ製品極メテ可良ナルガ如キ又ハ京都府飯田新七出品帶地ノ時機ト使用者ノ嗜好ト適合シタル意匠ヲ施コシタルカ故ニ粗雜ナル布帛モ爲メニ優美ナル帶地ニ變化シ時機ヲ逸セス多大ノ産出ヲナシ得タルカ如キ又京都府池內龍寶出品シヨールノ婦女肩掛ノ意匠上其粹ヲ縱ニスルガ如キ大阪府稻垣政七出品輸出扇及吉崎常七出品輸出腰帶ノ需要地ノ嗜好ニ適合スル意匠ヲ施コシ輸出品トシテ成功シタルカ如キ又三重縣寺尾完吉出品染形紙ノ意匠優秀ナルガ如キ凡テ工業上ノ物品ニ世ノ嗜好ニ適シタル意匠ヲ應用シ其製品ノ品位ヲ高メ或ハ産額ヲ增加セシメントスル意匠法制定ノ精神ヲ現實ニ發揮シタルモノニシテ優位ヲ占ムヘキモノナリ此等ニ次キテ香川縣富羽藤兵衞出品團扇、大阪府鈴木善助出品鏡同小垣幸出品飾總愛知縣名古屋國産絞同業組合出品絞ノ意匠ノ如キ工業上ノ物品ニ適用シタル意匠上ノ價値少ナカラサルモノナリ又第四位ニ屬スル意匠品ニ於テモ社會ニ歡迎セラル

ヘキモノ少ナカラサルヲ疑ハスト雖モ製作上或ハ進歩上ニ於テ更ニ一段ノ注意ヲ喚起スルノ必要アルヘシ

又意匠品ノ出品ニ對シ府縣別ニヨリ其概況ヲ批評スレバ京都府ノ出品ハ肩掛、友仙、帶地ノ三種ニシテ件數多カラサルモ内地向意匠品トシテ佳良ナルモノ多ク比較的粗惡ノ製品ナキハ喜フヘシ然レトモ意匠地ヲ以テ目セラル、同地ノ出品トシテハ尚ホ其精巧ヲ盡クセルモノト認ムルヲ得ス更ニ奮進新意匠界ニ向テ發展センコトヲ望マサル可ラス

大阪府ノ出品ハ被服、襯衣、胸掛、胴締紐、羽織紐、飾總櫛、釦鉦、煙草入、鞄、紙入、鏡、屏風、洋燈、玻璃壜、輸出扇、菓子、軍刀等ノ數十種ニ亘リ其件數殆ント全出品ノ半ニ達セリ特ニ輸出品ニ關シテハ其意匠輸出先ノ嗜好ヲ根據トシ從ヲ製産額ノ多大ナルハ他ニ其比類ヲ見サル所ニシテ販路ノ擴張ニ就テハ最モ成功シタルモノト云ハサル可ラス又内地向意匠品ニ於テハ意匠製作共ニ好良ナルモノナキニアラサルモ概シテ同府ノ出品ハ創意的ノモノ少ナク且ツ製作モ亦精巧ナラサルモノ少ナカラサルハ憾ムヘシ

兵庫縣ノ出品ハ點數甚タ少ナク特ニ意匠品トシテ論評スルノ價値ニ乏シキハ遺憾ナリ

愛知縣ノ出品ハ時計、染織物、陶器、菓子器及御影奉安庫ノ數種ニシテ其件數大阪ニ次テ多數ヲ占ム而シテ掛時計、中形物、綿物及菓子器ニ於テハ意匠及製作共ニ佳良ナルモノアリト雖モ其他ニ至リテハ意匠ニ乏シク或ハ製作粗惡ニシテ見ルヘキモノ少ナシ本縣ノ如キ三府ニ次クノ大都市ニシテ而モ工業品ニ富ムノ地ニアリテハ爾來一層意匠上ニ於ケル發達ヲ希望セサル可ラス

岐阜縣、福井縣、德島縣ノ出品ニ於テハ意匠品トシテノ價値ニ乏シキモノ多ク嘉賞スヘキ品少ナシ

香川三重ノ兩縣ニ於テハ其出品物少ナキモ香川縣出品ノ團扇ノ如キハ意匠ニ變化多ク價格低廉ナリ此ニシテ意ラスンハ將來益産額ヲ增加スルヲ得ヘシ又三重縣染形紙ノ如キモ意匠品トシテ甚タ佳良ナルモノナリ

要スルニ今回ノ出品ノ意匠品ハ其件數甚タ僅少ニシテ本回ノ聯合府縣内ニ於ケル意匠登錄品ノ有權數一千五百八件（明治卅九年十二月末調）ニ對シ僅ニ七分弱ニ過キサルノミナラス最優等ノ意匠ト認ムヘキモノナク且出品中登錄セラレタル形狀模樣ヲ縱マニ變更シ登錄意匠品ト稱シ難キモノ及製作粗惡ニシテ折角ノ意匠モ爲メニ其眞價ヲ現ハス能ハサルモノ等アリテ一般ヨリ評スレハ良好ノ成績ト稱スヲ得サルモ意匠品ヲ社會ニ紹介セル點ニ於テ裨益セルコト多カリシハ疑ヲ容レサル所ナリ

第三十六類　實用新案品

本類出品ノ府縣別人員件數及受賞者數左ノ如シ

府縣名	人員	件數	受賞者數
京都府	二三	二四	三
大阪府	一〇	一七五	二三
兵庫縣	一四	一六	四
奈良縣	九	一一	六
愛知縣	三〇	三三	二
靜岡縣	一四	二二	五
岐阜縣	一一	二四	三
福井縣	九	九	一一
石川縣	三	四	三
富山縣	二	二	一一
滋賀縣	九	一三	一一
鳥取縣	三	四	二
島根縣	四	二	一
岡山縣	一〇	一七	二
廣島縣	五	二	一
山口縣	一	七	一
和歌山縣	七	三	一
德島縣	三	七	一
香川縣	五	五	一
愛媛縣	一	一	一
高知縣	一一	四	一
三重縣	二六	二八	七
合計	二一九	二七	六六

聯合府縣外ノ出品ハ東京府、神奈川縣、新潟縣、千葉縣、長野縣、大分縣、熊本縣、山形縣、埼玉縣、秋田縣ニシテ其人員三十七名件數五十六件トス即チ之ヲ合計スレハ

實用新案品出品人總計　三百六十六名

實用新案品出品件數總計　四百八十三件

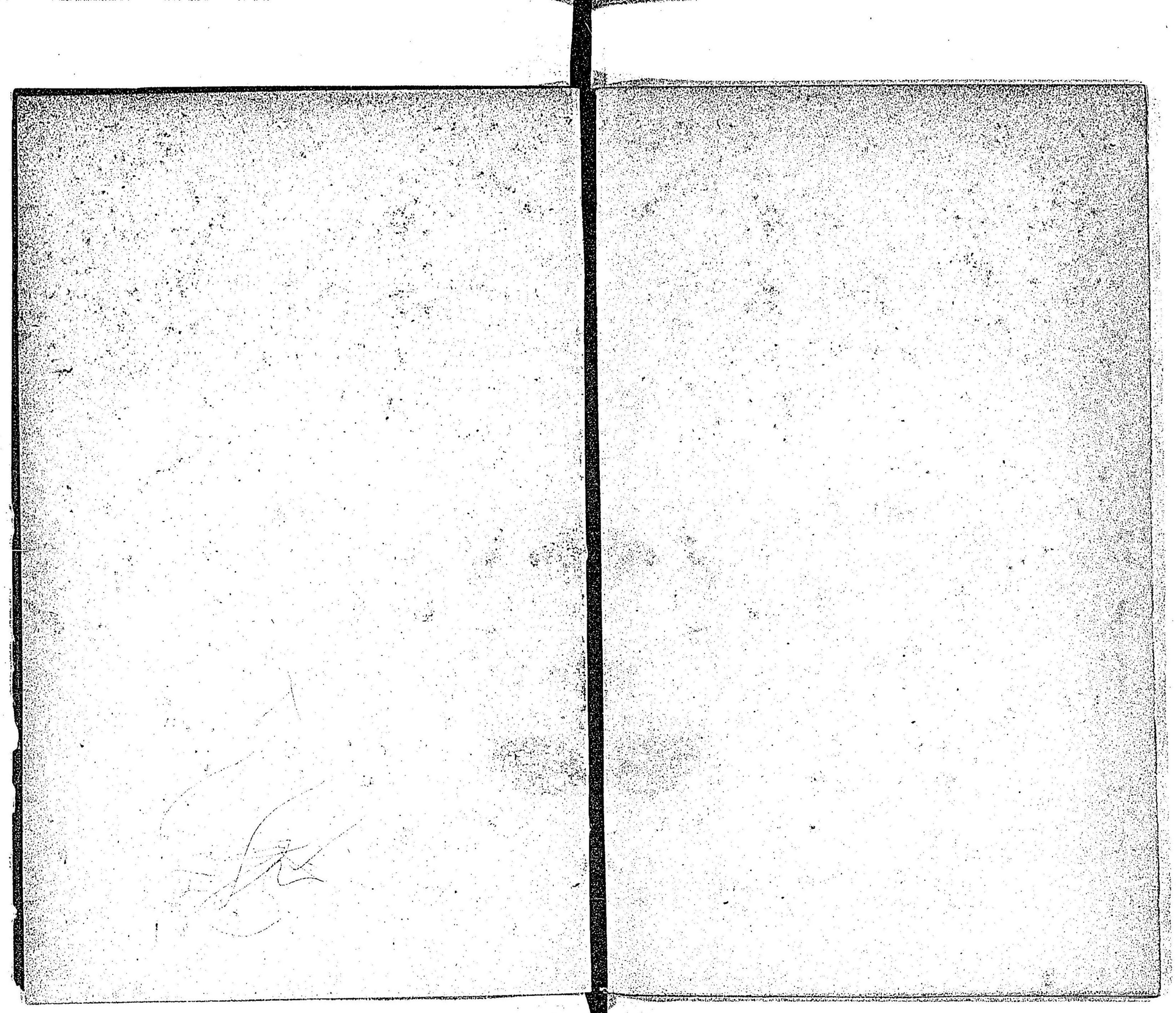
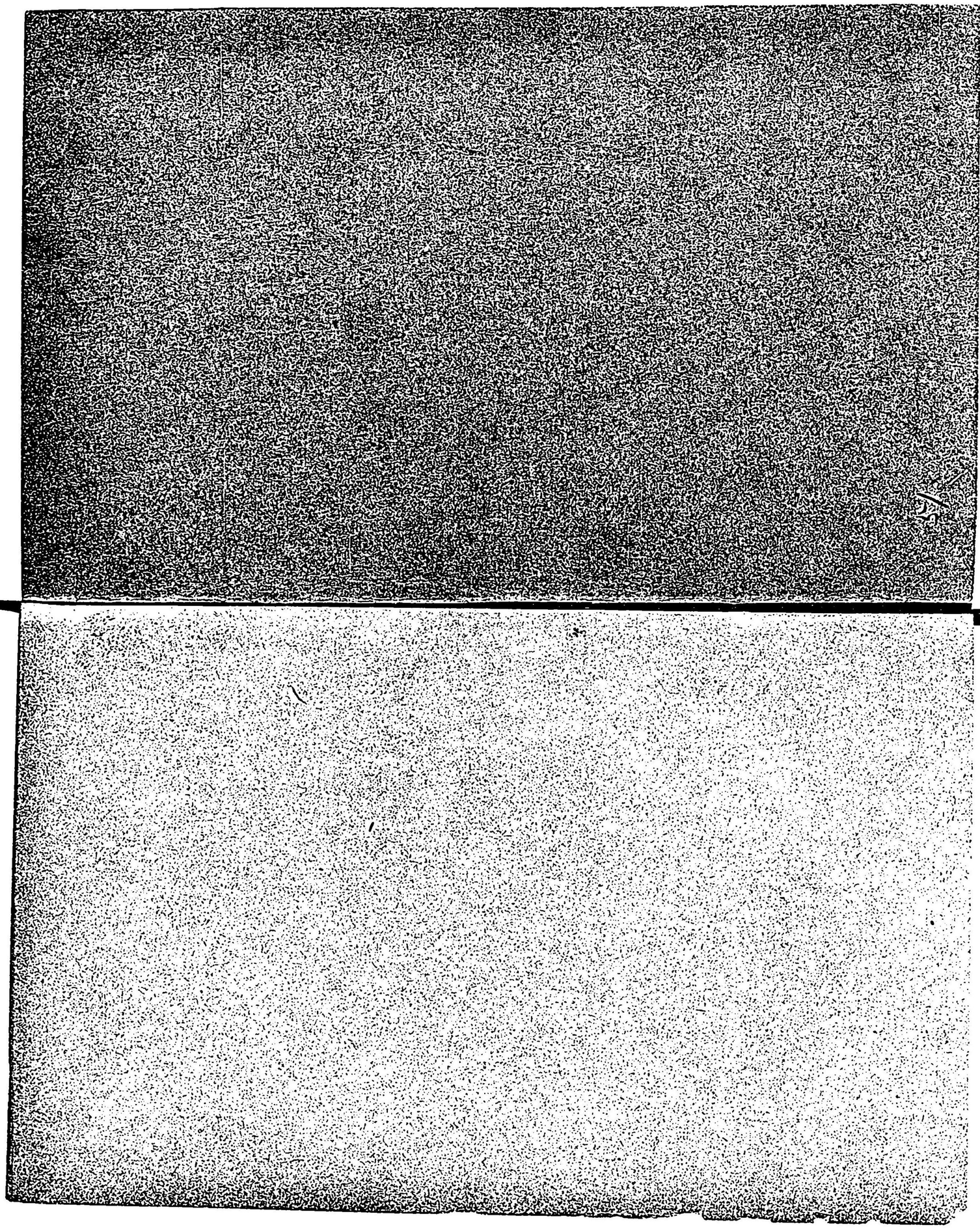
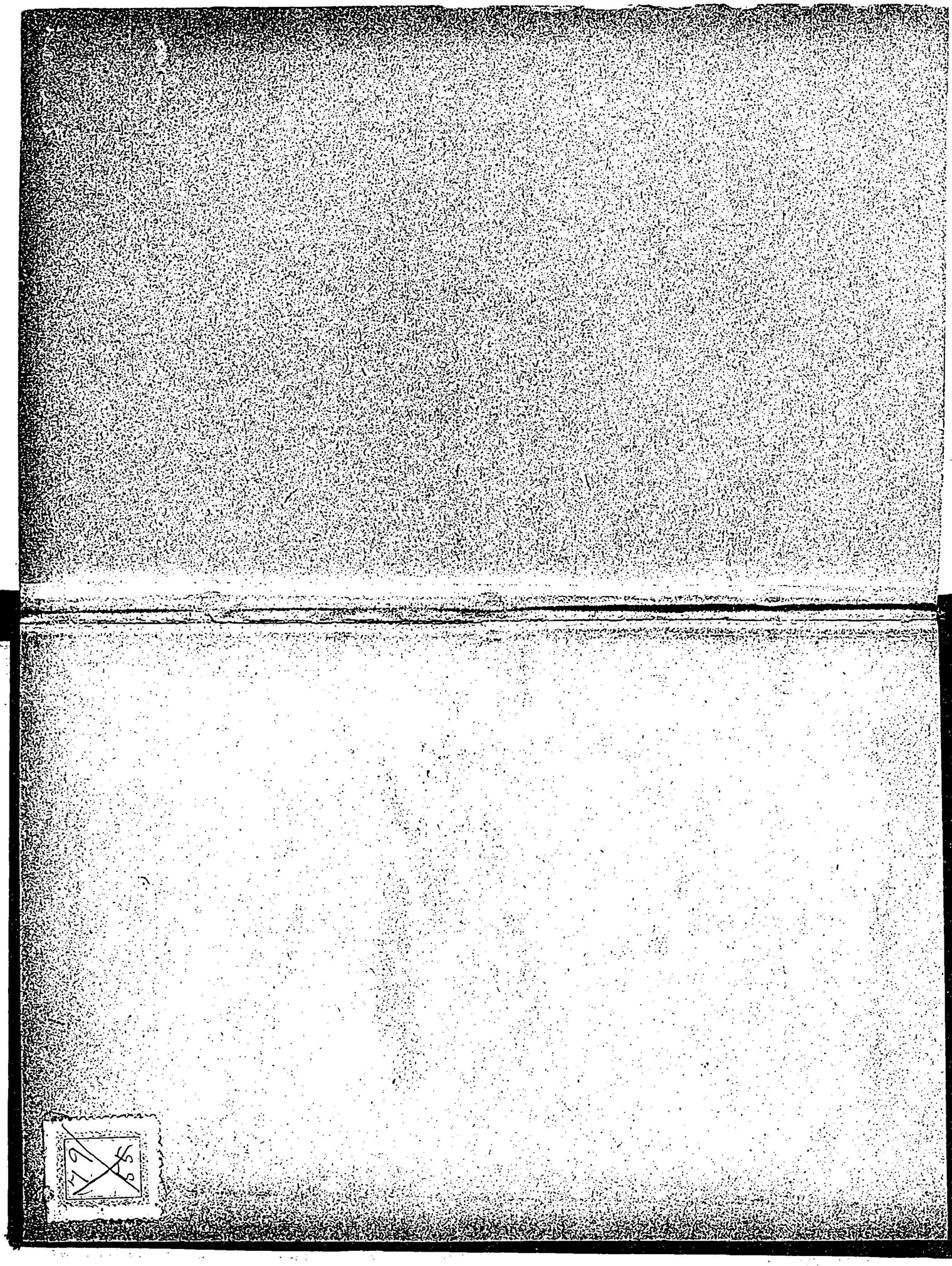
ナリ

實用新案法ノ制定以來未タ多クノ年月ヲ經過セサレトモ其登錄件數日ニ月ニ增加シ今回ノ如キハ其出品點數殊ニ多ク特許品ノ出品數ヲ凌駕セリ然レトモ其出品中製作不良或ハ珍奇ナルモノモ甚タ多ク又實用上ノ效果ニ疑ヲ挿ムヘキモノモ少カラズ且新案法ノ制定以來多クノ歲月ヲ經過セサルノ故ヲ以テ社會ニ廣ク行ハレ工產業上ノ發達ニ貢獻スルノ時日ヲ有セサルモノモ甚タ多カルベシサレハ出品數ノ多大ナルニ比シ優賞者ノ甚タ少ナカリシハ遺憾極リナシト雖モ將來有權者ノ奬勵ニヨリ社會ニ實益ヲ

與フル良新案ノ續出センコトヲ希望セサル可ラス

今回出品實用新案品中優勝ニシテ製作完全ニ功果最モ善良ナルモノトシテ第一ニ指ヲ屈スヘキハ大阪府伏田清三郎出品石油發動機ナリトス其調節良好ニ構造整備シ功率高ク運轉極メテ輕快ニシテ石油發動機トシテ最モ上位ヲ占ムルモノナリ次テ大阪府岡島千代藏出品綿モスリンハ其製品甚タ佳良ニ能ク世ノ嗜好ニ適シ將來益々販路ノ擴張セラルヘキモノニシテ織物界上一異彩ヲ放ツモノト云フヘク又三重縣安東潛出品製絲機械ノ將來製絲業上ニ著大ナル効果ヲ奏スルハ明カナルベシ第三位ニ屬スル實用新案品ニ於テハ大阪府藤井カバー合資會社出品カバーモ販路日々ニ擴張セラレ甚タ嘉賞スヘシト雖モ未タ社會一般ヲシテ滿足セシムルニ至ラサルハ殘念ナリトス更ニ一層ノ奮勵ヲ要スルモノアランカ又大阪府浪川虎之助出品鏡ハ製作良好ニシテ事業亦盛大ナリト雖モ更ニ實用新案品トシテノ成功ヲモ熱望セサル可カラズ靜岡縣氣賀子治出品帽子ノ如キ其事業盛大ナリ然レトモ實益アル新案上ノ價値ノ增加ニ付キテ特ニ注意ヲ請ハサル可ラス又京都府鳥居榮太郎出品帶ノ如キ製品甚タ良好ナリト雖モ社會ニ實功ヲ奏スル爲メニハ一倍ノ努力ヲ要スベシ又大阪府松山商會出品空氣呼鈴ノ如キモ製作上一段ノ注意ヲ拂フアラバ社會ノ歡迎ハ幾倍ノ增加ヲ見ルナラン又大阪府福岡駒吉出品石油發動機ノ如キモ發動機トシテ成功スル爲ニハ製作上今一層ノ注意ヲ拂フノ必要アルモノニシテ若シ製作上ニ改良ヲ加フルアラバ將來良功果ヲ收ムルハ疑ヒナカルベシ愛知縣佐藤慶三郎出品團扇ノ如キハ其製作甚タ佳良ニシテ將來貿易品トシテ又內地向品トシテ大ナル成功ヲ期スルヲ得ヘキモノナリ益々其擴張ニ奮勵セラルヽヲ希望ス又靜岡縣井上半藏出品廣瀨表ノ如キ其國產ノ竹ヲ利用シ製造ニ注意シタルノ結果販路次第ニ廣マリ將來有望ナル實用新案品タリ要スルニ以上ノ實用新案品ハ新案品中實ニ錚々タルモノニシテ其將來ニ於テ大發展ヲ爲スヘキヲ疑ハサルモノトス第四位ニ屬スル實用新案品ニ於テモ實益アリ且ツ甚タ有望ナルモノトシテ計上セラレタルモノニシテ實用新案品中屈指ノモノナリ然レトモ未タ社會ニ大ナル貢獻ヲナシタルモノ少ナキハ遺憾ナル所ニシテ將來大ナル注意ト奮勵トヲ希望セサル可ラス

明治四十一年三月二十四日印刷
明治四十一年三月二十五日發行

農商務大臣官房博覽會課

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地
印刷者　佐久間衡治
東京市京橋區西紺屋町廿六七番地
印刷所　株式會社　秀英舍